

豊島区基本計画策定のための

豊島区民ワークショップ報告書

平成 27 (2015) 年 3 月

豊 島 区

目 次

1. 開催概要.....	1
(1) 開催の趣旨.....	1
(2) 開催日時と会場.....	1
(3) 討議テーマ.....	1
2. 参加者の募集方法と参加状況.....	2
(1) 募集方法.....	2
(2) 参加者の状況.....	2
3. プログラム.....	3
4. 区長あいさつ.....	4
5. 講演「総合計画とワークショップ」(立教大学副総長・法学部教授 原田 久 氏).....	7
6. 検討の進め方.....	15
7. 検討結果の発表.....	18
第1テーマ ともに暮らす.....	19
◆討議内容の講評.....	52
第2テーマ ともに築く.....	54
◆討議内容の講評.....	86
第3テーマ ともに創る.....	88
◆討議内容の講評.....	120
8. 副区長あいさつ.....	121
9. 参加者アンケート結果.....	123

1. 開催概要

(1) 開催の趣旨

豊島区では、区の目指すまちの姿を『文化と品格を誇れる価値あるまち』、『安全・安心を創造し続けるまち』として掲げた基本計画のもと、様々な施策に取り組んでいます。この基本計画が平成 27 年度を持って終了することから、平成 28 年度以降の新たな基本計画の策定に向け、区民参画の一環として区民の方の意見等をお聴きし、それらを計画づくりに反映させるための「豊島区民ワークショップ」を開催しました。なお、このワークショップは、日頃、地域のことや行政に対する思いなどを伝える機会の少ない方にも参加いただきたいことから、住民基本台帳から無作為に抽出した方々に、参加を呼びかけました。

(2) 開催日時と会場

- ・平成 26 年 10 月 4 日（土）午前 10 時～午後 4 時 10 分
10 月 5 日（日）午前 9 時～午後 4 時 40 分 全 2 日間
※10 月 5 日は台風の影響を考慮し当初の予定を 30 分間短縮
- ・豊島区立上池袋コミュニティセンター7 階 多目的ホール

(3) 討議テーマ

次の 3 つのテーマについて、それぞれの問題点や解決策などを話し合っただき、『これからの豊島区』が「住みたいまち、住み続けたいまち、訪れたいまち」として、さらに信頼と価値を高めていくためには、今後どのようなまちづくりを進めていけばよいのかを、考えていただきました。

◆第 1 テーマ「ともに暮らす」

誰もがずっと住み続けたいと思うまちは、どんなまちだと思いますか。一緒に、支え合っ
て暮らしていく『豊島区』を目指しましょう。

分野：福祉（高齢者・障害者等）、健康、子ども・子育て、教育 など

◆第 2 テーマ「ともに築く」

これまで築いてきた環境や街並みが、今後どんな姿になればよいと思いますか。一緒に、
安全・安心で快適なまち『豊島区』を目指しましょう。

分野：みどり、環境保全、街づくり、住まい、交通、防災、防犯 など

◆第 3 テーマ「ともに創る」

次世代に、どんな『豊島区』らしさを伝えていきたいですか。一緒に、にぎわいある・
豊かな文化のまち『豊島区』を目指しましょう。

分野：産業、観光、文化芸術、生涯学習、スポーツ、協働 など

2. 参加者の募集方法と参加状況

(1) 募集方法

区内在住者のうち、20歳以上を対象として住民基本台帳から無作為に抽出した3,000人に参加案内を郵送（平成26年8月下旬）し、その中から応募のあった区民に参加していただきました。

また、区内にある立教大学の学生にも、若者ならではの発想で意見を述べてもらうために参加していただきました。

(2) 参加者の状況

- ①区民 申込者数：52名（申込率1.73%） ※当日までに辞退者あり。
参加者数：10月4日：39名、10月5日：36名（午後35名）
※保育利用者1名（子ども1名）
- ②大学生 立教大学生 10月4日：4名、10月5日：5名
- ◆合計 10月4日：43名、10月5日：41名（午後40名）

区分	申込者の内訳(人)				
	合計	割合	男性	女性	
区民	52	100%	23	29	
(年代別内訳)	20代	5	9.6%	4	1
	30代	7	13.5%	2	5
	40代	9	17.3%	6	3
	50代	10	19.2%	4	6
	60代	13	25.0%	6	7
	70代	8	15.4%	1	7
(地区別内訳)	東部	11	21.2%	7	4
	北部	7	13.5%	3	4
	中央	8	15.4%	4	4
	南部	11	21.2%	5	6
	西部	15	28.8%	4	11
大学生					
合計	52		23	29	



参加者の内訳(人)							
10月4日(土)				10月5日(日)			
合計	割合	男性	女性	合計	割合	男性	女性
39	100%	17	22	36	100%	16	20
3	7.7%	2	1	3	8.3%	2	1
4	10.3%	0	4	3	8.3%	0	3
8	20.5%	6	2	7	19.4%	6	1
8	20.5%	3	5	7	19.4%	2	5
10	25.6%	5	5	10	27.8%	5	5
6	15.4%	1	5	6	16.7%	1	5
8	20.5%	5	3	8	22.2%	5	3
5	12.8%	2	3	3	8.3%	1	2
6	15.4%	3	3	6	16.7%	3	3
8	20.5%	3	5	8	22.2%	3	5
12	30.8%	4	8	11	30.6%	4	7
4		2	2	5		1	4
43		19	24	41		17	24

※10月5日(日)午後は区民1名欠席

3. プログラム

1日目

◆平成 26 年 10 月 4 日（土）午前 10 時～午後 4 時 10 分

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:05	開会、区長あいさつ
10:05～10:20	開催の趣旨、討議の進め方等説明
10:20～11:00	豊島区の概要について
11:00～11:25	講演：立教大学副総長・法学部教授 原田 久 氏 ・テーマ：「総合計画とワークショップ」
11:25～12:00	第1テーマ ：「ともに暮らす」に関する情報提供
12:00～13:00	（昼食）
13:00～15:00	討議（8グループ）
15:00～15:05	（休憩）
15:05～15:45	発表（各グループ5分）
15:45～16:00	投票、情報提供者によるコメント
16:00～16:10	事務連絡、解散

2日目

◆平成 26 年 10 月 5 日（日）午前 9 時～午後 4 時 40 分

時間	内容
8:30～9:00	受付
9:00～9:05	開会、日程説明
9:05～9:25	第2テーマ ：「ともに築く」に関する情報提供
9:25～11:25	討議（8グループ）
11:25～11:30	（休憩）
11:30～12:10	発表（各グループ5分）
12:10～12:25	投票、情報提供者によるコメント
12:25～13:40	（第2テーマ終了後、昼食・休憩 60 分）
13:40～14:00	第3テーマ ：「ともに創る」に関する情報提供
14:00～15:30	討議（8グループ） ※討議時間は当初予定より短縮
15:30～15:35	（休憩）
15:35～16:15	発表（各グループ5分）
16:15～16:30	投票、情報提供者によるコメント
16:30～16:35	副区長あいさつ
16:35～16:40	事務連絡、閉会

4. 区長あいさつ

豊島区長 高野 之夫（たかの ゆきお）

皆様、おはようございます。豊島区長の高野之夫でございます。

本日は、豊島区民ワークショップへ大勢の方にご参加を賜わりまして、感謝申し上げます。

（ワークショップの概要～区民参加の新しい試み）

さて、このワークショップは、住民基本台帳から無作為に抽出された3,000人の中から、お申し込みをいただいた方々に参加いただいております。このようなかたちで区民討議を行っていただくのは、豊島区では初めてでございます。議論も参加者主体で行うなど、プランクスツェレと申しまして、ドイツで生まれた市民参加の手法を参考にしております。

本日までご参加いただいた皆様は、20代から70代の幅広い年齢層で、年代や男女のバランスも良くなっております。この二日間、集中的に色々のご意見を述べていただき、会議を進めるということで、本当に感謝申し上げます。

豊島区におきましては、現在の基本計画が来年度までの計画でございます。平成28年度以降の次なる基本計画に向けた準備を進めていきたいと思っております。このワークショップもその一つでございます。これからの10年に向けての豊島区のあり方や方向性を定め、一番中心、基本となる計画をつくりあげていきたいという思いがあります。

（新庁舎整備を契機とした街づくりの展開）

この後、関係課長等から詳細な情報提供をさせていただきますが、ご存知のとおり、新庁舎が来年3月に落成式、5月からいよいよ開庁という運びになりました。長年の懸案であった、区民待望の新庁舎がいよいよスタートいたします。



この建物は、低層部が新庁舎、11階から49階が分譲住宅という、これまでにないかたちになります。日出小学校の跡地周辺で市街地再開発事業というかたちで組合をつくり、地元の方と一緒に庁舎をつくる方法をとって、まさに区民のための新庁舎を目指しております。

また、現在使っている庁舎も新しいかたちで開発をいたします。豊島区全体、池袋の副都心としての発展・広がりというものができるのではないかと考えられます。

これだけではなく、様々な学校の改築など、豊島区全体で色々な事業が動き出しております。まさに歴史的な転換期を迎えてきているのではないかと考えております。

（財政危機を乗り越えて）

さて、私が区長に就任した時は、まさに豊島区の財政は破たん寸前の状況でございました。しかし、この十数年間、区民の皆様そして全庁をあげ、また議会も含めながら、豊島区全体で財政再建に取り組むことによって、安定した財政にようやくなってきました。現在、平成 25 年度の決算の審議を行っておりますが、非常に理想的・標準的で無理のない決算が、そして 26 年度予算も順調に進んでいるというようなことであります。全ての基本である財政が安定していなければ、施策等にも十分な目配りができないということから財政健全化を進めてまいりました。

（「国際アート・カルチャー都市」をめざして）

さらに、豊島区は特色あるまちをつくりあげるということで「文化創造都市」づくりに取り組み、文化庁長官表彰をいただくなど非常に高い評価いただいております。また、「安全・安心創造都市」づくりに取り組んでまいりました。そして、これをさらに発展させた都市像として、国家戦略特区の指定を目指す中で、豊島区は「国際アート・カルチャー都市」を目指しております。聞き慣れない言葉かもしれませんが、ぜひこちらについても担当の説明などから、どのようなかたちで打ち出していくか等ご理解いたきたいと思っております。

池袋のすぐとなりの椎名町には、約 50 年前になりますが大トキワ荘というマンガの聖地がありました。手塚治虫さん、石ノ森章太郎さん、赤塚不二夫さんをはじめ、マンガの原点という場所がこのトキワ荘であります。ただ残念ながら、このトキワ荘は今ではございませんけれども、地域ではまちおこしとして、トキワ荘の復活とともに協働まちづくりプロジェクトも立ち上げておりますので、新しいまちづくりが生まれるのではないかと思います。

さらには若い芸術家たちが切磋琢磨した池袋モンパルナスという歴史を持っております。現在では池袋を中心に演劇・アニメ等を中心に文化の発信をしております。ご存知のようにアニメイトが区役所の隣にまいりまして、若い女性の方が一日一万人もいらっしゃって、まちが変わってきました。さらに 10 月 25 日には、ニコニコ動画のドワンゴ本社が池袋のパルコ別館 P'パルコにオープンするというので、色々なものがサブカルチャーを中心に大きく変わってくるのではないかと思います。

（「消滅可能性都市」とその対応）

今、豊島区は話題の中心でありまして、池袋が首都圏の中で吉祥寺、恵比寿に次いで住みたい街の第 3 位という高い評価が発表されました。しかし、5 月には日本創成会議から、「消滅可能性都市」という大変ショッキングな発表がありました。これは約 1,800 ある自治体の中で 896 の自治体が消滅する可能性が



あるという発表です。あくまで可能性でありますけれども、その中に東京 23 区では唯一豊島区が含まれておりまして、大変なショックでありました。すぐに対策本部を立ち上げるとともに、これらの調査等について詳細な分析を行いました。

なぜこの豊島区がこのような「消滅可能性都市」とされたのか。豊島区は日本一の高密都市であり、現在は 27 万 4,000 人と着実に人口は増えておりますが、この人口の増加は、自然増ではなく、他から流入してくる方々によって増えているのです。当然、地方全体が減ってくれば、豊島区に入ってくる人も減っていくだろうということで、人口が減っていく予測のもとに、「消滅可能性都市」に含まれたということがあります。

これは、私たち豊島区だけの問題ではなく、日本全体の問題として捉えて、若い方々が子育てをしやすいまちにしていくということを基本とし、さらには、地方との共生という中で地方とも連携をとってまいります。これからの日本の推進力になっていくような、東京あるいは日本の中でも、人口だけではなく特色のあるまちづくりをして、日本の発展のための役割を担うようなまちづくりもしていかなければなりません。

話は戻りますけれども、緊急対策本部の設置をして、子育てがしやすいまち等への対応については、「としま F 1 会議」や「鬼子母神プロジェクト」、あるいは空き家を活用したリノベーションまちづくりといった、新たな施策を次々と打ち出しており、まさに全国から注目をされていると思っております。こうした動きも、この後の皆様の分析の中に加えていただければと思っております。

(むすびに)

まだまだお話ししたいことがございますが、これから担当も一緒にしながら、豊島区の分析をしていただき、これからの豊島区の進むべき方向性を、皆様の貴重なご意見等も含めながら政策に活かしてまいりたいと思っております。私は公務の都合がございまして、少し流れを聞いたのちに失礼をいたしますが、基本計画見直しのリーダーでもあります副区長の水島が二日間とも一緒にさせていただきます。

また、立教大学の学生さんも参加して下さっていると聞いております。

後程、基調講演もございます。ご講演いただく原田先生は立教大学の副総長であり、豊島区の色々な審議会の委員長をお引き受けいただいております。大変お若い方でありまして、リーダーシップを持って、豊島区に対して様々なご提言をいただいております。

豊島区の未来について活発にご議論いただきまして、忌憚のないご意見をお聞かせ願えればと思います。大変貴重なお時間いただきましたが、この二日間のワークショップに、私たちは本当に期待をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

5. 講演「総合計画とワークショップ」

立教大学副総長・法学部教授 原田 久 氏

氏名	原田 久（はらだ ひさし）
所属	立教大学副総長・法学部教授
略歴	立教大学法学部教授（2008年4月から） 立教大学副総長（2012年4月から）
活動内容	専門は行政学。 豊島区では基本構想審議会会長、 政策評価委員会委員長等を務める。



（はじめに）

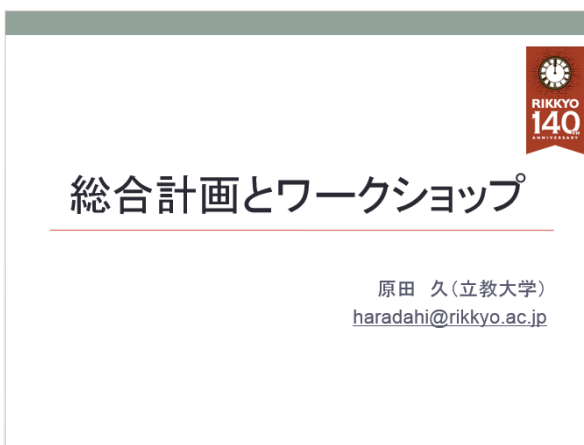
ただいまご紹介にあずかりました立教大学の原田でございます。

先ほど事務局から説明がありましたけれども、私は2年程かけて豊島区基本構想審議会において、これからの基本計画をつくっていくお手伝いをするようになりました。今日のこの機会は、非常に重要な機会でございます。

私は豊島区に住んでおりません。勤務先が立教大学ですけれども、豊島区に住んだことがご

ざいませぬので、住民の方々と直接お話する機会もそんなにございませぬ。ですから、皆さんが普段どんなことを考えて、どういうことに問題意識を持ちながら生活をしていらっしゃるかと、また今日こういう場にいらっしゃるのかを、わたしはどうしても聞いてみたいと思ったところであります。多分、色々な動機でいらっしゃるのだと思います。

しかし、ここに集まってくださっている方というのは、何らかのかたちで豊島区に関心がある、区政に関心がおありなのだろうなという気がいたします。それをこの会場に来た時にひしひしと感じたわけでありまして。ぜひリラックスした形で言いたい放題、喋りたい放題言って帰るというつもりで、この会議に参加していただければと思います。



(総合計画とは)

今日は、やや堅苦しいテーマですが、「総合計画とワークショップ」ということで、少しだけお話をいたします。

総合計画は、全国のほぼすべての自治体でつくっています。一言で総合計画をまとめてしまうと、豊島区という一つの区が、これからまちづくりを将来にわたってやっていきたいと思います、その一番上位の、一番大事な計画ということであり、これから豊島区がどういう方向に

いこうかということを示しながら、大きな目標である政策、その元にある中くらいの目標である施策、そして毎年こんなことをやっていきたいと思いますという事業、これらを体系的・網羅的に、このためにはこれをやり、すべての分野、例えば、橋や道路を整備するなどといったことだけではなく、介護も健康支援もあるいは商工振興といった様々な分野について、網羅的に計画をしましょうというのが、この総合計画ということでもあります。

概ね3本立てで、大計画、中計画、小計画のような計画をつくっていきます。お手元の「未来戦略推進プラン」が小計画で、毎年こんなことをやっていきますよということを細かく書いてあるものです。基本計画はその真ん中にあたりまして、5年や10年という単位です。ここに「基本構想10年」と書いてありますが、豊島区ではもう少し長めに設定しております。

こういったものは、3本でなければいけないというわけではありません。2本立てという自治体もあります。また、大計画、中計画、小計画の期間は、必ずこれだけの期間でなければならぬという指定もありません。

(総合計画の構成)

では、典型的な全国でつくられている総合計画とはどんなものかということをお簡単に申し上げます。だいたい1ページ目や2ページ目を開くと、自治体が置かれている自然環境あるいは社会経済状況という話が最初に書いてあります。その後に確実に出てくるのが人口で、これからどう増減するかということが書いてあります。これは非常に大事です。なぜ人口が総合計画で最初に書かれるかといいますと、人が生まれ、学校に行き、社会で働き、税金を納め、そして退職後は、場合によっては介護保険をうける、そういったベースになるのが人口だからです。そのためになんかこういうことをやらなければいけないのかということをお計画では書いています。具体的な土地の利用、ハード面・ソフト面、さらには行財政「豊島区はこれからお金がこれくらい入ってくる予定で、こういう方向に使っていきましょう」、そうしたことが書かれているわけです。

1 総合計画とは？

- ・総合計画:まちづくりの最上位計画。地域の目指すべき姿を示すと同時に、政策(大目標)・施策(中目標)・事業(実施手段)を体系的・網羅的に提示→基本構想(10年)・基本計画(5年)・実施計画(1~3年)に概ね対応
- ・典型的な構成:自然・社会・経済環境、とりわけ人口の増減を推定→地域に今後生じる需要を設定→土地利用、ハード、ソフト、行財政の各計画。**総花的、希望的、自己目的的**

(これまでの総合計画にみられる良くない傾向)

全国でつくられるこの総合計画には、良くない傾向が3つあります。

1つ目は「総花的」ということです。素晴らしいことばかりが書いてある。本当は、「これだけお金がなくなってきたのだからこれはやらない」という「やらないリスト」があってもいい。しかし、「こういうことを目指します、あんなことも目指します」というように、どうしても総花的になってしまいます。



2つ目は「希望的になってしまう」ことです。人口減は確実にきます。豊島区がしばらく増加するとしても、日本の人口減少は必至です。すべての分野に対して希望があるか、ということです。しかし総合計画を見る限り100%の希望ということがだいたい書いてあります。

3つ目は「つくることが目標になってしまう」ことです。計画の冊子をつくったらつくって「立派なカラーの表紙にして良かった」とかいうことになるわけです。どういう表紙にするとか、立派な冊子にするかではなく、やはり「どうやって実現していくか」ということのほうが大事です。自己目的的ではいけないというように私はいつも申し上げているところです。

(総合計画の変化)

こうした問題は全国で認識されておりまして、こんなふうに変えていこうといった動きが色々なところで出てきています。3つほどに整理してみました。

1つ目、前の民主党政権のときに、選挙におけるマニフェストが大きく注目されました。何をいつまでにどれだけやるかということを書きましよう。例えば、10年の計画、総合計画はその区長（首長）さんの任期とはまったく対応しておりません。全国の自治体の中には首長の期間と合わせてつくるべきではないかという議論もございました。もちろん良い面と悪い面あります。なぜかというと、区長の期間つまり4年間に合わせてしまうと、豊島区の未来がきちっと描かれないからです。ですから、私は必ずしも4年とか8年単位にするべきではないと思っていますが、やはり期間を限定することによって、現実志向的に、あるいは定量的に示す傾向が全国的に広がっています。豊島区の総合計画もかなり定量的になっています。「何をいつまでにどれだけやるか」ということは、そういう意味では、豊島区は先取りしています。

2 総合計画の変化

- ・**マニフェスト化**: 期間限定的(首長の任期と同一化)、現実志向的、定量的
- ・**住民主導化**: 三鷹市の「みたか市民プラン21」(2000年)の衝撃。約二年間で総会議数773回、参加登録者375名→2001年の新基本構想・新基本計画
- ・**右下がり化**(少子高齢化、財政悪化、施設老朽化)

※何を、いつまでに、どの程度、が重要

2つ目、全国で一番優れている自治体はどこか。私はそういう研究を立教大学の学生としたことがあります。全国で一番優れている自治体の一つ挙げなさいといったときに、確実に出てくるのは三鷹市です。三鷹市では総合計画をつくる際に、「三鷹市民プラン」をつくりあげたのですが、それをつくり上げるために、三鷹市の住民らが手弁当で開催する会議体が設置されました。その会議体は2年間で本会議・分科会合わせて773回開かれました。皆さんと同じ、参加したいという住民の方だけで会議をしました。三鷹市の人口は豊島区より少ない約18万人、実際に参加した実人数375名。2年間この会議体で住民がつくったものを市長に「これでどうか」と手渡しました。もちろんそのまま基本構想・基本計画になったわけではありませんが、やはり住民の意向がかなり反映されたかたちでつくられていったということです。

3つ目です。これまでの計画は右上がり、ベクトルが上に向いております。そういったことがないという前提で議論することも非常に大事です。先ほど説明もありましたが少子高齢化で人口が減っていきます。豊島区長はかなり財政を良くされました。しかし、これから良くなることを前提とせずに、厳しい財政状況の中で何をやっていくかということを考えていく必要があります。右下がり、現状維持の中でこんなことをしましょうと考えたらどうか。そして、施設の老朽化があります。建て替える建物が次々に出てきます。小学校も中学校も、公民館もそうです。そうした施設が老朽化する中で、やはり集約していく。豊島区でも色々ご苦労されているところです。庁舎を除いて新しい立派な建物が建つわけではない。そうした中で計画をつくっていく必要があります。

(最近の豊島区に関する3つのニュース)

基本構想審議会の第1回で申し上げた3つの話があります。あいさつということで申し上げたのですが、豊島区を取り巻く最近の状況として、良いニュースと悪いニュースがあります。皆さんにも頭に入れていただきながら、ぜひ今日のワークショップを進めていただければと存じます。

リクルート住まいカンパニーという会社が行った、住みたい街ランキングで池袋が第3位になりました。これは良いニュースです。

ところがこのニュースの後に消滅可能性都市の指摘がありました。もっと残念だったのは、池袋駅西口の危険ドラッグによる暴走死亡事故でした。セーフコミュニティのお話が先ほどありましたが、「本当に豊島区はセーフティといえるのか」と皆さんも思われたでしょう。しかし豊島区の対応が早かったことは先ほどのご説明のとおりです。

3 豊島区における総合計画

・豊島区基本構想審議会での原田発言

- ①住宅情報サイトを運営する「リクルート住まいカンパニー」による住みたい街ランキングで第3位
- ②日本創成会議における「消滅可能性都市」(20~39歳の女性の数が今後30年で5割以下に減る自治体)に23区で唯一のランクイン
- ③危険ドラッグによる暴走死亡事件(6月)。セーフティ・コミュニティ?

(ワークショップの特徴)

ワークショップについて私が思いつく特徴や、心構え等を申し上げます。

1つ目、ワークショップの特色として、模造紙やポストイット等がありますが、身体を動かして物理的にやりましょう。紙を見て議論するのではなくて、手を動かして身体を動かしてやるということです。ワークショップでは、身振り手振りを含めた身体で表現していくことが大事です。2次元ではなくて3次元の、身体を動かして進めていただくということが特徴の一つです。

2つ目、議論の最後に無理にまとめなくても良いです。一番大事なことは、何か決めることもそうですが、皆さんがここに参画してくださったということです。それと、皆さんがこれからますます豊島区の区政に関心を持って主体的に関わっていただけるというのが、私は一番の成果ではないかと思っています。こうしたことが特徴です。

(ワークショップに臨む心構え)

皆さんにほんの少しだけ気をつけていただきたいことを申し上げます。

1つ目、この場に参加できない方がたくさんいます。しかし、彼らの意向を無視して良いわけではありません。皆さんは代表者ではないので、思うこと、好きなことを遠慮無くおっしゃってください。しかし、参加していない人に対しても思いを馳せるといいますか、「あのお婆ちゃんは、今日は来られなかったけれど、あのお婆ちゃんはこのことを言いたいのではないか」というようなことがもしあれば、そうしたものをお出しいただいても良いと思います。

2つ目、議論はまっすぐ進めなくて良いです。どうしても時間が切迫してくると、「あと1時間でまとめなきゃ」と思いますけれど、「まとまりませんでした」とか「うまくできませんでした」で良いじゃないですか。何かをまとめるところばかりに関心を持つ必要はありません。議論が戻ったり、二転三転して結構です。二転三転することのほうが大事です。誰かが何かを言って「異議なし」というのであれば、このような会議の必要はまったくありません。議論をまっすぐ進めないくらいのもりで良いです。わざわざ反論してみる。そして色々な意見を出してもらおうほうが、よっぽど私は良い議論ができると思っています。

3つ目、こうして議論をしていると、年長の方やしゃべりが達者な方がリーダーになります。しかし、リーダーはどんどん変わらしましょう。そのリーダーも、時々フォロワーといいますか、誰かの意見を支える。そうして役割を変えながら、「自分はこの分野は詳しい。だからこの分野で

4 ワークショップ入門

・ワークショップの特徴

- ① 2次元ではなく3次元
- ② 合意することよりも合意に至るプロセス
- ③ 内容よりも参加者の主体性の確立

・ワークショップの心構え

- ① 参加していない層への意識
- ② 議論がまっすぐ進まなくてよい
- ③ ときにはリーダー、ときにはフォロアー

はこの議論を私はリードしたい。しかし、こういう分野ではフォロワーで良い」といったことで、
もいいのかという気がします。

(むすびに)

非常に雑駁な話をさせていただきましたが、皆さんが「総合計画とはこのようなものか」と、
あるいはこれから一日半、リラックスして「楽しみましょう」という感じで良いのではないで
しょうか。そのつもりで気楽になさっていただければと思います。「堅苦しいこの総合計画をつくる
ためにわれわれは意見を…」ということではなくて、本当に気楽に、二日間終わって、「楽しかつ
た。ジュースもお茶も美味しい」というくらいでちょうど良いのではないかと存じます。

皆さんのこれから一日半の様々な身振り手振りを含めたアクティビティが、何らかのかたちで
成果をもたらすはずで。ぜひともそうした成果を私はお待ちしておりますが、何も出なかった
ということでも大いに結構です。それくらいのつもりで二日間を楽しんでくだされば幸いです。

【原田教授との質疑応答】

Q：なぜ法学部にいらっしゃる原田先生がこの豊島区の総合計画に関わられているのか。

A：私の研究は、役所の仕組みとはたらきを勉強する学問で、行政学という分野です。私にとって
はこれが研究でもあります。皆さんとこうしてディスカッションして、場合によっては、私の
論文になっていたりします。私も今日は学んでいます。他の自治体で学んだこと、国で学ん
だことをこういったかたちでお返しもできるのかなと思い参加させていただいています。

**Q：「消滅可能性都市」の話は、日本創成会議という団体から出てきた。これまで聞いたことがな
いような団体であり、そんなに真剣に議論すべきことか疑問である。また、合計特殊出生率が
1.4 で、2 世代進んでしまえば、日本では全国的に消滅可能性都市となる。根本的な問題とし
ては見つけなければならないが、そのような発表があったからといっていきなり慌てて対応す
べき問題なのか。**

A：日本創成会議の増田さんは元総務大臣で、地方行政の担当をしておられました。県知事もなさ
っていたこともあるので、地方行政にはかなり詳しい方です。さらに国の役人の出身
であり、そういう意味では、人口問題に関心があったということがあるのではないかと思います。
生々しい話ですが、来年は統一地方選挙の年です。猫も杓子も地方創生といっているのは、
その選挙との関係も否定できません。しかし、選挙だからみんなが言っているというよりは、
選挙というチャンスをつかまえて、地方の問題をクローズアップしていきたいところがおそら
くある気がしています。今年 1 年間の政治的なイベントであるということもあるでしょうし、
この機会にこういうことを提示していこうということが、彼にはあったと思います。合計特殊
出生率ではなくて、産む可能性が高い女性が何人いるかという点に着目したのが、あの調査の

非常に画期的な点だと思います。皆が知っていたが、そこにフォーカスを当てていったというのが、非常に大きかった。合計特殊出生率が 1.8 や 1.9 になって良かったということではなく、もし女性が 3 人だったらどうするか、もし 4 人だったら。というように、女性の数に着目した点では衝撃的でした。あのデータ自体に対して、厚生労働省がどう考えているかについては、色々な議論があったようです。あの結果をそのまま鵜呑みにする必要はありませんが、出産適齢期の方々が減っていることに着目するべきであったと思います。

Q：計画後の成果のフィードバックが住民に十分なされないまま、次の計画がつけられている印象がある。

A:かつては、計画は「つくる」ためにありました。きれいな写真を使いカラー刷りでつくれば良かった時代です。豊島区では現在、この計画がどのように進捗しているかチェックする機関として、政策評価委員会という委員会を設けています。その委員長が私で、計画をつくり、既存の計画がどのように動いているかをチェックすることもやっています。私は計画をつくる時も、評価をするつもりで会議の中で質問をしています。そして評価の場面では、計画をしっかりとつくるように言っています。私の中では常にその意識があります。今年度、区のいくつかの部局からヒアリングをしていて、「どこまで進捗しているか」「これからどうするか」ということをお尋ねしています。最後に、職員に対して「これから 1 年で計画をつくるのだから、今日のディスカッションは忘れずに」と必ず伝えていきます。「どこまで進んでいるか必ずチェックしながら次に行きましょう」という仕組みはぜひとも取り入れていく必要があるし、今でも豊島区では動いています。ただそれが住民にきちっと伝わっていないことが今日のお話でわかりました。計画をつくる、それをうまく回していく、それをきちっと住民の方々にお伝えしていく、そういった責務を私も感じているところです。

Q：立教大学は豊島区・池袋というまちとどういうかたちで関わりを持っているか。エピソード等があればお伺いしたい。

A:近々、東京よさこいまつりというお祭りがありますが、立教大学の学生も関わっています。私も審査員としてお邪魔をしています。立教大学としてお手伝いをさせていただいています。実際の西口のまちづくりにどういうかたちで貢献しているかという、池袋キャンパスの端に江戸川乱歩の記念館がありますが、これは豊島区の方々のご支援とご協力オープンしております。住民の方々を含めた来訪者がいらっしゃいます。池袋西口は、かつては良いイメージではなかったのかもしれませんが、やはり文化や芸術といったところに協力ができれば、そういったまちづくりがなされていくことはご案内のとおりです。やはりあのような場所に記念館があって皆さんに訪れていただくと、色々なかたちでイベントもできてありがたいということでございます。そうした取組を今年は豊島区とタイアップして、正確には豊島区そのものではあ

りませんが、「池袋学」という学問を何回か会議体を持ったり講演会をしたりしております。幸いに申込者がかなり多いようで、立教大学のホームページにも「池袋学」の講演会のご案内を差し上げているところです。このように色々かたちで参加をさせていただいているところです。

Q：グローバル化・国際化の中で、世界と繋がる視点を持つことが必要ではないか。そういう意味で、6年後の東京オリンピック・パラリンピックをどう捉えていくか。

A:国と、市や区が一番違うところは、市と市の境には壁をつくれなことです。市や区では、人が出て行ったり入ってきたりするわけです。豊島区の隣が板橋区。豊島区で境をつくって「豊島区の間人は出るな」ということはできません。国はそれができます。日本に来る海外の旅行者には、「ビザを持っていなければ帰らなさい」ということです。人と工場や産業はどんどん出て行く可能性があるし、入ってくる可能性もある。これはチャンスなので、出ることを防ぐのではなく、入ってくるようにしないとイケない。その場合に大きいのは、そうした観光客だろうと私は思います。せつかく境目を設けられないのなら、どんどん呼び寄せる。そのような方策が大事ですし、オリンピック・パラリンピックがその大きなきっかけになると思います。人がどんどん往来するようなまちをどう設計するか、交流人口をどうやって増やしていくかは非常に大事なポイントだろうと思います。



6. 検討の進め方

区民ワークショップは、これからの豊島区における課題や解決策などについて、参加者が主体となって自由に話し合う場です。誰もが自由な発想で意見を出し合えるように、少人数のグループを編成し、その中で議論しながら、グループごとに意見をまとめていきました。

話し合いの進行にあたっては、グループの中で、進行役、書記、発表者などの役割を分担しました。なお、各グループにはコーディネーターがつき、意見交換がスムーズに進むように補助を行いました。

■ルール 参加にあたっては、最低限のルールがあります。

- ✓自由に発想し、他人の意見を否定しない
- ✓お互いの自主性を尊重する
- ✓全員が発言する
- ✓考えが変わった場合、意見を変えてもよい
- ✓必ず結論をだす

■討議の準備（約 30 分） 討議の前に、次のような準備をします。

- ◇テーマに関する情報提供（区の職員から）
- ◇自己紹介・役割分担

■グループ検討の流れ（約 100 分） KJ法[※]という手法を使い、次のように進めていきます。



※KJ法は、各自の頭の中にあるぼんやりとした意見・アイデアをグループ化し、論理的に整理する手法です。

■討議内容の発表（各 5 分） 討議のあと、グループごとに発表をします。

- ◇グループごとに、討議で出された意見やまとめた課題、解決策などを発表しました。

〔作業シートのイメージ〕

第 テーマ：	
グループ	メンバー名
【豊島区の強み（良いところ）】	【豊島区の弱み（改善すべきところ）】
【課 題】	
豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
①	
②	
③	

●テーマに関する情報提供の様子



●グループ討議の様子



7. 検討結果の発表

(1) グループ討議と発表

両日とも8グループに分かれて話し合いを行い、テーマごとに各グループの意見をまとめて、発表していただきました。

なお、テーマごとにグループメンバーを入れ替えて、討議を行いました。

■ 討議テーマとグループ構成

実施日	テーマ	グループ構成
1日目 10月4日(土) 午後	第1テーマ：「ともに暮らす」 分野：福祉（高齢者・障害者等）、健康、子ども・子育て・教育など	グループA～G（区民） グループH（立教大学生）
2日目 10月5日(日) 午前	第2テーマ：「ともに築く」 分野：みどり、環境保全、まちづくり、住まい、交通、防災、防犯など	グループA～G（区民） グループH（立教大学生）
2日目 10月5日(日) 午後	第3テーマ：「ともに創る」 分野：産業、観光、文化芸術、生涯学習、スポーツ、協働など	グループA～G（区民） グループH（立教大学生）

(2) 投票

すべてのグループの発表が終わった後に、全員でそれぞれが気に入った提案（グループ全体に対してではなく、個々の主要課題と対応方針・解決策）に投票を行いました。

投票は1人3票を投じることができるとし、シール（金色の丸型）を発表用シートの該当する「主要課題」欄に貼る方法で実施しました。

● 発表後の投票の様子



第1テーマ ともに暮らす

グループA 第1テーマ「ともに暮らす」

【豊島区の強み（良いところ）】

(施設が充実)

- ・ スポーツ施設がある（健康）
- ・ 公共のスポーツセンター（健康）
- ・ 町会と区民広場がある（利用し切れていないが）
- ・ 地域創造館がある（地域：生涯学習）
- ・ 医療体制が良い

(マンパワーの基盤がある)

- ・ 15-64歳の生産年齢人口が多い
- ・ 都市の魅力働く場（商業）があり、若者が転入しやすい
- ・ 活力がある
- ・ 元気な高齢者が8割を占めている
- ・ 36,000 21%が定住、22区民ひろば、100町会 一定のコミュニティがある
- ・ 小学校がにぎやか（池袋小）
- ・ 働く場が充実している
- ・ 自区内に住み働いている人が28%、4人に一人おり、担い手になりうる
- ・ 中国人の子どもが日本語で話しかけてくる（国際子育て）

(その他)

- ・ 教育（小中）生涯学習に力を入れている
- ・ さくらんぼは良いシステムの施設である
- ・ 駒込実習所と地域の染井商店街、ふれあいアート障害者の理解が進む

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(障害者施設が不足)

- ・ 障害者の保護者も高齢になり親亡き後の重度のグループホームが要望しても計画にできていない
- ・ 重度のグループホームがない
- ・ 中高生の障害児童の放課後の支援が手薄い（単身世帯が多く、ファミリー世帯が少ない）
- ・ 単身世帯が6割（転入も6割）と多い。出生率低い。子どもが少ない
- ・ 単身世帯者の6割はコミュニティに入っていない→地域に入ってくる必要がある
- ・ 15-64歳で働く人、単身世帯者が区、地域にとけこむ ※生涯学習機会、地域デビューに入れていく必要
- ・ 単身高齢者が多く52,000人、75歳以上は要介護者が多い
- ・ 世帯向け住宅が少ない。入ってくるのはみな単身世帯が多い
- ・ 子育て世代（転入者）が困っている。地域・公共サービス・友だち
- ・ 子育て世代（8%）・単身世帯者（6割）に地域や人に関心をもたらしイベント、学習機会を増やす必要
- ・ ファミリー世帯が少なく（23区中19位）、単身世帯が多い（23区中3位）

(情報の入手が難しい)

- ・ 全体のまちの姿がわからない（年齢層・人口・施設・男女別）
- ・ 情報発信→そして伝える（仕事、事件ほか）→聞くをもっとより早く正しく→情報：仕事・事件・防止のため

(シルバー人材の不活用)

- ・ シルバー人材の活かし方に工夫が足りない
- ・ 年齢に関係ないレジャー施設が必要。老人だけの施設には行きたくない
- ・ 元気な高齢者を活用できるようにする必要

(施設の不活用)

- ・ 地域拠点となる出張所が廃止されたことにより不便
- ・ 住民自治の不徹底 1) 町会の体質 2) 住民意見の取り組み方
- ・ もっと緑(公園)が必要。各家にも植木鉢では

	<ul style="list-style-type: none"> なく家の周りに木を植えられるような設計を ・ どの施設も利用時間が短い（夜間使えない） ・ 24 時間オープン図書館が必要 ・ 学校の跡地利用に施設を作ってほしいができない ・ 運動するところ（大人から子ども）：スポーツセンターが 24 時間営業であってほしい <p>（防犯対策不足）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが安心して遊べる場所がもっとほしい（公園・プール・図書館等） ・ もっと防犯カメラを設置希望（犯罪防止） <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し買い物ができる商店（ストア）がほしい。（住宅街なので） ・ 国保が毎年上がり医療費が心配 ・ 不妊治療の支援が不明（健康子育て）
--	---



【課題】

<p>（効率的な施設づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リタイア後の世代を活用して施設を有効に使い切る <p>（住み続けたい人の住居環境の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単独世帯高齢者を暮らせるように（特に元気な 75 歳以上） ・ ファミリー形成世帯（子ども）を多くする ・ 単身者住宅のみではなく、ファミリー向け住宅を一定の割合で増やす <p>（人材の有効な活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気な高齢者（8 割）対策、元気でない方を少なくする方策 <p>（情報を適切に入手できる環境整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策推進拠点を各地域に



豊島区が抱える主要課題	投票	主要課題への対応方針・解決策
1 効率的な施設づくり	5 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の跡地に障害者・高齢者・保育・防災施設をつくる ・ 地域ごとのまちづくりに見合った中心施設の再配置。→ 4 地区（東西南北）ごとの中心センターをつくる
2 人材の有効な活用	6 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のキャリアを活用できる場 ・ 外国人の地域参加
3 住み続けたい人の住居環境の整備	10 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングサービス ・ シェアハウス

作業シート (写真)

第 テーマ:

グループ A メンバー名

【豊島区の強み (良いところ)】

施設が充実
 ① 公園は多い (緑が多い)
 ② 公共のスポーツセンター (健康増進)
 ③ 町会と区民会館が (利用しやすい)
 ④ 地域活動の (参加しやすい)

マンパワーの基盤がある
 ① 区内に住む外国人が多い
 ② 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)
 ③ 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)
 ④ 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)

区内に住む外国人が多い
 ① 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)
 ② 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)
 ③ 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)
 ④ 外国人の労働力が多い (外国人労働者の活用)

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

障害者施設の不足
 ① 重度 (重度障害者の施設)
 ② シルバー人材の活用 (高齢者の活用)
 ③ 施設の活用 (施設の活用)
 ④ 防犯対策不足 (防犯対策不足)

単身世帯 (9%)
 ファミリー世帯 (9%)
 ① 単身世帯 (単身世帯)
 ② ファミリー世帯 (ファミリー世帯)
 ③ 単身世帯 (単身世帯)
 ④ ファミリー世帯 (ファミリー世帯)

情報の入手が難しい
 ① 情報の入手が難しい (情報の入手が難しい)
 ② 情報の入手が難しい (情報の入手が難しい)
 ③ 情報の入手が難しい (情報の入手が難しい)
 ④ 情報の入手が難しい (情報の入手が難しい)

【課題】

- 効率的な施設作り
- 住み続けたい人の住居環境の整備
- 人材の有効な活用

情報を適切に入手できる環境整備

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 効率的な施設作り	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のキャリアを活用できる場 外国人の地域参加
② 人材の有効な活用	<ul style="list-style-type: none"> マッチングサービス シェアハウス
③ 住み続けたい人の住居環境の整備	

討議内容の発表

【強み】

強みとして、以下のことが挙げられた。

- ・ スポーツ施設等の施設が充実していること。
 - ・ マンパワーとしては、働きに来る人が多い、元気な高齢者がたくさんいて、小学校がにぎやか、区内で働いている人が多い、外国人も元気。
- 以上のようなことが挙げられた。人間的に活力のある素材が満ち、詰まっっていて、潜在的なパワーがすごくある区だといえる。

【弱み】

弱みとして、以下のことが挙げられた。

- ・ 障害者に対する施設が不足している状況が放置されている。
- ・ 単身者向けの家が多く、家族を形成して豊島区に暮らしたい人への適切な住環境が提供されていない。
- ・ シルバー人材の活用がうまく行われていない。
- ・ 施設はあるものの、使いたい時間に稼働していない等、施設の活用効率が十分上がっていない。活力の大きさに対し、このようなきめ細かい部分に抜け落ちが目立つ。その背景として、情報を受け取る側の立場になって適切に提供するシステムがないことが挙げられる。
- ・ また、防犯・安全の問題もあるとの指摘があった。

【課題】

以上の強み・弱みを分析して課題を4つ抽出した。

- ・ 施設を効率的につくって配置すること。
- ・ 長く住み続けたい人の住環境を整備すること。
- ・ 人材の有効な活用を推進すること。
- ・ 全てに共通していえるのは、情報を適切に入手できる環境の整備を進めること。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

具体的に着目した3つの大きな課題は、「効率的な施設づくり」「人材の有効な活用」「住み続けたい人の住居環境の整備」であった。

- ・ 「効率的な施設づくり」への対応としては、学校の敷地等の既存施設の再利用の方法を最適化してほしい。地域ごとのまちづくりに見合った中心施設を再配置していく。
- ・ 「人材の有効な活用」への対応としては、高齢者をお決まりの仕事に機会的に就けるのではなく、キャリアを十分に活用できる場を提供することで、経験値を活かしていただくようにする。また、外国人にもっと地域参加をしてもらう。
- ・ 「住み続けたい人の住居環境の整備」への対応では、なかなか妙案がでなかったが、マッチングサービスやシェアハウスの推奨等のアクションをとっていくといった意見があった。



【豊島区の強み（良いところ）】

(地域コミュニティ)

- ・ 馴染みのまちなので外出時馴染みの人に会える
- ・ お年寄りが道で挨拶してくれる
- ・ 自治会ごとの自主的な集まり（朝の体操等）
- ・ 地元商店の子、移転族の子、海外からの子、多様な子どもが住む

(行政サービス)

- ・ がん等検診の案内が来る
- ・ 学校の体育館・校庭開放
- ・ 駅周辺の放置自転車は改善されたように思う
- ・ カラスが減ったか。ごみ・景観対策（住環境）
- ・ ほんの少しだけお茶の水附属学区に入る
- ・ 文京区より家賃が安く治安が良い
- ・ 交通の便が良い（公共機関）
- ・ 見所が結構あり、例えば六義園、お地蔵様、古河庭園

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(福祉・子育て)

- ・ 介護支援の中心となっているところがよく見えてこない
- ・ 高齢者へのサービス内容のアピール不足
- ・ 介護相談に関してレスポンスが遅い
- ・ 産科が少なく、産後のフォロー体制が千代田区などに比べ弱い
- ・ 検診がザル。待ち時間長すぎ
- ・ 保健師の対応が悪すぎる
- ・ 保育園入園手続きの対応が良くない
- ・ 認可保育園に入れない（シングルさん、外国人さんを優先しすぎか）
- ・ 預かり保育できる幼稚園が少ない（2～3園くらい）
- ・ 地域によって学力レベルの差が大きすぎる
- ・ 父親と学校の接点がない
- ・ 子どもの健康状況（肥満その他）

(行政サービス)

- ・ 「声の大きい人」だけが得をしやすい状況になっている
- ・ 窓口で英語や中国語が通じないので不便
- ・ 行政サービスが十分に案内されていない
- ・ 平和小跡が使用できなくなり、選挙の場所が遠くなった
- ・ 町会の活動が不透明

(住環境)

- ・ 池袋周辺に集中
- ・ 土地建物が高い
- ・ ファミリー物件が少ない
- ・ 裏道まで車が入ってくる
- ・ 白山通り草木の整備はどうしているのか
- ・ 自転車事故
- ・ 公共スポーツの拠点が少ない
- ・ 公園の不法占拠で治安が悪い
- ・ 遊べる公園が少ない
- ・ 公園の利用方法→ボールが使えない
- ・ 夜間たまり場の治安（池袋、公園等）
- ・ コミュニケーションの欠如
- ・ 近所挨拶がない
- ・ 外国人が多い
- ・ 時々、路上生活者が住み着いてやや不潔
- ・ タバコのポイ捨て、歩きタバコが多く危ない



【課題】

(地域コミュニティ・福祉・子育て)

《強化》

- ・ 学区選択制に伴う学校間の教育の差の解消

《改善》

- ・ たらいまわしされる（ワンストップで終わらない）
- ・ 保健師の質と量（教育）
- ・ 相談窓口不明、対応が悪い
- ・ 民間企業の利活用
- ・ 中間層が民間サービスを活用できるような仕組み

(行政サービス)

《強化》

- ・ 健康増進のための施策の充実と告知
- ・ 休日も実施拡大してほしい
- ・ 学校等の公共施設の開放
- ・ 区のサービスの効果を検証する仕組み（利用者にとって良いサービス体系の見直しができる仕組み）

《改善》

- ・ 総合カウンター（コンシェルジュ的な仕組み）
- ・ 公共施設の統廃合に伴うフォロー
- ・ 外国人の対応は十分か

(住環境)

《強化》

- ・ バス停がわかりづらい（看板だけではなく、地図をわかりやすく。芸術家に依頼）

《改善》

- ・ タバコを捨てられる場所を増やす（取り締まる人が少ない？）
- ・ 転入してくる外国の方へのマナー関連の冊子、日本の文化講習会の実施
- ・ 人口密度に対して公園面積・公園管理
- ・ 町会と学区のつながり
- ・ 町会にまちのマナー向上に向けた具体的な取り組みに参画してもらう



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	行政サービスが利用しづらい ・わかりづらい、たらい回し、ニーズとのずれ	12	→	・24時間のコンシェルジュサービス(サービス≠24h、相談・案内=24h) ・公共施設の有効利用
2	介護・子育て支援の質の低さ ・所得・地域・社会的立場による格差	8	→	・公共サービスの質の向上 ・担い手の育成(教育) 民間の利活用 NPO等 ・サービスの流れを見直す(検証) → 第三者機関の設置
3	コミュニティ・コミュニケーションの不活発 ・文化の差異、マナーへの理解、町会・学区	5	→	・オープンなコミュニティ(町会の透明性向上) 風通しの良さ ・外国人対応の充実化

作業シート (写真)

第 テーマ: とともに暮らす

グループ B

メンバー名

【豊島区の強み (良いところ)】

行政サービス

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

福祉・子育て

行政サービス

【課題】

強化

改善

豊島区に生じた課題

主要課題への対応方針・解決策

① 行政サービスが利用しづらい。
 ・わかりづらい、たらいまわし、ニーズとのずれ

② 介護・子育て支援の質の低さ
 ・所得・地域・社会的立場による格差

③ コミュニティ・コミュニケーションの不活発
 ・文化の差異、マナーへの理解、町会・学区

④ 24時間のコンシェルジュサービス
 (サービス≠24hr、相談案内=24hr)

⑤ 公共施設の有効利用

⑥ 公共サービスの質の向上・担い手の育成(教育)

⑦ サービスの透明化を見直す(検証)民間の活用
 → 第三者機関の設置

⑧ オープンなコミュニティ(町会の透明性向上)
 風通しの良さ

⑨ 外国人対応の充実化

利用の際に生じたゴミは

討議内容の発表

【強み】

強みとして、主に「地域コミュニティ」「行政サービス」「住環境」が挙げられた。

【弱み】

弱みに関しては、「福祉・子育て」が弱みの固まりになってしまった。

【豊島区が抱える3つの主要課題】

良いところは強くしていこう、弱いことは改善していこうという点から整理を行い、3本の課題として集約した。

- ・ 「行政サービスが利用しづらい」ことが非常に話題となった。行政へ相談に行っても、相談先がよくわからない、窓口をたらい回しになるという意見があった。窓口で言われる「できません」にも種類があり、「全くできない」「今はできない」の両方がある。これは「たらい回し」そのものである。また、「ニーズとのずれ」が多くあるとの意見があった。例えば、学校の統廃合があった時に、投票場所がわからない、または非常に遠くなったといったようなことである。
- ・ 「介護・子育て支援の質の低さ」については、所得の違いによって受けるサービスが異なる、地域により格差がある。また、母親が働いているかどうかで非常にサービスに差がある、という意見があった。
- ・ 「コミュニティ・コミュニケーションの不活発」については、増加している外国人との様々な違いが出てきていること、マナーへの理解が少ないといった意見、また、町会や学区はいまどうなっているのかという疑問が出された。

【豊島区が抱える3つの主要課題の解決策】

これらについてどうしていけばよいかを以下に挙げた。

- ・ 24時間の何でも答えてくれる行政サービスがほしい。サービスの提供は朝でもよいが、相談だけは24時間対応にしてほしい。
- ・ 公共施設をちゃんとつくってほしい。学校開放などをもう少し考えてほしい。
- ・ 介護担当者の質を上げてほしい。「介護担当者はあまりにも、ものを知らないのではないか」という意見があった。また、適切なサービス提供の流れを第三者機関や民間NPO等を活用し確立させる。これは、区の方々だけが原因ではなく、サービスを受ける側にも問題があると思う。
- ・ 「町会」や「学区」とは何か。町会は何をやっているか、学区は何のためにあるのか。
- ・ 外国人がマナーを守ってくれないことも含め、区からの指導や住民との話し合いにより、風通しの良いコミュニティを構築できないか。透明性が高く風通しの良い地域社会が生まれれば、我々はもっと住みやすくなるのではないか。



【豊島区の強み（良いところ）】

- ・ 地盤が硬いらしい
- ・ 各駅がきれいになって清潔感がある
- ・ 自転車の乗り残しが少なくなった
- ・ 学生のアルバイト先がたくさんある
- ・ 中学生でも医療費無料
- ・ 診療所と大病院との連携
- ・ 物価が安い
- ・ 人口密度が高い
- ・ 外国籍の人がたくさんいる
- ・ 子どもが多い
- ・ 学習院、立教など大学を中心に文京都市のイメージ
- ・ 昼間、若者（学生）がたくさんいる
- ・ 「地域」にコミットする人がいる
- ・ 路面電車が活動している
- ・ 学校の改築が進んでいる
- ・ 「おばあちゃんの原宿」がある
- ・ 身近な商店がある

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- ・ 街の魅力に乏しい
- ・ 家賃が高い（古い）
- ・ 支援が短期的、途切れる
- ・ 区のイメージが悪い（脱法ハーブ問題）
- ・ 文化的なイメージが低い
- ・ 路上のごみが気になる
- ・ 病院が分散している。大病院がない
- ・ 電線を排除してほしい
- ・ 公園が少ない
- ・ 木造密集地域が多い
- ・ 健康施設といいながら、場所はわかりにくく、不健康なイメージの場所にある
- ・ 高速道路が気になる
- ・ 子育てが終わると、地域とのつながりが減る
- ・ 道路に樹が少ない
- ・ 高齢者の安全
- ・ 道路が狭いなど過密
- ・ 快適に歩ける歩道が少ない
- ・ 全体的に緑が少ない
- ・ まちに小売の商店が少なくなっている。スーパーが多い
- ・ 地域によっては、シャッターが昼間でも降りているのが気になる
- ・ 女性に対するサポートが弱い
- ・ 世代間で交流できる雰囲気がない
- ・ 情報発信
- ・ 人口密度が高い
- ・ 子育て！シニアのお手伝い
- ・ 保育園・学童保育所の場所がわかりにくい
- ・ 町会の関係者の高齢化
- ・ 民間団体が弱い
- ・ 子どもの安全
- ・ 子どもの遊び相手を見つけにくい
- ・ 屋外で子どもを遊ばせられる所が少ない
- ・ 教育！子どもの安全
- ・ 単身者が多い
- ・ 行政と民間のリンクがよろしくない



【課題】

- ・ 情報を出したがる人へどう対応するか
- ・ 情報発信 1)情報を受け取る場所 2) 困ったことを相談する
- ・ 朝早くウォーキングする夫婦を見かける。
- ・ 地域住民の意識
- ・ 子どもの安全
- ・ 単身者とのギャップをどう埋めるか
- ・ 外国籍住民への生活情報の提供
- ・ ごみ出しの仕方
- ・ 介護高齢男性が多い
- ・ 看取り
- ・ スポーツは一人ではやらない
- ・ 情報収集、ネットの活用、年代差がある
- ・ 次の世代にいかに関承させるのか
- ・ シニアの参画
- ・ 福祉関係で働く人々の待遇を良くする
- ・ 子育てのしつけ方



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	コミュニケーション情報 ／隣人同士のコミュニケーション ／老人と子どもの交流 ／シニアの活躍	13 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区主導で地域リーダーを探す（年代別リーダー） ・ 情報発信の方法を工夫 ・ 地域での「近助」の促進 ・ 「多文化共生」を実現する具体的な施策をつくる
2	弱者へのおもいやり（子・老人・障害者） ／障害者に対する対応 地域に聞く 大正大学の運営する「たいしょうサロン」 （現在閉鎖） ／弱い人（体・心）の見守り	1 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援 一時預かり ・ 虐待の改善率の向上→区での対応が限界 ・ プロの人たちに対して生活保障する ・ 老人が子ども（身障者）を助け、子どもが老人を助ける仕組み ・ 区内の大学生へ家賃補助する
3	快適な暮らし／公園！小さいものもいっぱい？ ／大きな緑地・公園がない、緑が少ない ／屋外のスポーツ施設	0 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政と民間のリンクを図る。住民同士の連携 ・ 各世代のニーズに応じた対応 ・ B・Fの道づくり ・ 放課後の学校利用

討議内容の発表

【強み】

弱みが多く、強みはなかなか出てこないことがわかった。

- ・ 区内 JR 各駅がきれいになっていること。
- ・ 大学が複数あること。
- ・ 巣鴨とげぬき地蔵がある等が挙げられた。巣鴨とげぬき地蔵については、年間 400 回ほどテレビで放送されることもあり、遠方の人にも知られている。

【弱み】

弱みについては、多くありすぎてあまり整理できなかった。

- ・ 子どもの安全ということでは、子どもの遊び場が少なく、屋外であまり子どもが遊んでいない。
- ・ 道路が狭く過密している。高齢者の安全面で問題がある。
- ・ 快適に歩ける道がない。
- ・ まちの美観に乏しいのではないか。
- ・ 高密度な地域に住むことにはメリットもデメリットもある。木造密集市街地の問題がかなりあるのではないか。
- ・ 健康に関することでは、病院が分散している点が問題。

【豊島区が抱える 3 つの主要課題と解決策】

課題を整理し、豊島区の抱える主要課題として 3 つを挙げた。

- ・ コミュニケーションや情報に関する問題、これは非常に大きな問題であり、解決策としては、区主導で地域リーダーを探し出すことが挙げられる。今、豊島区は、町会のネットワークを使い、協議会等をしている。普段のしがらみを外れた形で地域リーダーを探し出すのがよいのではないか。
- ・ 弱者に対する思いやりを大切にしていきたい。子どもから老人、身体障害者等の諸々の人が豊島区に住むことによって快適で安全な暮らしを続けられると良い。解決策としては、子育て支援、一時預かり、虐待等の問題についてきちっとフォローできるような体制づくりを考えていただきたい。老人が子どもたちを助け、子どもたちが老人を助けるというサイクルをつくるのが大切ではないか。
- ・ ハード的なことでは、暮らしのためのハードを整備して行ってほしい。



【豊島区の強み（良いところ）】

(教育)

- ・ 子ども数の増
- ・ 通学が便利→池袋小学校では（日本語学校（級））があり、外国の子どもが通っている
- ・ 地域では、毎年、近くの学校（池袋小）で夏ラジオ体操。高齢の方もたくさん出席し、とても気持ち良い朝を迎える。また、近所の方に会えて安心する
- ・ 大学とのつながり
- ・ 大学での生涯学習等講演に参加できる
- ・ 文京地域に近い
- ・ 立教、学習院など大学がある

(福祉・健康)

- ・ 相談の場所 地域包括支援センター8か所
- ・ 茜の里 障害者施設
- ・ 健康診断の励行（がん）
- ・ 無料で健康診断が受けられる
- ・ 施設 高齢者関連
- ・ 保育園・福祉施設に取り組んでいる

(文化)

- ・ トキワ荘 マンガ、アニメのまち
- ・ 都電が走るまちとして、もっとPRしたい
- ・ 鬼子母神をもっとPRできないか

(その他)

- ・ 地震等の災害時居残り協定ができています池袋駅（帰宅困難者）
- ・ 池袋は新しいまちですが、雑司が谷は810年創建の寺のあるまちですとPRしたい。
- ・ 乗降客の多い池袋駅、賑やかなまち

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(高齢者・バリアフリー)

- ・ 子どもや高齢者が散歩できる芝生の公園（憩いの場）がない
- ・ 駅のエレベーター古い
- ・ 車椅子・自転車で車両の移動が不便
- ・ 老々介護 支援センターはひとり暮らしの高齢者が知っているか。

(まち・環境)

- ・ 池袋というとわかるが、豊島区というに通じにくい。もっと周知したい
- ・ 商店街がなくなってきている
- ・ 支払いのコンビニ化
- ・ 交通量の多さ（特に弱者にとって）

(子ども)

- ・ 子育ての際、治安の不安
- ・ 待機児童が多い
- ・ 小・中学生の遊べる公園がない
- ・ 子どもの貧困が発生している地域でもある
- ・ 若い女性の減少
- ・ 消滅都市の認定



【課題】

- ・ (区民) 無関心をなんとかする
- ・ (区) 情報の発信が弱い →わかりやすく
- ・ まちづくりへの参加
- ・ 風通しを良くする
- ・ 知りたいと思った時にわかるように
- ・ (地域) 周囲の状況に関心をもつ見守り
- ・ ひとり暮らしの人が外に出やすいまちづくり
- ・ バリアフリー公園・緑が少ない
- ・ まちぐるみでの活動
- ・ シニアの力を活かせる場
- ・ 個々人の力を活かす
- ・ 交通安全週間 子どもとお年寄りの交流
- ・ 避難訓練
- ・ コミュニティ・町内会・自治会
- ・ 遊び場がない
- ・ 児童館がない
- ・ 災害時問題
- ・ マンション・アパートの問題
- ・ 生活スタイル・スタンス



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	福祉、子ども・子育てに関する相談窓口(入口)がわかりにくい	7	→	・ 情報提供媒体の多様化 ・ 目につく場所(例: コンビニ)でわかりやすい情報
2	子ども・お年寄りが集える公園が少ない	6	→	・ 精神衛生の向上に寄与する公園づくり(例: 地域で管理するフラワー公園)
3	希薄なコミュニティ マンション・アパートの増加	6	→	・ 町内会への加入促進 ・ 区から町内会に対するノウハウ・先進事例紹介

作業シート (写真)

第 テーマ: **福祉・健康・子育て・教育**

グループ D

メンバー名

子ども

【豊島区の強み (良いところ)】

- 教育** (教育) 通学が便利、大学へのアクセス、子育て支援、文化、スポーツ、福祉、健康
- 福祉** 高齢者支援、障害者支援、子育て支援
- 健康** 高齢者通、高齢者施設、高齢者センター

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- 高齢者** バリアフリー、高齢者施設、高齢者センター
- まち** 商店街、公園、緑地、高齢者施設
- 環境** 高齢者施設、高齢者センター

課題

- 無関心、孤独感、情報の不足、周囲の状況、遊び場、児童館、マンション、生活スキル、高齢者の活動、バリアフリー、個人での活動、交通安全、避難訓練

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 福祉、子ども・子育てに関する相談窓口(入口)がわかりにくい。	・情報提供媒体の多様化 ・目に付く場所(例:エビ二)でわかりやすい情報
② 子ども、お年寄が集える公園が少ない	・精神衛生の向上に寄与する公園(例: 外地域で管理するフラワ-公園)
③ 稀薄なコミュニティ マンション・アパートの増加	・町内会への加入促進 区から町内会に対するノウハウ・先進事例紹介

討議内容の発表

【強み】

豊島区の良いところとして、

- ・ 「子育ての神様」と言われる鬼子母神がある。また、アニメ・マンガ等のサブカルチャーという新しい文化を受け入れる懐の深さ、アピールできる文化が沢山ある
 - ・ 無料で健康診断が受けられ、地域包括支援センターや障害者施設があり、福祉・健康の面でも充実している
- といった意見があった。

【弱み】

豊島区の弱み、改善すべきところとして、

- ・ 特にバリアフリーについて、高齢の方が駅のエレベーターの場所が遠く苦労したり、車いすや自転車での移動が困難な駅がある
 - ・ 子どもにとっての環境面として、小学生が一日中自由に遊べるような公園がない、子どもの貧困が発生している
- といった問題点が挙げられた。

【課題】

以上を踏まえた大きな課題として、

- ・ 無関心をなくそう、周囲の状況に関心を持とう
 - ・ ひとり暮らしの高齢の方が外に出やすいまちづくりをしていこう
 - ・ まちぐるみの活動があると良い
- という意見にまとめられている。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

3つの主要課題と解決策としては以下ようになった。

- ・ 福祉・子ども・子育てに関する相談窓口（入口）がわかりにくい、などの意見が出ている。解決策としては、情報提供媒体の多様化、コンビニなどの目につく場所に福祉施設の案内等がひと目で分かるように置いてあるとよい、といった話が出た。
- ・ 子どもやお年寄りが集える公園がない。解決策としては、精神衛生向上に寄与するようなフラワー公園のような公園を増やしてほしいという強い意見が出た。また、他自治体の例にあるように、地域で公園を管理するといった方法もあるのではないかと声もあった。
- ・ マンション・アパートの増加により、コミュニティが希薄になっている。解決策として、町内会で加入を促進したり、区から町会に対し関連するノウハウを共有したり、先進的な町内会の事例を紹介するなどしてはどうか、といった意見があった。



【豊島区の強み（良いところ）】

- ・ 支援センターの利用がしやすい
- ・ ケアサービスの充実
- ・ 立教大学の存在感
- ・ 行財政が安定
- ・ 映画、劇場があり楽しめて幸せ
- ・ 公共交通が発達している
- ・ 人口密度が高い

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- ・ 不妊治療の補助金が練馬区などに比べて少ない
- ・ 出産できる大病院が少ない、またはない
- ・ 大病院がない
- ・ 検診の無料券が他の区で使用できない。かかりつけ医で検診を受けたい
- ・ 検診無料券が届くが不必要なこともある
- ・ ワクチンの券が英語表記なし。英語で
- ・ 歩道のない道、人は右側、車は左側であることを少し学んで下さい
- ・ 駅のバリアフリー（エスカレーターなど）が少ない
- ・ 公園（大人・子どもが一緒に遊び楽しめる。芝生があるとベター）
- ・ ジョギングしたり花見をしたりできる公園が近くにない
- ・ 商店街にも休憩するベンチなどがない
- ・ 保育園、入園できない・入園手続きが面倒
- ・ 保育園の入園が、手続き不透明
- ・ 子ども用の店が少ない。
- ・ 幼・保のバスの送迎がない
- ・ 独居老人が多い
- ・ 老人ホームは郊外の方が安いので板橋などへ行く
- ・ コミュニティ少ない
- ・ 地域コミュニティが未成熟
- ・ 情報開示
- ・ 議員さん報告なし



【課題】

(コミュニティ)

- ・ 地域コミュニティの構築
- ・ コミュニティづくり
- ・ 地域商店会の振興
- ・ コミュニティの核となるものの不足、情報発信不足

(医療の充実)

- ・ (総合) 病院が少ない→誘致
- ・ 医療の充実
- ・ 医療総合体制 (大病院)

(国際化)

- ・ 国際都市目指して英語表記、英語対応

(高齢化対策)

- ・ 福祉施設の充実
- ・ 生活道路の整備
- ・ 老人支援→年をとっても活動できる拠点がほしい/ケアセンター・老人ホームの充実/人材活用

(少子化対策、病院)

- ・ 不妊治療手当
- ・ 子育て支援、統一した情報を。窓口も個々ではなく統一を
- ・ 子育て支援→単純に数を増やすだけでは対応できない
- ・ 子育て支援の不十分なところ→保育所・不妊治療・病院
- ・ 幼稚園充実→送迎バス
- ・ ショッピングセンター誘致

(公園整備)

- ・ 憩いの場くつろげる公園などがほしい
- ・ 公園の整備
- ・ (大) 公園が少ない
- ・ 子どもも大人も一緒に遊べる公園

(行政サービスの向上・情報公開と発信)

- ・ 情報発信→広報みたことがない
- ・ 情報公開
- ・ 行政のワンストップサービス・効率化



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	少子化対策	7 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊治療手当と出産一時金の増額 ・ 待機児童の解消 ・ 保育所申込手続きのクリア化・簡素化 ・ 保育所に入れなかった時のケアを ・ 幼稚園の充実、送迎バス ・ 出産できる病院の確保
2	高齢化対策 コミュニティづくり	2 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の誘致←跡地の活用 ・ ホーム、老人福祉施設の充実 ・ デイサービス充実 ・ 孤立を防ぐコミュニティづくり。ハードだけでなくマンパワーの活用
3	行政サービスの向上と まちづくり、国際化	3 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政サービスワンストップ化・簡素化 ・ 情報を公開し、新聞をとってなくてもわかる積極的な発信。ネットなど ・ 国際化 英語表記、英語で対応できる人材環境 ・ まちづくりで公園充実、バリアフリー

作業シート (写真)

第 テーマ:

グループ E メンバー名

【豊島区の強み (良いところ)】

- 立教大学の存在感
- ケアサービスの充実
- 行政サービスの充実
- 公園の整備
- 国際化

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- 高齢化対策
- 小児化対策
- 国際化
- 行政サービスの向上
- 情報公開と発信
- 公園の整備

【課題】

- コミュニケーション
- 医療の充実
- 高齢化対策
- 小児化対策
- 国際化
- 行政サービスの向上
- 情報公開と発信
- 公園の整備

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 小児化対策	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療や出産一時金の増額 待機児童の解消 保育料申請の負担の軽減・簡素化 保育料に負担をかける時のケア 幼稚園の充実 送迎バス 出産で2病院の確保
② 高齢化対策 コミュニケーション作り	<ul style="list-style-type: none"> 病院の誘導、一か所の活用 ホーム、老人福祉施設の充実 サービス充実 孤立を防ぐコミュニケーション、ハートフルなケアの活用と共有
③ 行政サービスの向上と 開く、国際化	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスのワンストップ化、簡素化 情報公開し、新聞とテレビでの発信、ネットと 国際化 英語標記、英語対応できる人材環境 開く、公園の充実、NPO活用

【強み】

豊島区のよいところとして、

- ・ 池袋を中心とした、賑やかな活気あるまちが皆好きであること
 - ・ 公共機関が非常に便利で、生活もしやすいこと
 - ・ 立教大学もあるし学習院大学もあること
- といった意見があり、若い人が集うよいまちだといえる。

【豊島区における気になる点】

「暮らし」分野での気になる点について、具体的なところを挙げた。

- ・ 不妊治療に対する手当が非常に少ない。東京都では15万円ほどの助成があり、練馬区だとさらに5万円となっているが、そのようなことが豊島区にはない。
- ・ 産む病院がない。病院施設をもっと充実させてほしい。
- ・ 待機児童の問題。どうしても保育園に入ることができない。また、公共の保育を区で申込み、認証保育を申し込むときにまた別に他の窓口に行かねばならない。子どもの面倒をみている母としては困る問題であり、行政のワンストップサービスをぜひ心掛けていただきたい。
- ・ 保育園入園の時、点数制の結果をせめて当事者にはオープンにしてほしい。
- ・ ご主人が外国の方だと、どうしても区役所の職員の対応が、二人で訪れたときなど、日本人の奥様の方にいってしまう。また、ワクチン接種の通知等が全て日本語表記だと、外国人のご主人がそれを見た時に不要な書類だと思って捨ててしまう。豊島区は非常に国際化が進んでいるので、封筒も表面だけで良いので英語表記や中国語表記等をしてもらおうと助かる。
- ・ 安心して診ていただける病院施設が非常に少なくなってきたのではないかと。また、特別養護老人ホームの量も相対的に少なくなってきたのも気になる。
- ・ 健康維持のために公園に散歩に行くことがあるが、豊島区には大きな公園が非常に少ない。
- ・ デイサービスをもっと充実させたほうがよい。
- ・ 単身でお住まいの高齢者の方に対しての交流を持つためにもコミュニティが必要ではないか。ハードだけではなくマンパワーの活用を目指す。
- ・ 跡地として現区庁舎や造幣局などいくつか出てきている。福祉という大きな枠の中で、大きな病院・施設を企画・経営するのもよいのではないかと。
- ・ 子ども用品を買う所が少ない。
- ・ 普段の生活の中で、バリアフリーをしっかりとすることにより、高齢者の方、ベビーカーを押す方に対しても、もっと便利なまちづくりをしたほうがよいのではないかと。
- ・ 東長崎駅が最近新しくなったが、エスカレーターは上りしかない。高齢化が進むと下りも必要になってくる。新しくなったという意味でも、エスカレーターは上下ともに必要なのではないかと。
- ・ コミュニティを中心として、新しいものを建てるのは良いが、今あるものを活かしていく。立教大学や学習院大学で教室をやったり、公園に皆さん集まったりしながら、無駄のない・効率のよい行政サービスが続けばよいと思っている。



【豊島区の強み（良いところ）】

- (健康)
 - ・ 健康への関心が強い／がん検診の無料／健康チャレンジ制度
 - ・ がん検診等（その他がん）健康増進を図っている。障害者（視覚障害者）等に対する点字ブロック等充実している
- (交通)
 - ・ 交通の便が良い。副都心線で更に充実
 - ・ 山手線の駅が多い
 - ・ JR線、地下鉄、私鉄
 - ・ 環境にやさしい交通手段である都電が走り、区民に親しまれ利用されている
- (教育)
 - ・ 学校多い
 - ・ セミナーの数が多い（啓発活動と情報提供の場）
- (文化)
 - ・ 文化創造のまち（まんが、アニメ等）を全国に発している
 - ・ アートのまち（文化的な）アトリエ村のなごり
 - ・ 東口サンシャイン文化会館
 - ・ 文化面 ふくろう銅像（東口）駅構内
 - ・ 歴史的な要所を抱えている。鬼子母神、巢鴨おじぞうさま
 - ・ 池袋西口 池袋芸術劇場
 - ・ 文化的史跡が多く、散歩に良好
 - ・ 文化面 トキワ荘（まんが家 藤子不二雄等）
 - ・ 特色のあるまち→例：巢鴨（お年寄りの“原宿”）“すがもん”ゆるキャラで若い人の観光化
- (バリアフリー)
 - ・ バリアフリーが整備されている
- (その他)
 - ・ 買い物が便利。スーパーが地区の中で複数ある。デパートや大型家電販売店
 - ・ 人が沢山いて賑やか
 - ・ 区政として諸問題に敏速に取り組んでいるようにみえる
 - ・ 新庁舎ができた。役所と分譲住宅、新しい試み

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (教育)
 - ・ 公立の一貫校がない
- (子育て)
 - ・ 人が沢山いて保育園が不足
 - ・ 子どもが育てにくい
 - ・ 子どもを産み育てやすくできる。女性が安心して働く場にしたい
- (暮らし)
 - ・ 密集地には住宅の改善を図り、安心して住めるように、地域毎に充実を図る必要がある
 - ・ 老朽化住宅が多く、防災上の問題が多い
 - ・ 路地の道路幅が狭く、消防車が入れない
 - ・ 車、自転車、人と接触しやすい
 - ・ 自転車のマナーが悪い
 - ・ 治安が悪くなっている
 - ・ 緑が少ない
 - ・ ごみ出しのルールが守られていない
- (健康)
 - ・ 大病院がない→特徴・強みのある病院がない。駅近にない
- (高齢者)
 - ・ 老人ホームの充実→待機老人が多い
 - ・ グループホームの内容をもっと充実させていく
 - ・ 身近に出かけられる高齢者の集会所（団樂の場）が少ない
 - ・ 敬老者に待遇悪し（9/15 敬老の日）



【課題】

(待機児童)

- ・ 保育園を増やす
- ・ バランスよく施設
- ・ 待機児ゼロにするために保育園の充実を図ること

(医療の充実)

- ・ 病院が少ない
- ・ 総合病院の設置（アクセスの良い場所）（救急病院の増設）
- ・ 総合病院等大きな病院で床にカラー別に行き先を示しているのはわかりやすい
- ・ 無料にもかかわらず、検診に出向かない方がいる。それをどうするか（徹底を図ること）
- ・ がん検診の広報はされているが、受診率が低い

(高齢者への支援の充実)

- ・ 待機老人ゼロにするため各老人ホームの充実を図る
- ・ 在宅ひとり暮らしの老人を支援するため策を考える
- ・ 地域のボランティアの活用等

(防災)

- ・ 老朽住宅・空き家の建て替え
- ・ 防災上からの狭い住宅地、道路対策
- ・ 道路幅を拡げる→消防車・救急車が入れるように

(マナー)

- ・ 大学生年齢層の公共マナーが悪い（例：池袋芸術劇場の広場に噴水あり、その中にパンツ一丁で投げ入れられていた。また、大勢で奇声を上げていたので、おまわりさんを読んで解散させた）

(特色のある暮らしやすいまち)

- ・ 特色のある「まち」の推進：若者が来る、とげぬき地蔵、鬼子母神

(その他)

- ・ 地域によって買い物弱者がいる
- ・ 障害者の歩行をスムーズにするため、点字ブロックの部分に物を置かない（自転車など）



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	医療の充実 ・ 総合病院の設置、検診受診率向上	12	→	・ 医学部大学の設置→（その後段階を踏んで）総合病院 ・ 受診者への減税措置（50%オフ） ・ 受診が一括にできるしくみ
2	待機児童をゼロにする	5	→	・ 空き家の利用・空き家のリフォーム ・ 高齢者（有償）ボランティアの活用
3	高齢者への支援の充実 ・ 老人ホーム、ひとり暮らし支援	3	→	・ 定年後の（有償）シニアボランティア活動 ・ 空き家のリフォーム

第1テーマ **暮らし**

健康
健康への関心が高い
・がん検診の無料
・健康診断の制度
・健康増進計画
・健康増進計画
・健康増進計画

交通
モノが便利
・駅へのアクセスがよい
・バスが充実している
・徒歩での移動が楽
・自転車での移動が楽
・高齢者への配慮がよい

教育
セミナーの機会が多い
・習い事や講座の提供が豊富
・子育て支援の充実

文化
美術館や博物館が多い
・図書館が充実している
・公民館やコミュニティセンターが活用されている
・伝統文化の継承がされている

子育て
子育て支援の充実
・保育園や幼稚園の充実
・児童館や児童センターの活用
・子育て支援センターの活用
・子育て支援センターの活用

防災
防災意識が高い
・防災訓練が定期的に行われている
・防災意識の啓発がされている
・防災意識の啓発がされている

高齢者
高齢者への支援が充実
・高齢者への支援が充実
・高齢者への支援が充実
・高齢者への支援が充実

課題
・高齢者への支援の充実
・待期児童をゼロにする
・空き家の活用・空き家のリフォーム
・高齢者への支援の充実

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 医療の充実 総合病院の設置 検診受診率向上	医学部大学の設置→総合病院 受診者への減税措置(50%オフ) 受診が一括にできる
② 待期児童をゼロにする	空き家の利用・空き家のリフォーム 高齢者ボランティアの活用(有償) ボランティア
③ 高齢者への支援の充実 老人ホーム、一人暮らし支援	定年後のシニアボランティア活動(有償) ボランティア 空き家のリフォーム

討議内容の発表

【強み】

- 健康分野では、豊島区ではがん検診が無料。

【弱み】

- 子育て分野では、保育園が不足していることで、子どもを育てにくい。
- 「老人ホームの充実」ということでは、待機老人が多い。
- 9月15日の敬老の日に、中央区の高齢者には、お食事代が3,000円、他の項目で5,000円支給される例がある。最近高齢者になったが、豊島区では何も出さず驚いた。

【課題】

強みと弱みを踏まえた上での課題として3点に絞らせていただいた。

- 待機児童のゼロを図る。保育園の充実を図ることとつながっている。
- 医療の充実。総合病院があまりなく、設置が必要である。救急病院の増設、産婦人科の病院も割合少ない。がん検診は無料なのに、受診率が低い。受診を徹底させるためにはどうすればよいか話題になった。
- 高齢者への支援の充実。特別養護老人ホームの待機の老人がゼロになるように、充実を図っていただきたい。在宅ひとり暮らし老人への支援のための施策を考える。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

課題をもとに、豊島区が抱える3つの主要課題として、「医療の充実」「待機児童ゼロにする」「高齢者への支援の充実」を選んだ。行政の人たちが考えつかないような解決策を考えようということで議論した。

- 医療の充実については、医学大学を誘致・設置する。その後、段階的に総合病院を誘致設置すべき。受診率向上ということで、受診者には減税措置をしよう。地方税を50%オフにしてはどうか。受診に行きやすい仕組みをつくる。
- 「待機児童ゼロにする」では、空き家をリフォームして利用。高齢者に有償でボランティアをしてもらう。
- 「高齢者への支援の充実」では、定年後のシニアのボランティア活動を利用、また空き家のリフォームが必要である。



【豊島区の強み (良いところ)】

- ・ 交通の便が良い
- ・ 利便性が高い
- ・ 交通環境が充実
- ・ 通勤便利 山手線駅が5つ
- ・ 商業が充実
- ・ 公共施設
- ・ 図書館等もあり環境が良い
- ・ 文化の面も良い→芸術劇場等
- ・ 飲食店は充実
- ・ 池袋に大型百貨店、立教大学
- ・ 仕事するにはベスト (商業地域)
- ・ 国際交流 オール豊島小学校
- ・ 将来的にメジャーになるかも? 巣鴨、中華街
- ・ 親切な人が多い
- ・ 海外からも溶け込みやすい
- ・ 庶民的。暮らしやすい
- ・ 町内の取り組みがしっかりしている
- ・ PTA が元気
- ・ 池袋駅から少し歩くと住宅街
- ・ 防災対策→公園のかまどベンチなど

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- ・ まちづくり 公園に健康機器など
- ・ 公園が少ない、小さい
- ・ ランドマークが少ない(前はサンシャイン 60 が日本一だった)
- ・ 少子化で閉鎖された学校の利用
- ・ 世代間ギャップ→拡大中
- ・ 緑がない
- ・ 空き家・空き地が多い。もったいない治安
- ・ 危険ドラッグの販売が多いと聞く
- ・ 早く待機児童ゼロを目指したい
- ・ 区施策のミスマッチ→公民館崩壊
- ・ 住宅密集していて火事が心配
- ・ サイレン (パトカーなど) が夜中うるさい
- ・ 各学校に相談室がない
- ・ つながり・コミュニティづくりの施策が少ない
- ・ 高齢者に対する市民後見人制度。育成。
- ・ 外国人とのふれあい
- ・ ごちゃごちゃしていて落ち着かない
- ・ ダサいイメージ
- ・ 少子化で学校が減少
- ・ 高齢者の一人暮らしが多いのが心配
- ・ 区民の集まり場所が少ない
- ・ 外国人のための交流が少ない
- ・ 治安が悪い



【課題】

- ・ 公園を増やす: 空き地を利用/大きい公園を活かす/健康機器
- ・ 暮らしの中のニッチ空間を使った公園 (交流の場)
- ・ 子育てしやすいまちへ
- ・ 教育プログラム (メニュー) を増やす
- ・ 食育 (植育)
- ・ 国際文化発表会・公演会
- ・ 世代間のつながり
- ・ 助け合いできるまちに
- ・ 家族ができて住みたいまちに



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	少子高齢	5	→	<ul style="list-style-type: none">・同じ地域に老人も子どもも一緒に過ごせる施設（ベビーシッター）・集まりの場を増やす・閉鎖されている学校の利用をスピード化していく
2	子どもが集まる緑地公園が少ない	3	→	<ul style="list-style-type: none">・空き地、屋上、廃校等を活用した市民農園・空き地、空き家を活用・集まりの場を増やす・閉鎖されている学校の利用をスピード化していく
3	同世代コミュニティ	5	→	<ul style="list-style-type: none">・街のインフラを（学校）を有効利用したコミュニティサークルの育成・市民後見人の育成：補助金（東京都の講習費）・シルバーテラスハウス

作業シート (写真)

第1テーマ: 共に暮らす～世代を超えて、地域を越えてつながる人の環～

グループ G メンバー名

【豊島区の強み (自)】

- 交通が便利 (交通の便が良い)
- 商業が充実 (飲食店の数)
- 公園が小さい (公園が少ない)
- 空屋が多い (空き家が多い)
- 子育て支援 (子育て支援)
- 国際文化 (国際文化)
- 食育 (食育)

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- 町づくり (町づくり)
- 公園が小さい (公園が少ない)
- 空屋が多い (空き家が多い)
- 子育て支援 (子育て支援)
- 国際文化 (国際文化)
- 食育 (食育)

【課題】

- 公園が小さい (公園が少ない)
- 子育て支援 (子育て支援)
- 国際文化 (国際文化)
- 食育 (食育)

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 少子高齢	同じ地域に老人と子どもと一緒に暮らす機会を創出 (高齢者の集まりの場を創出)
② 公園が小さい	空屋・空き地を公園等に活用 (空屋・空き地を公園等に活用)
③ 町づくり	市見発見員 (市見発見員) 補助金 (補助金) シェアハウス (シェアハウス)

討議内容の発表

全体として「ともに暮らす 世代を超えて、地域を越えて つながる人の環」というテーマで話し合った。強み・弱みを話していく中で、「色々課題もあるけれどつながっていくね」という話が出て、このようなテーマを付けることになった。

【強み】

強みとしては、利便性が高いことがまず挙げられた。利便性の中には、交通の便、商業施設・公共施設の充実が池袋を中心にあるので、その点は強みと確認された。また、地域によっては、地域の中での人と人とのつながりが強いことも強みとして挙げられた。

【弱み】

弱みとしては、池袋で事故があったように、危険なイメージは、利便性が高まれば高まるほど同時についてくるのではないかという意見があった。また、緑が少ない・公園が少ないという指摘や子育て環境が住みやすいまちなのかという点が疑問として挙げられた。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

メリット・デメリットを課題としてまとめ、以下3つを主要課題とした。

- ・ 少子高齢化という課題について、豊島区が少子高齢化という課題でランクインしてしまったこともあるが、地域によっては若い人が集まらないまちもあると思うので、悪い面だけではない。対応としては、昔の児童館や公民館のような形で、同じ施設に、子どもからお年寄りまで一緒に過ごすことができる施設があればよい。いま「スキップ」や「ジャンプ」といった、世代を分断してコストを掛けない仕組みづくりが区で進められている。そこを、手間やお金がかかるかもしれないが、世代を超えて集まれば、時間のある方が子どもをみたり、子どもがお兄さんやお姉さんに面倒をみてもらったりすることで、地域として子育てができるのではないか。
- ・ 子どもが遊べる緑地公園が少ないという課題について、実際にすごく大きな公園が豊島区にはあまりないと思う。統合して小学校と中学校がひとつになり、そこで空いた土地等を有効利用することで解決できないかという話があった。南長崎スポーツ公園のように活用されているものもあり、そういったものがこれからも増えていけばよいのではないか。
- ・ 同世代コミュニケーションについて、これは新しい響きかも知れないが、少子高齢化や利便性という中で、同世代の中でのコミュニケーションの充実を課題として挙げている。その対応としては、国際交流関係も含め、市民後見人育成への支援、コミュニケーションサークルの育成、シルバークラブハウスなどが充実できればよいのではないか。



【豊島区の強み（良いところ）】

- (交通利便性)
 - 池袋駅→ターミナル駅
 - 交通の便が良い
 - アクセスしやすい
 - 利便性
 - 埼玉の入り口
- (人の多様性)
 - 人が沢山集まる 活気がある
 - (人) 多様性
 - 若者からお年寄りまで愛されるまちである
 - 学校が多い
 - 企業の本社
 - 人口が微増
- (遊びの場)
 - 多様なアミューズメント
 - 施設（商業）が充実している
 - 寄りどころが多い（訪問スポットが多い）
- (文化)
 - 文化流行の発信地
 - アニメ、アート、サブカルチャー
 - 「クールジャパン」の要素を持つ資源が豊富
 - 税金が多い
- (都会的)
 - 大都会！ビルが多い／東京らしい
 - 知名度が高い
- (区の姿勢)
 - 迅速な対応
 - 「池袋学講座」など、官民連携の可能性

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

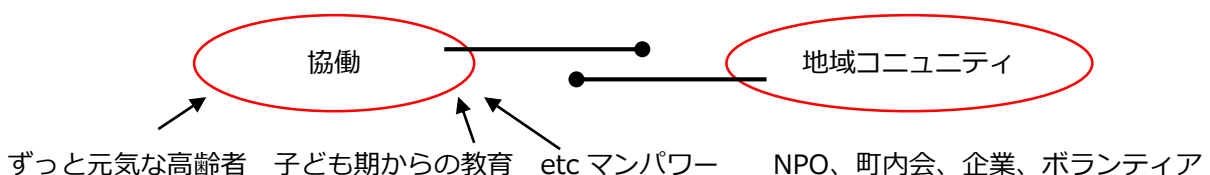
- (治安)
 - 危険ドラッグ事件
 - 多様性ゆえ「摩擦」が起こる蓋然性も高い
 - チャイナタウン
 - 一歩中に入ると細くて暗い道も少なくない
 - 豊島区＝池袋のような印象が強すぎる（豊島区というより池袋の人气が高いかも）
 - 区内のアクセスは多少弱い→ターミナル駅／高齢者の“足”
 - 治安の悪さ→印象が完成されている
- (緑)
 - 緑が少ない
- (子育て／福祉)
 - バリアフリーの進んでいるイメージはあまりない
 - 待機児童の問題
 - 「子連れ」で入れるお店が少ない
- (街並み)
 - 既に街が出来上がってしまった
 - 人が多い←池袋 ごちゃごちゃして歩いて歩にくい（特に高齢者など）
 - 悪い意味でモノが多い
 - あまりきれいではない→ポイ捨てとか
 - 「ホームレス」のような貧困者の顕在化
 - 人口流入に耐えうるインフラ
 - 定住者が少ないイメージ
 - 昼間人口と夜間人口の差
- (その他)
 - 23区内で唯一消滅可能性都市
 - 土地が狭い



【課題】

- 健康／区内アクセス→豊島区＝池袋という印象がつよい（区内のアクセス弱）
- 子育て／チャイナタウン 異文化（偏見がある）／「夜道」での不安など
- ドラッグ／街並み

多様性を活かした「福祉のまち」





豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	高齢者の抱える問題	2 →	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者 ・子どもからの認知症対策 ・スポーツ施設の利用促進 ・歩くように→高齢者になる前に ・コミュニティバス／設置が計画されている LRT の活用 ・大学等と連携 ・小学校と連携した見守り ・世代間でのまち歩き
2	子育てしにくい環境	3 →	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活性 ・企業と NPO との連携 ・ボランティア（マンパワー） ・学童保育の充実 ・高齢者による子育て支援（ボラ） ・子どもの時からの異文化交流（偏見なくす） ・ボランティアによる夜回りのようなモニタリング ・交流→見守り ・学校で健康教育 ・高齢者の食事指導
3	その他福祉に関する問題	0 →	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での生徒による作文・ポスター作成（危険アピール） ・ホームレスへの生活保護を促す ・ホームレスなど貧困にある方に「特別事業」を与える ・更生施設の設置など再教育 ・早期からの小中学校での「ドラッグ」教育 ・親子で楽しめる施設の増加 ・公園整備（子ども連れでも安心）

作業シート (写真)

第1テーマ: **ともし暮らし**

グループ **H**

【豊島区の強み (良いところ)】

- 交通利便性**
 - 池袋駅ターミナル駅
 - 交通の便が良い
 - アクセスがしやすい
 - 利便性の高い
 - 入居しやすい
- 人の多様性**
 - 人種・文化・年齢・性別
 - 多様性
 - 多様な価値観
 - 多様なニーズ
 - 多様な人材
 - 多様な企業
 - 人口が増える
- 遊びの場**
 - 多様な施設
 - 多様な娯楽施設
 - 多様な公園
 - 多様なスポーツ施設
- 文化**
 - 文化施設
 - 文化活動
 - 文化イベント
 - 文化施設
 - 文化活動
 - 文化イベント
- 都市的**
 - 都市的
 - 都市的
 - 都市的
 - 都市的
 - 都市的

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- 治安**
 - 治安の悪化
 - 治安の悪化
 - 治安の悪化
 - 治安の悪化
 - 治安の悪化
- 緑**
 - 緑が少ない
 - 緑が少ない
 - 緑が少ない
 - 緑が少ない
 - 緑が少ない
- 街並**
 - 街並みの悪化
 - 街並みの悪化
 - 街並みの悪化
 - 街並みの悪化
 - 街並みの悪化
- 子育て**
 - 子育ての課題
 - 子育ての課題
 - 子育ての課題
 - 子育ての課題
 - 子育ての課題
- 福祉**
 - 福祉の課題
 - 福祉の課題
 - 福祉の課題
 - 福祉の課題
 - 福祉の課題

【課題】

- 健康**
 - 健康
 - 健康
 - 健康
 - 健康
 - 健康
- 子育て**
 - 子育て
 - 子育て
 - 子育て
 - 子育て
 - 子育て
- 街並**
 - 街並
 - 街並
 - 街並
 - 街並
 - 街並

多様な多様性を活かした「福祉のまちづくり」

協働 → 地域コミュニティ

高齢者 → 子育て世代 → etc...

豊島区が抱える主要課題

- ① 高齢者の抱える問題**
- ② 子育てしにくい環境**
- ③ その他福祉に関する問題**

主要課題への対応方針・解決策

- 高齢者**
 - 高齢者
 - 高齢者
 - 高齢者
 - 高齢者
 - 高齢者
- 子育て**
 - 子育て
 - 子育て
 - 子育て
 - 子育て
 - 子育て
- 福祉**
 - 福祉
 - 福祉
 - 福祉
 - 福祉
 - 福祉

討議内容の発表

【強み】

強みとしては、

- ・ 交通の利便性がとてもよい
- ・ 人の多様性、遊び場がある
- ・ 文化の発信地である
- ・ 都会的である

といったことが挙げられた。また、区の姿勢として、消滅可能性都市として豊島区が挙げられた際、それに対する迅速な対応が素晴らしいと感じた。

【弱み】

豊島区の弱みとしては、

- ・ 危険ドラッグの事件を受け、治安が良いというイメージはあまりない
- ・ 緑が少ない
- ・ 道にたばこやごみが捨てられており、街並みがきれいではない
- ・ 子育て・福祉の課題として、子連れで入れるお店が少ない、バリアフリーが進んでいるイメージはあまりない

といったことが挙げられた。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

人の多様性という長所と、福祉と子育ての領域に弱点がある、また、治安についてもよくないとされている点に着目し、3つの主要課題・取組を考えた。「高齢者の抱える問題」「子育てしにくい環境」「その他福祉に関する問題」の3つ、それらの対応策を一言でまとめると、2つの点で指摘できる。「多様性を活かした福祉のまちづくりをすべき」ということと、「地域コミュニティを使って、それを活かして、多くの多様な区に関わるアクターが生き生きとできる社会をつくろう」ということである。

- ・ 区に関わる若者から高齢までの様々な人たちの協働。立教大学は「池袋学講座」で関わってきたが、豊島区には多くの大学や高校がある。学習機関と提携して、健康教育、高齢者に対してどうすれば健康に生活できるか、また高齢者だけではなく、若い世代にも、高齢になる前に運動不足の解消方法などを学んでいくことが必要だと考えた。
- ・ 他のアクターとの協力では、町内会の活性や企業、NPOと連携して、こういった施策にあたる。中でも強調したいのは小学校と連携し、高齢の方をマンパワーとして活かして、小学生等を見守っていくということである。最近共働き世帯が増えているので、高齢者が子育てに関わっていければ、高齢の方を活かしていくという課題にも提言できると思われた。

こうした政策によって、元気な高齢者を中心に様々な人たちがいきいきと活動する社会をつくることによって、「豊島区」という地域全体を活性化させて、福祉のまちとして、治安が悪いことで悪いイメージが先行している部分がある豊島区のイメージを、よいイメージに変えていく。



◆ 討議内容の講評（第1テーマ情報提供者より）

【保健福祉部福祉総務課長 常松 洋介】

- ・ どの発表も内容の濃いもので、非常に参考となる。私どももこの間努力してきているつもりであるが、まだまだ努力が足りない、もっと頑張らなくてはいけないと思いながら発表を聞かせていただいた。
- ・ 「特養の施設が足りない」とのご意見については、ご指摘のとおりと思う。豊島区の特養で一番新しいものは平成17年にできたものである。平成27年度には、2つの施設、ベッド数にして200床ほどの施設が完成する。ようやくというところだが、今後も、特養やグループホーム等の施設整備は引き続き行っていきたい。
- ・ 地域の人材の関係で様々なご意見をいただいた。地域には人材となる方が豊富にいるものの、なかなか活用しきれていない。一例では、今年度より社会福祉協議会では、「地域福祉サポーター」を募集している。地域福祉サポーターには様々なかたちで地域に出ていただく。またそれを他の世代に広げていきたい。ぜひ皆様も、「社会福祉協議会の地域福祉サポーター」ということで検索していただき、よろしければ、ご参加いただけるとありがたい。
- ・ 「情報がなかなか分かりづらい」というご指摘も非常に重要だと思っている。私どももそれなりに工夫しているつもりだが、まだまだ伝わりにくいと思われる。例えば「ハートページ」という介護関係のガイドブックがある。高齢の方も多いことから、電子媒体ではなく冊子としている。区役所などに置いてはあるが、なかなか存在を知っていただくのも難しい状況があり、この点は今後の反省点だと思っている。便利な冊子なので、お近くの高齢者総合相談センターや区役所に行った際にお手に取ってご覧いただきたい。
- ・ 病院に関するお話がたくさん出ていた。まちの病院については、ここ最近では経営が非常に厳しく、豊島区の中でもいくつかの病院が撤退をされてしまっている。また、産科のお医者さんがいない等にご指摘いただいたとおりである。総合病院等の誘致については、一朝一夕にいくものではなく、豊島区としても今後の課題と思っている。難しい点もあることをご承知のうえでのご指摘と思っている。
- ・ 今後とも福祉の関係で頑張らせていただく。お力添えをよろしく願いたい。

【子ども家庭部子育て支援課長 猪飼 敏夫】

- ・ 貴重なご意見をいただいた。厳しいご意見もあったが、納得するご意見も多くあった。
- ・ 「情報提供のかたち」については、これは子育て分野に限ったことではないが、各種媒体でいかに分かりやすく情報提供できるか、日々工夫を重ねている。保健所が新たな取組を始め、9月より、子育てモバイルから登録していただいた方に、例えばワクチンの注射などの情報をお届けするといったサービスも始めている。どのようなかたちで必要な情報が皆様に届くかということ日々考えていきたい。
- ・ 保育園に関しては、待機児童対策が子ども家庭分野の最重要課題となっている。計画を立て対策を実施し、またニーズが変わればそれに対応するだけの手立てを打っていきたいと考えている。待機児童対策は、すぐ明日から「待機児童ゼロ」というわけにはいかないのもうしばらくお待ちいただきたい。
- ・ 「保育園についてどこに聞いたらよいか分からない」というご指摘がある。確かに分かりにくいと思われるが、まずは子育て支援課にお問い合わせいただきたい。子育てに関わる内容は、子育て支援課、また東西の子ども家庭支援センターにお電話いただきたいと思う。としまF1会議でも同様のご意見をいただいている。
- ・ 子育て支援の課題に対し、何らかの対策を実施したとしても、それで全てが解決するとは思っていない。今後も日々研鑽を重ね行政サービスの向上に努めてまいりたい。

【政策経営部長 齊藤 忠晴】

- ・ 各グループに共通してあったご指摘として、「コミュニティが大切である」こと、「コミュニティの核になる施設が不足しているのでは」という点が挙げられた。
- ・ 豊島区では、平成 18 年度から段階的に小学校の中に放課後の学童の機能も合わせた「子どもスキップ」という施設を併設するようにしている。学校が終わった後、スキップに行き、放課後に自由に校庭や体育館を使って過ごしていただく。区内に小学校は 22 校あるが、来年度には全てに設置完了となる。
- ・ スキップが学校に併設されたタイミングで、児童館は空くことになる。その空いた児童館の施設を利用し、世代を超えた乳幼児から高齢者の方まで自由に来てそこで楽しんで活動していただく「区民ひろば」という施設に転換している。「区民ひろば」は本格的にスタートしてから 10 年弱であるが、まだまだ認知度が高いとはいえ、周知が足りていないと思う。これは課題とさせていただきたい。
- ・ 学校開放についても、地域の方とその活動のために積極的に進め、全小中学校において、学校の教育活動に支障のない範囲で開放している。そのような情報についても提供・開示・周知していくことが必要だと感じた。
- ・ 情報提供のあり方として、広報紙、ホームページといった従来からの方法に加え、SNS や ツイッター、フェイスブック等もツールとして活用していく時代になってきたのではと改めて感じた。
- ・ 病院施設が足りない等なるほどと思ったご指摘も多々あった。そういった皆様のご意見を整理させていただき、有効に活用できるような討議もさせていただきたいと思う。

● 討議内容の講評の様子



第2テーマ ともに築く

グループA 第2テーマ「ともに築く」

【豊島区の強み（良いところ）】

- (商店街の魅力)
 - ・ 商店街があり、便利
- (前向きな開発)
 - ・ 大きなターミナル駅が存在
 - ・ 前向きな再開発
- (新旧のバランス)
 - ・ 巣鴨：とげぬき地蔵、池袋：若者中心→古きまちと新しいまちがミックスしている
- (ごみ収集の仕組みが良好)
 - ・ 燃やせるごみの種類の多さ
 - ・ ごみ収集が円滑に行われている

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (バリアフリー)
 - ・ ベビーカーが通れない橋。通れても急すぎて危険
 - ・ 吉祥寺のようにアーケード化
 - ・ 行き先案内が適切でない
 - ・ 街の表示 日本語英語他（オリンピックに向けても）
- (緑化の問題)
 - ・ 緑地が少ない
 - ・ 大きな緑の公園が少ない
 - ・ 子どもたちも公園で遊べるように
 - ・ デングウイルスを持つ蚊を寄せ付けない緑化、水場など
- (防災と防犯)
 - ・ 治安
 - ・ 夜の町並みを住宅街も少し明るく
 - ・ 繁華街における犯罪増加
 - ・ 住宅密集地 狭隘道路が多く消防車が通れない
 - ・ 老朽住宅、空き家が多く、防災上問題
 - ・ 近い将来の大災害への対策・危機管理
 - ・ 広域避難場所が少ない。特に老朽住宅密集地
- (景観上の問題)
 - ・ デザインの統一感がない（公共建築物）
 - ・ 町名と学校名
- (ごみの問題)
 - ・ 違法な回収業者取り締まりを
 - ・ 夜間に持ち去るので音がするし怖い
 - ・ ごみそのものに関する意識を高めるはたらきかけが少ない
 - ・ ごみ減量の周知不十分（紙）
 - ・ 行政サイドの紙削減意識の欠如
- (道路の問題)
 - ・ 巣鴨国道17号線により地域が分断されている
 - ・ 狭い道なのに通りぬけ車輦が多い
 - ・ 通学路の登下校時の歩行安全策（スクールゾーン等）の不備



【課題】

(行政)

- ・ ごみ減量の周知促進
- ・ バリアフリーのきめ細やかな推進
- ・ 道路幅に合った消火設備
- ・ 安全安心に留意した緑化

(住環境の問題)

- ・ 夜間の音を規制する条例づくり
- ・ 住民に届く情報発信の改善
- ・ 治安
- ・ 道路の安全と美化
- ・ エコ企業を区で支援を
- ・ 路面電車が JR 池袋駅に近づいてほしい→利便性の向上
- ・ 池袋南開発にぜひ病院を
- ・ 町会と住民の顔の見える交流が必要

(住民)

- ・ 治安 自主的な解決も
- ・ ごみを出す側の意識



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	バリアフリー推進	6	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 階段のスロープ化 ・ 行き先案内の国際化 (公衆無線 LAN)
2	防災機能向上	3	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 山手線巣鴨駅-大塚駅間の上空に蓋をして、避難場所(兼緑地)の設置 ・ 狭い道路に対応した消防車
3	ごみ問題解決	3	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコ企業への行政からの支援 ・ ごみ減量のためのインセンティブ ・ 行政自体の紙削減

作業シート (写真)

第 一 テーマ: とくに築く

グループ A

メンバー名

【豊島区の強み (良いところ)】

- 商店街の魅力
 - 商店街の便利
 - 商店街の賑わい
- 前向きな開発
 - 大きなターミナル駅の存在
 - 前向きな再開発
- ゴミ収集団体の良質
 - 燃やせるゴミの種類が多
 - ゴミ集積場の清掃が丁寧
 - ゴミの回収は、円滑に行われている
- 華やかなパノラマ
 - 華やかなパノラマ
 - 華やかなパノラマ

【豊島区の問題】

- 緑化の問題
 - 緑地が少ない
 - 緑化の促進
- 治安
 - 治安の悪化
 - 防犯の強化
- 防災
 - 防災の強化
 - 防災の強化
- 近未来の大災害への対策
 - 近未来の大災害への対策
 - 近未来の大災害への対策
- 道路の問題
 - 道路の問題
 - 道路の問題
- ゴミの問題
 - ゴミの問題
 - ゴミの問題
- 景観上の問題
 - 景観上の問題
 - 景観上の問題

【課題】 行政

- ゴミ減量の周知促進
- 安全に留意した安心な緑化
- 道路の安全と美化
- 治安
- 住民に届く情報発信の改善

住民

- 治安
- 自治的解決
- ゴミと対峙の意識

豊島区が抱える主要課題

- ① バリアフリー推進
- ② 防災機能向上
- ③ ゴミ問題の解決

主要課題への対応方針・解決策

- ① 段階的のロープ化
- ② 行き先案内の国際化
- ③ 防災機能向上
- ④ JR山手線 栗鴨駅-大塚駅間の上空はつとして、通勤掘削(兼緑地)の設置
- ⑤ 狭い道路に対応した消防車
- ⑥ 行政からの支援
- ⑦ ゴミ減量のためのインセンティブ
- ⑧ 行政自体の削減

討議内容の発表

【強み】

強みは改善点に比べ著しく少ない。

- ・ 商店街が便利である。
- ・ 大きなターミナル駅（池袋駅）の存在。
- ・ 池袋駅を中心とした再開発、新旧のバランスがとれている。
- ・ 巣鴨のとげぬき地蔵がある。
- ・ 若い人が集まるのも強み。
- ・ ごみ収集については、燃やせるごみの豊富さ、何でも燃やせるということは、住民にとってはよいことである。東京都では燃やせるものが増えてきていると思う。ごみ収集は比較的円滑に行われており、時間通り収集してくれる点はよいところだと思う。

【弱み】

- ・ 事前に配付された資料（地図）にベビーカーが通れる橋等の記載がなく、雨の中、ベビーカーが通れない橋をベビーカーを担いで渡るしかなかった。
- ・ サンシャイン 60 通りを、吉祥寺のようにアーケード化してほしい。
- ・ 行き先表示等が適切ではなく、外国人の友人にサンシャイン 60 まで辿りつけなかった人が多くいる。これからの国際化に向け、まちの表示を英語表記してもらいたい。
- ・ 緑化の問題では、緑地が少ないという意見がたくさん出てきた。最近のデング熱ウイルスを持つ蚊を寄せつけない緑化・水場を考えていただきたい。
- ・ 犯罪と防犯では、住宅密集地も多く、近い将来の大災害に向けての危機管理、適切な避難場所を設置していただきたい。
- ・ まちづくりを行うにあたり、景観の問題が混乱してしまうので、バランスがとれたまちづくりをお願いしたい。
- ・ 役所の方のごみに対する意識の欠如をととも感じる。今回の事前配付資料の冊子も厚すぎる。
- ・ 違法なごみ回収業者がいるので取り締まりをお願いしたい。

【課題】

課題としては、バリアフリーや緑化の問題、防災・防犯、景観上の問題、ごみの問題、道路の問題があり、それぞれクロスオーバーしてくる。それらの問題を集約して課題を3つに絞った。

- ・ バリアフリー推進の問題では、子ども、ご老人の方、身障者の方もそうだが、豊島区は外国人の方が非常に多いことから、外国人の方がスムーズに移動しやすい動線づくりが課題かと思われる。階段のスロープ化、行き先案内の国際化、看板がつくれないのなら無線LANを整備することでしていただきたい。
- ・ 防災機能の向上としては、山手線巣鴨-大塚間の上空に天井を付けて緑地化し、そこを避難場所にしたり、狭い道路に対応した消防車をつくってほしいといったことが出された。
- ・ ごみ問題では、エコ企業に行政からもっと支援をしてほしい、ごみ減量のためのインセンティブを与えて、減少を促進する、行政の方で紙を使いすぎ・冊子を作りすぎなので減らせないか、ということが挙げられた。



【豊島区の強み（良いところ）】

(池袋)

- ・ 地下道が発達している
- ・ 池袋駅前が整備されると聞いて嬉しい
- ・ 若い人が多い
- ・ 大規模店舗（百貨店・電器店など）が集中
- ・ 駅周辺におもしろい飲食店が多い
- ・ 世界 10 都市東京に向けて拠点池袋の再生、国際アート・カルチャー都市計画を進めようとしている（計画）

(交通)

- ・ 都電
- ・ 交通の便が良い
- ・ サイクリングや散歩できる地域がある
- ・ 副都心線ができて便利さが向上した

(住環境)

- ・ 再開発地域はきれいなイメージ
- ・ 各家-拠点-ごみ処分等減量と資源化が好成績である
- ・ 安全快適な地域
- ・ 寺社が多い

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(池袋)

- ・ オリンピック 世界に開かれた都市になる／都市交流など活用する必要がある
- ・ 新庁舎にともない、東池袋駅の混雑が更に増すことが予想される。

・ 池袋再生のみではなく、区内 12 地区の地域づくり

- ・ 駅を境に東西移動が面倒
- ・ 池袋駅舎駅構内が古くておしゃれじゃない。赤羽や日暮里にも負けている感じ

・ 池袋地下道がサンシャインまで断絶している

(コミュニティ共生)

- ・ 再開発地域に地域性や文化を感じない
- ・ 人が集まる（居住）ようなまちづくり
- ・ 英語表記が少ない
- ・ 辻辻に案内板がほしい。駅、バス停、みどころ、トイレを明示してほしい

(広場・緑)

- ・ 小さい公園が多い
- ・ 緑が足りない
- ・ くつろげる公園がない。造幣局跡などを公園にするのなら、花見やバーベキュー、ジョギングなど滞在できる公園に
- ・ 寺社の緑、魅力が活かされていない

(防災)

- ・ 不燃化を強力に進めるため何か方策は
- ・ 防災拠点が実際に使えるのか
- ・ 災害時のけが人対応
- ・ 空き家老朽化木造建物

(住環境)

- ・ サイクリングロード、安全なサイクリング
- ・ 自転車のマナー
- ・ バスが遅れる
- ・ ホームレスの人達
- ・ シネコンがない。大規模スーパーがない
- ・ 中央図書館・あうるすぽっとのエレベーターの少なさと遅さ。何かあっても対応できない

(環境)

- ・ ごみの資源化低迷。ごみ処理リサイクルの PR が不足（知られていない）
- ・ 外国人のごみ出し・マナー（単身者も）
- ・ ごみ・カラス・野良猫が多い
- ・ 池袋周辺がやや汚い。飲食店のごみだし
- ・ 蚊に対する薬剤、感染症対策すべき

**【課題】**

(池袋)

- ・ 多様な人々への対応
- ・ 東西通路 グリーン大通りに地下街をつくろう
- ・ 維持増進

(交通)

- ・ 自転車のマナー
- ・ 都電の維持と活性化
- ・ サイクリングロード
- ・ バス交通の便が悪い
- ・ 利便性を追求した池袋

(住環境)

- ・ 公園に植生スペース
- ・ 利用形態が多彩な公園
- ・ 寺社を緑化スペースとして活用
- ・ 商店街

(コミュニティ)

- ・ ごみ出しのPR 外国人・単身者
- ・ 案内板の充実
- ・ 地域の見守り

(安全)

- ・ 避難所の機能
- ・ けが人救援
- ・ 防災拠点の明示
- ・ 不燃化

(その他)

- ・ 豊島固有の文化の重要視



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	多様性に対応しきれていない池袋 ・ 人の回遊性、案内板	5 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺からの車の排除（バス・タクシー等を除く） ・ 東西連絡通路の整備（地下道含め） ・ 美観の向上
2	顔の見える特色ある地域づくり ・ 文化を育てる視点の不足	4 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・寺社等のオープンスペースの居心地の向上 ・ 地域の文化・歴史の発掘と発展・育成（残すだけではなく、これからも生み出していく） ・ 区民ひろば、学校、町会等との有機的連携の強化（実問題に取り組む）
3	安全・安心を支えるコミュニティの不足	7 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公助の限界の周知と自助の強化 ・ 既存の対策の質的強化向上（ソフト面（情報、ノウハウ）） ・ 地域性のある防犯・防災教育の実施

作業シート (写真)

第2テーマ: **ともに築く**

グループ: **B** メンバー名: _____

【豊島区の強み (良いところ)】

- 池袋**
 - 不特定多数の中
 - 多様な人々の集結
 - 地下道の多さ
 - 自給自足の豊かさ
 - 石の人口が多い
- 交通**
 - 都電
 - 交通の便が良い
 - 交通の便が良い
 - サイクリングロードが豊富
 - 地下道が多い
 - 都電
- 住環境**
 - 再開発地域の多さ
 - 公園の多さ
 - 寺社の多さ

【池袋の強み (課題)】

- 広場**
 - 公園の多さ
 - 緑が多い
- 防災**
 - 不燃化の推進
 - 防災拠点の確保
 - 災害時の対応
 - 防火の徹底
- 住環境**
 - 公園の多さ
 - 自給自足の豊かさ
 - 自転車の多さ
 - バス路線の多さ
 - ホームレスの人達
 - コンビニの多さ
 - 大規模スーパーの多さ
 - 伊豆園等

【課題】

- 交通**
 - 多様な人々の対応
 - 東西連絡路の維持増進
 - グリーン大通り
 - 地下街の活性化
- 住環境**
 - 公園の活用
 - 寺社の活用
 - 商店街の活性化
 - 公園の活用
 - 多様な公園
 - 公園の活用
- 安全**
 - 避難所機能の強化
 - 不燃化の推進
 - 防火の徹底
- 環境**
 - 公園の活用
 - 公園の活用
 - 公園の活用

【主要課題への対応方針・解決策】

① 多様性に対応できていない池袋 人の回遊性、案内板	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺からの車の排除 (バス、タクシー等降く) 東西連絡通路の整備 (地下道も含め) 美観の向上
② 多様な見せる特色ある地域づくり 文化を育む視点の不足	<ul style="list-style-type: none"> 公園、寺社等のオープンスペースの居やすさの向上 地域の文化、歴史の発掘と発展・育成 (残存文化の活用) 区民ひろば、学校、町会等の有機的連携の強化 (防災拠点)
③ 安全・安心を支えるコミュニティの不足	<ul style="list-style-type: none"> 公助の限界の周知と自助の強化 既存の対策の質的強化向上 (7/7面情報ノウハウ) 地域性への防犯、防災教育の実施

討議内容の発表

【強み】

- ・ 池袋の圧倒的な強さとして、人が集まる、交通が便利、人に多様性があること
- ・ 住環境的に、池袋だけではなく、住宅街や商店街がある多様性がある豊島区であることが魅力といった意見があった。

【弱み】

- ・ 池袋駅構内が古く、地下通路の連絡が悪い、混雑している、美観に欠ける、といった池袋駅周辺での問題
- ・ 「ひろばとみどり」については、実際公園はあるが、大規模公園がない。豊島区の土地がないという根本的な問題から発生したと思われるが、再開発計画を利用してデメリットを解消する方向を考えたい
- ・ 防災について色々な防災計画がつけられていると思うが、実際に機能するのか。学校にいるときに地震が起きた場合、避難所として機能するのかなど、現実的な対応ができるのか疑問
- ・ 住環境では、自転車のマナーが悪い、ホームレスの方がまだ目立つなどの住環境をもう少し整備してほしい
- ・ コミュニティ、公共性の問題では、おしゃれなカフェも良いけれども、どこにでもあるような再開発ではなく、豊島区ならではの再開発はできるのかという疑問
- ・ 環境・ごみ問題では、単身者のごみ、外国人の方のごみ問題、池袋駅周辺が汚いのではないかと、デング熱対策の薬品散布が中止されてしまったのは残念といった意見があった。

【課題】

以上を課題としてまとめると、以下のとおりとなった。

- ・ 池袋の問題では、多様な人への対応、東西通路の整備などの課題があるが、今、池袋はどんどん人が来て繁栄している。今後も他の都市、地区に負けないで、池袋がこの繁栄を維持・増進させることがまず大事ではないか。
- ・ そのためには、交通手段としての自転車のマナーの改善、都電の有効利用、バス交通等が挙げられた。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

主要課題については、以下のとおりである。

- ・ 「多様性に対応しきれていない池袋」ということで、人が回遊できる地下道や案内板、駅前の整備などをお願いしたい。そのために、駅周辺からのタクシー等を除いた車を排除することで、人が集まれる駅周辺にならないだろうか。東西通路をもっと改良できないか。美観を向上してほしい。
- ・ 「顔の見える特色づくり」については、豊島区には、池袋だけではなく、巢鴨や雑司が谷、お寺もあるということをアピールしていくことを求めたい。公園や神社のオープンスペースの居心地を向上したい。

「安全安心」について、公助の部分については現実的な計画を立てていただきたい。ただ、それを支えるために、地域コミュニティの人間が自分たちで自らのコミュニティをつくって、それを支えていきたいということがあるので、その支えるコミュニティをつくるための手伝いを行政のほうからお願いしたいという意見があった。



【豊島区の強み（良いところ）】

- (環境保全)
 - ・ ごみの回収員の姿勢に共感
 - ・ ごみ回収の人あたたかい。
 - ・ 地域の人が「ポイ捨て禁止」運動
- (まちづくり)
 - ・ 電車の見える公園
 - ・ 活気あるまち
 - ・ 池袋、地蔵通りの賑わい
 - ・ 桜の若木の植樹が進められている
 - ・ 駅前（目白・池袋）の放置自転車が減った
 - ・ 下板橋の電車の見える公園が良い。サラリーマン、親子連れ、子どもと各世代がくつろいでいて、クローバーの地面がとても良い
- (みどり)
 - ・ 緑化運動はけっこう力を入れている
 - ・ 桜の名所が多い
- (交通)
 - ・ 交通が便利
 - ・ 鉄道の駅が多くて便利
 - ・ 新しくできた道路に自転車用レーンと歩行者用レーンが分けられている
- (防災)
 - ・ 有線放送の情報は良い
 - ・ 防災メール
 - ・ 耐震補強工事助成あり
 - ・ 防災の時の備蓄品が公園などに配備
- (防犯)
 - ・ 「ヤーさんのまち」のイメージが少なくなった
 - ・ ママチャリに「防犯パトロール中」のステッカーが付いている
 - ・ 振り込め詐欺予防策あり(警察官からの TEL)

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (ごみ)
 - ・ ごみ出しのルールが守られていない
 - ・ ごみの出し方に規則を出しては
 - ・ 環境のため、一般住民はマナーの徹底
- (まちづくり)
 - ・ どこもごちゃっとしている感じ
 - ・ 駅周辺は緑を多くしてほしい。ごみ、吸い殻のポイ捨ては美化が損なわれる
 - ・ 各住まいが最低の美観に協力する
 - ・ まちなかに美的と思われる広告（塔）の指導を
 - ・ 駅前には広いスペースを確保
 - ・ ごみ屋敷あり
 - ・ 歩道が狭い
 - ・ 公園の緑少ない
 - ・ 傾斜が多い道路にバリアフリーを
 - ・ 車椅子での外出困難
- (防犯)
 - ・ 痴漢多い
 - ・ 防犯対策がされているのか不明
 - ・ 暗がりが多い
 - ・ ひったくり多い
- (防災)
 - ・ 防災の意識が低い。地域の防災訓練の参加が少ない
 - ・ 防災弱者への広報が不十分か。→外国人など
- (みどり)
 - ・ 緑が少ない
 - ・ 緑のない小さな公園が多い。利用できる人が限定的
- (住まい)
 - ・ 家族用の住まいが少ない



【課題】

(ごみ収集について)

- ・ 回収してくれる方々の対応は GOOD
- ・ ごみを出す側の認識の低さ
- ・ ごみは路上ではなく専用ごみ箱（24hごみ出し可）をつくろう
- ・ ルールを周知 外国の方含
- ・ 集団回収に伴う区からの報酬を開示する

(交通)

- ・ 鉄道網／有線放送／駅前自転車少ない／専用レーン
- ・ 駅前の自転車置き場が少ない。駅から遠い
- ・ 地下に駐輪場をつくる

(防災)

- ・ 避難場所が遠い
- ・ 働きに来ている人、遊びに来ている人の避難場所
- ・ デパート、電器店
- ・ 防災時の一時滞在所にマーク（ステッカー）をつける

(防犯)

- ・ 声をかける→老人・一人暮らし
- ・ 住民パトロール 常時
- ・ 明るい街灯
- ・ 多くの場所に防犯灯を建てる
- ・ 町会収入を住民ボランティアにおすそわけする

(みどり・街づくり)

- ・ いろんな人がなごめる公園づくりをする→例) 下板橋そばのクローバー公園
- ・ 一坪公園の活用法
- ・ シェアハウス→一人暮らしの家を開放／廃屋



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	ごみ問題	9	→	・ 24hごみ出し可能なごみ箱
2	防災	12	→	・ 誰でもわかるステッカー ・ 駅地下駐輪・シェルター
3	区・地域住民・各施策の連動の欠如	0	→	・ 常時住民パトロール etc ・ 住民意識参加、役割分担、感謝

討議内容の発表

【強み】

- ・ 「ごみ収集」に関する強みは、ごみ収集の方の人当たりがとてもよいこと。
- ・ 防災関係では、防災メールが届く、防災時の備蓄品が公園などに配備されていること。
- ・ 住民が、PTA等で配られる防犯パトロール中ステッカーを自転車に貼り地域を回っている。
- ・ 緑化運動には力が注がれている印象がある。桜の名所が多い。桜の若木の植樹が進められているのを見て大変感動した。
- ・ 地域の人々がポイ捨て禁止運動などをやっている。
- ・ 池袋駅西口のパトロール強化のお陰で、ヤクザのまちというイメージが少なくなった。
- ・ まちづくり分野で、下板橋の「電車の見える公園」には、四つ葉のクローバーがあって、そこにサラリーマンや子ども、親子、単身の方など色々な世代の人がくつろいでいて、とてもいい感じである。公園づくりを行うなら、このような公園を増やしてほしい。

【弱み】

- ・ ごみ出しのルール、出す側が守っていない。
- ・ 痴漢やひったくりが多く、安全というイメージはない。暗がりも多く、防犯の意識はあまり高いとはいえない。どのような対策がなされているのかわからない。
- ・ 緑が少ない。緑のない小さい公園が多い。
- ・ 車いすの外出が困難である。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

主要課題として、ごみ問題、防災をとりあげ、3つ目に、それぞれの施策に共通していることとして話をした。

- ・ 回収する人の対応は良いのに、回収する側の認識が低い。提案として、24時間捨てられるごみ箱を設置しよう。夜にごみを出す人もいる。働いている人は朝なかなかごみを出せない。24時間ごみ出しできるマンションのようにしてはどうか、個別収集の時だけ朝出すというのはどうかといった話があった。また、みんなが守れるルールをつくろうという話が出た。そもそもルールそのものが守れないのではないか。ルールをつくったら外国籍の方も含めて多言語で周知をすることが大事である。
- ・ ごみの集団回収を行っている町会には区から報奨金が出ているが、それはどのくらいで、他に活用できないかといった話も出た。
- ・ 自分の住んでいるところの避難場所が遠い、誰でもわかるステッカーをつくり一時滞在所がここに行けば良いということがわかるようにする、駅の地下に駐輪場をつくる。防災のときにはそこをシェルターとして活用できるようにする。
- ・ 区と行政機関、地域住民、各施策とが連動していることがない。防犯であれば、常時住民がパトロールをするというように、自分たちでできることは自分たちですするというスタンスをとっていくことが必要ではないか。住民が全員で意識としては参加をする。自分たちができることはやるけれど、区に頼むことは区に頼む。それに対する感謝も必要。そういう役割分担をしていく。それぞれの人がそれぞれの役割を取る。お金も含めて、こっちの施策で入ってきた収入をこちらに割り当てていく、町内会のお金なども含めてやっていく必要がある。



【豊島区の強み（良いところ）】

(交通)

- ・ 交通の便利さは十分
- ・ 歩いていける範囲に駅がある
- ・ 交通の便が良い
- ・ 駅カ→デパート・駅ビルの魅力
- ・ 都心にアクセスしやすい

(みどり)

- ・ 住まい近くにフラワー公園があり遠くの人でも来て利用している
- ・ 庭の緑／屋敷林
- ・ 学習院大 立教大に緑がある

(環境保全)

- ・ 地域の世話役の方がいた（いる）

(住まい)

- ・ 近所との付き合いができる
- ・ 落ち着いたまち
- ・ 工場が少なくて良い
- ・ 夜も安心

(街づくり)

- ・ 池袋の路地／巣鴨の商店街
- ・ 文化人たちの跡地アピールを進めているのが良い
- ・ グリーン大通り
- ・ 銭湯→公共マナーも学べる

(防災)

- ・ 避難訓練・放水訓練

(防犯)

- ・ ホーム自殺防止
- ・ メロディカメラ（対象しっかりした）
- ・ 「火の用心」でまわる方々→地域差

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(交通)

- ・ 利便が不均等
- ・ バス停が分からない
- ・ 電車や池袋駅前の混雑
- ・ 池袋との格差

(みどり)

- ・ みどり（公園）がない
- ・ 公園でくつろぐところが少ない
- ・ 条例で家の周りに植樹することも良いと思う

(環境保全)

- ・ 粗大ごみのリサイクル（多さ）
- ・ ごみの出し方が地域によって全く違っている→収集場のきれいさ等
- ・ 空き家問題→活発に活用

(街づくり)

- ・ 休憩できる場所（クールスポット）が少ない
- ・ 駐輪場が小規模でもあったら良い
- ・ 公共施設の役割分担
- ・ バスが駐車できる場所がない(オリンピック)

(防災)

- ・ 避難訓練参加者が限られる
- ・ 防災の時の避難場所と避難所をわかりやすくしたい

(防犯)

- ・ 夜の裏道の暗さ
- ・ 治安が悪いイメージが拭えない
- ・ コンビニで夜遅くに中学生がたまっている
- ・ 空き巣が多いのでパトロール等
- ・ 脱法ドラッグのやりとりが駅の近くで普通に行われている
- ・ 道が狭い
- ・ 歩道橋にスプレーで落書きやシール貼りがある
- ・ 公園で不法占拠があつて不安
- ・ 異文化コミュニケーションの機会
- ・ 外国人の人と文化やマナーでぶつかる
- ・ 外国人犯罪が多いと言われている



【課題】

(交通)

- ・ 交通利便性格差
- ・ 駅を中心とした便利さ
- ・ 交通機関の使い分け（マルチモーダル）
- ・ 駅から離れた区民をどうするか
- ・ シェアサイクル

(みどり)

- ・ 入りやすいこと（大学など）／区の資源活用
(環境保全)
- ・ 資源循環の仕組み
- ・ 捨て方の問題
- ・ ごみ捨て場の管理（「頑固じじい」）
- ・ リユースするものの種類が増えないか

(まちづくり・住まい)

- ・ 高野区長「森」化計画
- ・ 周囲の区の情報を知り「連携」
- ・ 流入（転入）層に冷たい、根付きにくい（転入層）
豊島区「ヒューマンスケール」

(防災・防犯)

- ・ 防災館を活用した子と親のコミュニケーション
- ・ 学校中心の取り組み 学区単位
- ・ 地域の掲示板の活用
- ・ 学校のレベルアップ
- ・ いろいろな区民が参加できる楽しい訓練
- ・ PFI で学校づくり
- ・ 通訳（例 医療 横浜市）
- ・ 外国人向け 日本でのマニュアル



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	駅★レボリューション！ ～おもしろく、安全！もっとつながる～	12	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅ごとの個性づくり（駅力の向上） ・ マルチアクセス促進（歩行者、自転車、車）
2	機能する「みどり」 ～キャンパス・公園・霊園・小中学校～	10	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び、くつろぎ、防災として使える「みどり」 ・ 「みどり」の個性化（既存の緑・樹木を活かす）
3	ゆりかごから墓場まで ～ライフステージが変化しても、住み続けられる～	10	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが生まれた後の住宅支援・地域のつながり ・ 公共施設、学校とともに異文化コミュニケーション

作業シート (写真)

第2テーマ: ととに築くみどり環境保全(かつ)せいのまちづくり(西の)

グループ D

メンバー名

【豊島区の強み (良いところ)】

交通
歩みやすい 交通の便が良い 池袋駅 有る

みどり
緑の多い 公園が 多い 緑の多い 公園が 多い

環境
地域の 世話役が 多い

住み
近所 密着 工場が 少ない 夜も 安全

街づくり
池袋の 緑地 多量に あり

防災
避難訓練 頻りに 実施

防犯
カメラ 多量に 設置

交通
交通機 利用が しやすい

豊島区が抱える主

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

交通
利便が 不均等

みどり
入れる (みどり) 公園 少ない

環境
排大ごみ の 処理 (別荘)

住み
街並みの 雑然とした 印象

街づくり
休憩 施設 不足

防災
避難訓練 参加者 少ない

防犯
夜の 徘徊 の 防止

交通
流入 (散) 居た 冷たい 根付く (輸入層)

主要課題への対応方針・解

① **馬車★レボリューション!**
～ おもしろく、安全! もとつながる ～

② **機能する「みどり」**
～ キャンパス・公園・聖園・小中学校～

③ **ゆりかごから墓場まで**
～ ライフステージが変化しても住みつづけられる～

討議内容の発表

- 1つ目は「豊島区の駅 レボリューション」。“おもしろく、安全。もっとつながる”というキャッチフレーズを付けた。豊島区の良いところ、悪いところとして、交通をとってみると便利だけれども、弱いところとして、池袋との格差が大きい、変化が見通せない等があった。折角、個性豊かな駅がある豊島区なので、駅ごとの個性を創る「駅力」の向上、そして歩行者・自転車・自動車といった多様な交通機関がリミックスできるようなマルチアクセスの促進を提案させていただきたい。
- 2つ目は「機能するみどり」。豊島区は緑が少ない区といわれる。一方で、良い所として、大学やお屋敷の緑があるという意見も出た。それを踏まえ、「機能するみどり」として、キャンパス、公園、霊園・小中学校といった既存の緑を活用していこうという話をした。みどりには色々な個性がある。学校として学ぶみどり、公園としてくつろぐみどり、霊園はお墓が石なので防災として機能することができるだろう。このようなみどりの多様性に着目して、新しくつくるだけでなく、既存のものをどう活かすか地域とともに考えていけるのではないかと思った。また、環境保全というかたちでごみの話も出たが、地域の“お節介おばさん”であったり、ごみにとって厳しいおじさんであったり、地域の世話役の方たちの力は大きいと思う。そのような方たちの力を使っていくことができるのではないだろうか。
- 3つ目は「ゆりかごから墓場まで 豊島区」。ライフステージが変化しても住み続けられるような施策をしていただければと思う。「ゆりかごから墓場まで」なので、子どもが生まれた時から死んで骨になる時までである。豊島区はラーメン屋さんもたくさんあるので、働く世代が単身で住むにはとても居心地が良いと思う。人口や住居の動向もそのようになっていると思われる。転入していれば、単身世帯の男性、主に外国人と日本人が半々であったように見受けられる。しかし、子どもが生まれるとなると住居が圧倒的に少ない。家賃も文京区や千代田区より低いところもあるが、練馬区よりは高い。子どもが生まれた時には、住宅支援だけではなく、地域のつながりもつくっていければと思う。子どもが生まれて、私も初めて地域に町会があることを知った。そのような地域のつながりがあれば、もっと子どもを大切に、地域でみんなの目で育てていくことができれば、ひとりの母親として安心に思う。関連して、外国人の方たちが豊島区にあふれている。公共施設、学校を中心とした異文化コミュニケーションができるのではないか。お互いがわからない・通じないから、どうしても警戒してしまい摩擦が生まれがちである。「地域の活力」にもつながっていくと思う。学区単位や学校単位で楽しく避難訓練を外国人の方と行ったり、ルールやマナーを学ぶようなワークショップなどができれば、お互いが心を開く一助になるのではないかと思う。



【豊島区の強み（良いところ）】

- ・ 幹線の交通網が発達している
- ・ 交通が便利
- ・ 主要な街道の通り道で利便性に優れている
- ・ ターミナル駅がある
- ・ アクセスが良い→どこに行くにも便利
- ・ 西武線の駅が整備されている
- ・ 大塚駅が発展した
- ・ 目白駅周辺の街並み
- ・ 外国籍の人が増えている
- ・ 木密地域が不燃化で改善される
- ・ ごみ分別表がわかりやすい
- ・ 粗大ごみシールをコンビニで買える
- ・ 資源ごみも毎日回収されている
- ・ ごみの分別がプラスチック類も可燃ごみとしてだせるようになった
- ・ 公園の規模が小さいが緑豊かな公園がある（長崎地区）
- ・ 公園や遊歩道ができています
- ・ まちづくり助成金があって動いている
- ・ 戸建マンションが多くなっている
- ・ 人がたくさん来る
- ・ 東日本大震災後、災害についての見通しを図られてきている

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- ・ 住民意見を取り入れた道路整備ができていない
- ・ 地域によっては移動手段がなく高齢者に不便
- ・ 道路整備にともない、小型バス路線の利便化
- ・ 道路幅が狭い→救急車、消防車が通りづらい、通行できない
- ・ 補助 82 号線で池袋本町・上池袋のまちが分断される→アンダーパス・踏切廃止
- ・ 自転車のマナーが悪い
- ・ 道路の自転車道の確保
- ・ 交通の利便性はあるが、混み合っている→特に池袋
- ・ 交通量が多い
- ・ 踏切の解消
- ・ 外国籍の人と共生できる場・話し合える場がない
- ・ 一部の住民だけがまちづくりに参加している
- ・ ペットの飼い方のマナーを厳しく注意
- ・ ペット用の餌を公園で差し出している
- ・ 公園が狭い
- ・ 公園が少ないし、小さい
- ・ 外国人によるごみの不正投棄が多い
- ・ 煙草の吸殻ポイ捨て（空き缶）。ごみのマナーが悪い
- ・ ごみ出しのルールが守られていない
- ・ ワンルームマンションも多く、ごみ出しのマナーができない地域がある
- ・ ごみ収集のバスケットが駅にもあると出しやすい
- ・ 蚊、ネズミの駆除にもっと力を注いでほしい→デング熱防止
- ・ 朝から校庭開放
- ・ 住居が密集している
- ・ 小さい路、路地裏が多く、死角な場所があるので人の目が届きにくい
- ・ 駅周辺の治安に不安があるところも
- ・ ニオイ→特に駅周辺
- ・ 駅前がゴチャゴチャ
- ・ 地震対策 地震等の際の避難場所がわからない
- ・ 防災・防犯活動に参加してもらおうよう、意識を高める
- ・ 空き屋・汚屋整備を率先して



【課題】

(外国人とのコミュニケーション)

- ・ 多国籍の方との共生のためのコミュニケーションのあり方を考える
- ・ 外国人との交流の機会創出
- ・ 外国人との共生・共存のしくみづくり

(住宅関係)

- ・ 木造住宅を不燃物改造し、まちをすっきりさせる
- ・ 防災を目的とした木密地域の解消→補助 82 号線は地下化

(ごみ出しのルール&マナー)

- ・ ごみ出しのマナー徹底
- ・ ごみ出しのルールの周知徹底→わかりやすい情報提供/外国人への広報
- ・ ポイ捨てのルールを明確に。罰則規則をつくる

(ペット関連)

- ・ ペットの飼い方はマナーを厳守し、住環境を良くすること
- ・ たばこ、ペット マナー ルール

(公園)

- ・ 地域の公園の管理をよくし、高齢者・子どもたちが安心して遊べる公園ほしい
- ・ 公園、数より質/広さ/ドッグラン
- ・ 公園増設
- ・ 公園利用マナー徹底
- ・ 中小の公園や施設を結ぶ回遊式遊歩道の確保

(防災対策)

- ・ 防災防犯（治安）ルール・参加・空き屋火災
- ・ 防災時の避難場所の情報提供。高齢者、障害者への対応
- ・ 防災対策

(道路交通：道路)

- ・ 道路整備ルール、住民意見を取り入れる仕組み
- ・ 自動車の通行時間規制→特に道幅の狭い道路
- ・ 道路整備（道路幅等）

(道路交通：鉄道)

- ・ 交通量の多い踏切の改善。立体にする

(道路交通：駅)

- ・ 池袋駅周辺の整備（道路・景観）

(道路交通：小型バス)

- ・ 小型バス導入
- ・ 交通不便地域の解消

(自転車道)

- ・ 歩道と自転車の仕切りをつくる→道幅対策として



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	コミュニティのルール & マナーの仕組づくり（外国人も含めた）	4 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人との交流の場の提供 ・ ごみ出しポイ捨てのルール徹底と意識向上 ・ ペットの飼い主のマナー向上を目指す機会をつくる
2	住民の意見を取り入れた道路交通整備	5 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会の開催と代替案の検討 ・ 交通不便地域の解消のために小型バスを導入する ・ 駅周辺と自転車道の整備
3	防災防犯対策	4 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ごとの防災拠点の整備 ・ 木密地域の解消のために不燃化。空き家をなくす ・ 震災時の困難者の受け入れ対策

作業シート (写真)

第2テーマ: ともに築く

グループ **E** メンバー名 _____

【豊島区の強み (良いところ)】

- 交通**: 主要な街道 (通) 車や自転車、バイクがある。アクセスが良い。大塚駅が周辺を整備した。公園の緑地は多い。公園や散歩道が多い。公園が増えた。公園利用の利便性。公園の周辺は緑豊かな場所。公園の周辺には木が植えられている。公園の周辺にはベンチがある。公園の周辺にはゴミ箱がある。公園の周辺にはゴミ出しのルールがある。公園の周辺にはゴミ出しのマナーがある。公園の周辺にはゴミ出しのルールとマナーがある。公園の周辺にはゴミ出しのルールとマナーがある。公園の周辺にはゴミ出しのルールとマナーがある。
- 公園**: 公園が増えた。公園利用の利便性。公園の周辺は緑豊かな場所。公園の周辺には木が植えられている。公園の周辺にはベンチがある。公園の周辺にはゴミ箱がある。公園の周辺にはゴミ出しのルールがある。公園の周辺にはゴミ出しのマナーがある。公園の周辺にはゴミ出しのルールとマナーがある。
- 防災**: 防災対策。防災時の避難場所の情報提供。高層ビル等への対応。防災対策。防災時の避難場所の情報提供。高層ビル等への対応。防災対策。防災時の避難場所の情報提供。高層ビル等への対応。
- 道路**: 道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。道路整備 (道路幅等)。
- 交通**: 交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。交通量の多い路地の改善。
- 鉄道**: 鉄道の利用。鉄道の利用。鉄道の利用。鉄道の利用。鉄道の利用。鉄道の利用。鉄道の利用。鉄道の利用。
- 馬車**: 馬車の利用。馬車の利用。馬車の利用。馬車の利用。馬車の利用。馬車の利用。馬車の利用。馬車の利用。
- 自転車**: 自転車道の整備。自転車道の整備。自転車道の整備。自転車道の整備。自転車道の整備。自転車道の整備。自転車道の整備。自転車道の整備。
- 外国人とのコミュニケーション**: 外国人との交流の場。外国人との交流の場。外国人との交流の場。外国人との交流の場。外国人との交流の場。外国人との交流の場。外国人との交流の場。外国人との交流の場。
- 住宅関係**: 外国人への説明。外国人への説明。外国人への説明。外国人への説明。外国人への説明。外国人への説明。外国人への説明。外国人への説明。

【課題】

外国人との交流の場の提供

外国人とのコミュニケーション

住宅関係

公園

防災対策

道路

交通量の多い路地の改善

豊島区が抱える主要課題

主要課題への対応方針・解決策

- ① 外国人との交流の場の提供
- ② 住宅の意見を取り入れた道路交通整備
- ③ 防災 防犯対策

- ① 外国人との交流の場の提供
- ② 外国人との交流の場の提供
- ③ コミュニティのルール徹底と意識向上
- ④ ペットの飼育者のマナー向上を目指す機会を作る
- ① 説明会の開催と代替案の検討
- ② 交通不便地域の解消の為に小型バスを導入
- ③ 駅前周辺と自転車道の整備
- ① 地域ごとの防災拠点の整備
- ② 木密地域の解消の為に不燃化、空き家を活用
- ③ 震災直後の困難者の受け入れ対策

討議内容の発表

【強み】

- ・ 豊島区の良いところとして、みなさん共通で「交通の便が良い」ということが挙げられた。また特徴として、外国人の方が非常に増えてきていることが挙げられた。
- ・ 木密地域が45%と多い一方でコンクリート化されている部分もある。木密地域は不燃化という政策が導入されて、実践されつつある。

【弱み】

- ・ 交通の便がよいのはよいことだが、豊島区の端のほうや一部地域が取り残されている。道路幅が非常に狭い。
- ・ 外国人の方が多くなっているにもかかわらず、多文化共生ができていない。ともに暮らすシステムができあがっていない。それは、ごみ投棄問題やすれ違って知らん振りをしてしまうというようなかたちで現われてきていると思う。
- ・ 昔、豊島は場末だといわれた。どうしても駅前がゴチャゴチャしている、汚いといったことが、古い年代には染み付いている。これを解消したいということが、行政が抱えている最大の事案ではないかと思う。

【課題】

以上をまとめ、外国人とのコミュニケーション、住宅関係、ペット・ごみ出しのルールの問題、公園の問題、防災対策、道路・交通という6項目に仕分けした。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

最終的に豊島区が抱える課題ということで、「コミュニティのルールとマナーの仕組みづくりをしよう」、これは外国人も含めたものである。2点目は「住民の意見を取り入れた道路交通網の整備をしよう」、3点目は「防災と防犯対策」という3つの課題を考えた。

- ・ 解決策は、「外国人との交流の場の確保」。これは、区民ひろばなどを利用して、そういう場所をつくっていく。ごみ出しやポイ捨てのルールについては徹底して意識を向上してもらう。ペット飼い主のマナー向上をめざす機会をつくる。これはペット好きの方々が、そういう説明会を開けば、自然に集まってくるだろうと思われる。
- ・ 「住民の意見を取り入れた道路交通網の整備をしよう」については、道路問題でいえば、説明会の開催と仮に代替案があるならば、それを検討する。交通不便地域の解消のためには、小型バスを導入して運行したらどうだろうか。駅周辺と自転車道の整備をしてほしい。以上が道路交通整備に係る解決策である。
- ・ 「防災防犯対策」として、「地域ごとの防災拠点の整備を進めよう」。新庁舎ができてそこが防災拠点となっているが、地域にはそれがない。それを地域ごとにつくっていこう。木密地域の解消のために不燃化をさらに進めて、空き家をなくしていこう。震災時の困難者の受け入れ対策を進めてほしい。これらを「対応方針と解決策」として掲げた。



【豊島区の強み（良いところ）】

- ・ ごみの分別徹底
- ・ ごみ焼却を利用したプール
- ・ まちの美化に取り組んでいる
- ・ 公共交通が発達している
- ・ 交通が便利
- ・ 西口パトロール
- ・ ボランティアによる緑の管理
- ・ 道路がきれい
- ・ 自転車の道と歩行者の道が分かれてよい
- ・ 道路側の木などの管理がよい
- ・ 迷惑駐輪少ない
- ・ 1) ペットボトルのキャップ活用で、世界の子どもを救える 2) ペットボトルのキャップ集めを多めに宣伝（私の言っている歯医者で知った） 3) キャップを集め溶かしてバスマットをつくり、それを売って収益を外国にあげる→ワクチン活用

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (ごみ)
 - ・ ごみの量が多い
 - ・ ごみがむき出し
 - ・ 土ごみ収集がない
 - ・ リサイクルの活用の広報がわからない
 - ・ ごみを燃やしてお風呂を沸かす施設がほしい（無料で入れる）
- (公園)
 - ・ 公園にイスが少ない
 - ・ 公園（みどり）の不足
 - ・ 公園に緑が少ない。
 - ・ 集う公園がない
 - ・ 緑が少ない
 - ・ 公園に健康機器が設置されていない
 - ・ 駅周辺で落ち着いて待ち合わせできない
- (道路)
 - ・ 立教大学の前、通学の時歩きにくい
 - ・ 歩道の自転車走行
 - ・ 非常に狭い道路
 - ・ 自転車道の不備
 - ・ 自転車回収の人数の多さ
 - ・ 住宅地の道路が狭い
 - ・ 池袋駅の東西が移動しにくい（自転車・車椅子）
- (その他)
 - ・ 池袋駅の西口の整備
 - ・ 大地震等災害時に弱い
 - ・ 木造住宅が多い
 - ・ 空き地、空き家が多い
 - ・ 客引き



【課題】

(ごみリサイクル)

- ・ ごみを街並みから無くす (見えないように)
- ・ ごみ出しには綱を張る ・ 緑を増やすのに土の回収はない
- ・ ごみ問題 (量・水分) を知らせていない
- ・ ごみ分類のわかりにくさ
- ・ ごみの減量 ・ ごみコンテナ BOX
- ・ ごみ譲りませ情報の発信
- ・ リユースの徹底
- ・ リサイクルのパンフレットを作成して3ヶ月配る (ポストに入れる)
- ・ 服のリサイクルBOX→自由に持って行ってよい
- ・ リサイクルの情報の周知不足
- ・ 住居取り壊し時の庭木や材木の再利用→情報交換

(街づくり)

- ・ 駅前の緑化・椅子の設置 ・ 駅西口は手付かず
- ・ 自転車道の整備
- ・ 立教大学で学生たちに通学時のことを教育する
- ・ 跡地 (学校・区庁舎) の有効活用→防災公園・緑地
- ・ 自転車置場に管理員を多くする
- ・ 住宅地の中の公園が少ない
- ・ 町内会へのまちの緑の呼びかけ不足
- ・ 木密の改善
- ・ 公園などボランティアを利用・活用して管理する
- ・ 公園に置く健康機器を健康機器製作会社から寄付してもらう

(防犯・防災)

- ・ シニアボランティアの活用→児童の見守り
- ・ ボランティアによる地域防犯
- ・ 客引き→立て看板だけではなく、警官の目を光らせる
- ・ 学校を防災拠点に

(住居)

- ・ 空き家の活用
- ・ 一人暮らしの方のために簡単にできる料理教室



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	ごみ・リサイクル (リユース)	6 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服再利用BOX (食器などを含む) 区民ひろばに設置 ・ ごみ収集後の有効活用の情報公開 ・ 残土の回収 (プランター)
2	街づくり	2 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアを活用→住宅地内の公園管理 ・ 住宅地内の公園整備 ・ 自転車道の整備 ・ 跡地 (学校・区庁舎) の有効活用 (防災公園・緑地)
3	防犯・防災 (住居)	1 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの活用による児童見守り (区でコーディネート) ・ 空き家の活用 (料理教室など) ・ 学校を防災拠点に

行政・住民団体・個人の役割分担、行政に任せきりではなく、やれることはやる

討議内容の発表

ペットボトルのキャップをどう活用するのか不思議に思っていた。キャップを集めて溶かしてバスマットをつくってそれを売り、その収益で貧困国にワクチン等をあげるといふ。これは大いに宣伝してキャップ集めをしたほうが良いのではないかと思った。

【強み】

強み弱みについては、他グループと概ね同じだが、特徴的なことでいえば、外国に行かれた経験のある方から、「豊島区・池袋周辺は外国の都市に比べてまだきれいだ」というお褒めの言葉をいただいている。

【弱み】

弱みの点では、自転車と歩行者の共生ができていないのではないかという意見があった。

【課題】

強み・弱みから導き出された課題としては以下が挙げられる。

- ・ ごみ関係。これはごみを削減するところからリユース・リサイクルなど全般にわたって課題がある。そのためにも情報提供をもう少しきめ細かに行うべきではないか。
- ・ まちづくりに関しては、住まいの問題。
- ・ 防災・防犯の課題。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

その中からの具体的な課題をまとめた。

- ・ ごみ関係では、リユース・リサイクルに課題を絞って、服の再利用ボックスを各地域に置いて、再利用を促進したらどうだろうか。服だけではなく食器も含めて進めてはどうか。また、ごみ処理関係の情報提供が遅れているという指摘があった。処理した後、どういう利益があったのかについての情報提供が少ないのではないか。また、家庭でのプランターによる植物栽培の後、残土の処理をちゃんとしてほしいという意見もあった。
- ・ 防犯防災では、ボランティアを活用した児童の見守りを校区ごとに構築したらどうか。また、空き家を活用して地域のコミュニティセンターにする、料理教室を開く等の案が出された。他に、地域の防災拠点として学校を位置づけたらどうかという意見があった。
- ・ 以上の具体的な方策に基本的な部分として、どうしても我々は行政と住民だけで問題を捉えようとするが、そこにはボランティアという団体を位置づけて、計画の推進にその3本柱を据えて進める必要があるのではないかという議論があった。



【豊島区の強み（良いところ）】

- (交通)
- ・ 電車の乗降客が多い、便利
- ・ 池袋巨大ターミナル
- ・ 交通の便が行き届いている
- (ごみ)
- ・ 池袋に清掃工場がある
- ・ 分別収集がされている
- ・ 町会で資源ごみの回収（コミュニケーションも一緒に取れる。マンパワー、高齢者の力も借りられる）
- ・ 生活の利便性が良い→反面環境問題がある
- (市街地整備)
- ・ 駅周辺区画整理済できれい。

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (ごみ)
- ・ ごみ問題、地域差を感じない
- ・ ごみマナーが悪い
- ・ ごみの出し方でカラスが生ごみを汚す。朝通学するので、無い方がいい
- ・ リサイクルの回収で、自然災害の時は、延期してもよいのでは。
- (みどり)
- ・ 公園が少ない
- ・ 緑が少ない→壁面・塀の緑化
- (公害)
- ・ 騒音問題
- ・ 害鳥
- (住まい・災害)
- ・ ブロック塀が危ない→塀の緑化



【課題】

- (ごみ)
- ・ ごみ問題への無関心
- ・ 資源ごみの行方がわからない
- ・ ごみ捨てのマナー
- ・ 再利用が可視化されていない
- ・ ワンルームマンション（若い一人住まい）、ごみ出しのルールを守らない
- ・ “ごみの見える化”作戦（それが地域のコミュニティになるのでは）
- (まちづくり)
- ・ 緑・大きな公園が少ない
- ・ 新築は単身向けが多い
- ・ 「池袋を中心としたまちづくり」のみでなく、他の地域に対しても積極的に施策を行ってほしい
- ・ 楽しく歩ける道が少ない→バリアフリーの道づくり／街路樹
- ・ サイン・看板認知しにくい
- ・ 看板大きくわかりやすく
- ・ 池袋周辺の衛生問題（カラス）
- ・ 孤独死が多い
- ・ 木造密集地域の整備が進んでいない
- ・ 人口密度が高い→ファミリー層を増やす工夫、住宅の規模・質の向上
- (防災・防犯)
- ・ 治安問題（脱法ハーブなど）
- ・ 防犯防災の強化、どうしたら住民の参加を促せるか
- ・ 人が多く往来するので事故が多いのでは
- ・ 夜間の工事騒音
- ・ 防災訓練への無関心
- ・ パトロール＝コミュニティ



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	池袋一極集中の解消	3	→	・他の地域に対しても積極的に対策を行って欲しい
2	防犯・防災の強化	4	→	・建替えの木造住宅の不燃化に対して助成する→2~3世帯の改築 ・情報伝達方法の明確化 サイン・看板 ・住民参加型のパトロール 町会の参加
3	資源ごみの可視化	8	→	・回収率・量の可視化、情報提供 ・地域ごとに回収率を争う ・粗大ごみ屋内回収サービス

作業シート (写真)

第 テーマ: ともに築く(池袋だけでなく豊島区全体を盛り上げよう。)	
グループ G	メンバー名
【豊島】 (良いところ) <ul style="list-style-type: none"> 交通 <ul style="list-style-type: none"> 電車が便利 池袋駅 池袋駅副都心 交通の便が良いため、行き来が楽 ゴミ <ul style="list-style-type: none"> 分別集約が工役している 清掃工場 (90ヶ所ある) 区内にある ごみの出し方(即袋で資源ゴミの回収) (ゴミは「もって帰る」) 生活の利便性が良い → 町内環境問題の解決 まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 市街地整備 駅周辺 区画整理者Kevin 	【豊島】 (改善するところ) <ul style="list-style-type: none"> ゴミ <ul style="list-style-type: none"> ゴミ内観 地域差を感じない ゴミステーションが悪い ごみの出し方(カラスがゴミをおよぼす、朝、雨、雪はゴミが落ちていない) リサイクルの回収? 自然災害の時は、ゴミを捨てきれないのは、ゴミをゴミ屋敷にするのは、嫌いです。 みどり <ul style="list-style-type: none"> 公園が少ない 緑が少ない → 庭園、緑の増加 公害 <ul style="list-style-type: none"> 騒音問題 害鳥 住みやすさ <ul style="list-style-type: none"> 地盤対策(ビル、橋、駅、駅舎、駅ビル) → 橋の緑化対策
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ゴミ <ul style="list-style-type: none"> ゴミ内観への無関心 資源ゴミの削減 分別集約 再利用 可視化 シンボルマーク (若くは子供) ゴミを出したら叱られる 池袋周辺 衛生問題 (汚水) 「ゴミの見える」作戦 (100%回収率を目指す) まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 新築は随分多い 「お家のまわりのキレイ」のイベント (池袋周辺のキレイな場所を探して、写真を撮る) 看板大きくわかり易く 子供死 防犯・防災 <ul style="list-style-type: none"> 治安問題 (夜間パトロール) 夜間の工事騒音 (4月、5月、6月、7月、8月、9月) 防犯訓練への無関心 ハロートル コミュニティ 不特定多数の無関心 100%回収率 → 回収率を上げる → 回収率を上げる → 回収率を上げる 	豊島区が抱える主要課題の対応方針・解決策
① 池袋一極集中解消	② 防犯・防災の強化
③ 資源ゴミの可視化	④ 他の地域に対しても積極的に対策を行なって欲しい!

サブタイトルとして、「池袋だけではなく、豊島区全体を盛り上げよう」という一文を加えた。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

箱物やハード系的话题を期待されていたかと思うが、話し合ううちにどうしてもコミュニティといったことと切り離せず、そういう内容が議論の中心になってきた。3つの課題について発表したい。

- ・ 「池袋一極集中の解消」を1番目のテーマとした。ホームページなどをみると、豊島区では意外に孤独死が多い。その背景にあるのは、単身者の方の高齢化の問題、木密の問題など色々あると思われる。安心して暮らせるようなまちづくりにするため、池袋での問題点を解消する以外に、もっと周りの地域でやらなければならないことのほうが、もしかするとたくさんあるのではないかと。木密の問題についても、西巣鴨3丁目の辺りは、今回木密の解消地域にはなっていない。順番の問題もあったかもしれないが、そちらを先に手を付けるべきではないかというご意見もあった。
- ・ 2番目として「防犯・防災の強化」。そもそも木密の問題もそうだが、なぜそのようになってしまったのか。本当は個々の住まいで改築したり、防災対策を他の立場から取り組むことができたと思うがなかなかできない。ローンが使えないなどの色々な制約があるといった部分がそれを阻害しているのかと思う。解決策として、区のほうで、木密の不燃化仕様に改築するため、もしくは単身世帯を生まないように、2世帯住宅、3世帯住宅への改築のため、そういったもののためだけに、助成金を出していただく、利子補給をしていただく、そのようなアプローチは許されないのか。また、他の策として、サイン・標識の視覚認知度が低いのではないかと。文字を大きくし、わかりやすいサインにしてほしい。もう一つの策として、住民参加型パトロール、町会への参加をもっと促して、町会がパトロールのための主たる組織とならないか。そういったことを解決策として挙げた。
- ・ 3番目の「資源ごみの可視化」について。豊島区には清掃工場等があるが、無い区も多くある。私たち住民も再利用、再利用率と促されているが、それがどれだけ活用されているのかが可視化されていない。例えば回収率を地域ごとに分けて競争させたり、処理されたものが、どのようなお金になっているのかなど、そういったところがもっと可視化されれば、認知度が上がるのではないかと。
- ・ 高齢者の方の粗大ごみ問題。高齢者の方が2階にある粗大ごみを外に出すのは大変である。屋内まで回収してくださるサービスを豊島区に期待したい。



【豊島区の強み（良いところ）】

- (人の多様性)
 - ・ 学校が多い（若い力）
 - ・ 海外から訪れる人が多い
- (アクセス)
 - ・ アクセスが良い
 - ・ 交通アクセス良さ
 - ・ 池袋駅をはじめ多くの利用者
- (都市計画)
 - ・ 計画的な街づくり
 - ・ 地下の活用
- (商業)
 - ・ 商業施設が密集している
 - ・ オープンカフェによるにぎわい

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (治安)
 - ・ 治安の悪さ（キャッチなど）
 - ・ 治安が悪いイメージ
 - ・ 公園に浮浪者が多く安心できない
 - ・ 北口付近のイメージがとりわけ悪い。
- (住まい)
 - ・ 木造住宅密集（火災時）
 - ・ 古い家屋が多く、地震で崩れる恐れがある
- (防災)
 - ・ 帰宅困難者
 - ・ 避難できるようなスペースが少ない
- (コミュニティ)
 - ・ 独居高齢者が多い
 - ・ 千川地区を中心に少子高齢化
 - ・ 近所付き合い薄い
 - ・ 空き家多い
- (緑)
 - ・ 緑が少ない
 - ・ 公園遊び場少ない
 - ・ みどりが少ない
- (ごみ)
 - ・ ごみがむき出しに捨てられている
 - ・ ごみが多い
- (街並み)
 - ・ 交通の良さゆえ人混み
 - ・ 人が多くて移動しにくい
 - ・ バリアフリー未整備
 - ・ 住むところ
 - ・ 人も建物もごたごたしている
 - ・ 遊び場としてのイメージが強く、暮らしの場としてのイメージが薄い



【課題】

(防災 コミュニティ)

- ・ 官民協力で拠点づくり
- ・ 民間企業の協力→避難所等、“今あるもので”
- ・ 備蓄強化
- ・ 企業の得意分野を活用

(居住者と就業者の協力・折り合い)

- ・ マップを作成し、商業施設や駅、インフォメーション、お店に置いておく
- ・ アプリの開発→避難所がわかるような（多言語化）
- ・ マップづくり 意識改革
- ・ 防災マップ 広報強化 優良な取組企業の表彰
- ・ 自助共助の意識を高める
- ・ ボランティア←学生活用

(空き家の再活用)

- ・ 空き家の再利用
- ・ 町内会活性
- ・ “高齢者の”若者ルームシェア（共住）
- ・ 空き家を新しい拠点に
- ・ 実態把握

(高齢者（しょうがい）)

- ・ 歩きやすいバリアフリー→避難時も

(環境)

- ・ 電気自動車・エコカー
- ・ 水素ステーションをつくる
- ・ 学校の授業で「みどり育てよう」プログラム
- ・ 街灯を増やす
- ・ 喫煙所を増やして、以外でのタバコ禁止
- ・ ごみが外から見えないごみ捨て場

(その他)

- ・ 防犯パトロール
- ・ 薬物・風俗関係の取り締まり強化
- ・ 集会



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	災害時にどうすればよいか分からない	3	→	・官民協力→拠点づくり・広報（アプリ、マップ活用）
2	多くの空き家が十分に活かされていない	1	→	・まずは実態把握→多目的利用（ルームシェア、防災拠点、交流の場）
3	地域コミュニティの弱さ	1	→	・町内会活性、ボランティア活性

作業シート (写真)

第2テーマ: とともに築く

H

【豊島区の強み (良いところ)】

- 人の多様性: 学校が近い (若い)、外国人が多い
- アクセス: アクセシビリティが良い、交通アクセスが良い、池袋駅まで近く利用可能
- 都市計画: 計画的な街づくり、エビタの活用
- 商業: 商業施設が豊富にある、ホブナカに合わせ

治安、防犯、防災、緑、ゴミ、街並

【課題】

- 防災: コミュニティ、防民協力の拠点づくり、民間企業との協力の活用、防災マップ、防災強化
- 環境: 電気自動車、エコカー、環境、水素ステーション
- 住居: 空き家の活用、住居者・事業者の協力、空家、古い家、新しい家、拠点に、実態把握
- その他: 防犯、ゴミ、高層ビル、防災、街並

豊島区が抱える課題	主要課題への対応方針・解決策
① 災害時にどうすればいいのか分からない	防民協力の拠点づくり、広報: アプリ、マップ活用
② 多くの空き家が十分に活用されていない	まずは実態把握 → 多目的利用 (リフォーム、防災拠点、交流の場)
③ 地域コミュニティの弱さ	町内会活性、ボランティア活性

【課題】

強み・弱みは他の皆さんが言ったとおりのことなので、「注目される点」についてお話しさせていただきます。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

- ・ 1つ目は「災害時にどう対応するかわからないということ」、2つ目は「多くの空き家があるのに、全然活用されていないこと」、そして、3つ目は、1つ目と2つ目に関わることとして「地域コミュニティが弱いのではないか」ということである。
- ・ みなさんは、1日後、2日後に地震が起きたらどうするか。私たちは、官民の協力で対策をしていこうと思う。地震が起きたら、どこに避難すればいいか考えたことはあるだろうか。ハザードマップを今お持ちの方はいるか。私は豊島区に住んでいないので、池袋で地震が起きた時に、どこに避難すればよいかかわからない。こういう時に官民が協力して、企業に拠点をつくるのが考えられる。日本の建築基準は優秀で、たいていの地震があっても壊れることはない。そういう時に、大きな企業のビルに避難することによって、区が用意している避難所ではない場所へも避難できる。それに伴い、区が、企業の中に備蓄品を用意してもらうこと。それにあって少し補助金を出してもらう。また、特に大事なことが、どこに避難すればよいかかわからない時に、広報をしっかり行うこと。そのために、私たちが考えたことは、アプリを活用するという。いままでは、スマートフォンではない携帯電話でもアプリが使える。例えば、グーグル等と連携して、グーグルマップ等で「豊島区の避難所」と入力・検索をして、豊島区の避難所が全て表示されるととても助かる。それを企業・区が連携してつくる。区がこういう避難所を整理したので、マップに載せてくださいとすることで、どこに行っても避難場所がわかると思う。
- ・ 2つ目の「多くの空き家が活用されていない」という問題。まずは実態把握をすべきと考える。空き家はたくさんあり、細かい場所、どういうものがあるかはわかっていないとのこと。どのくらいの大きさのものがどれくらいあるかすぐ把握し、有効活用する道を探す。私たちは、ルームシェア、防災の拠点にすること、交流の場にすることの3つを考えた。地域、コミュニティの弱さを改善するために空き家を利用しようと思う。豊島区は狭いといっても、色々な地域がある。空き家は点在しているが、「この空き家はこういう地域にあるから、こういうふうにご利用しよう」、空き家を利用として探すのではなく、空いている空き家をその区域にとって一番良いように探し、利用していくこと。これを区と民間が力を合わせて徹底していくことを提唱したい。
- ・ 実態把握をすることにより、町内会を活性化する、空き家を利用する、そしてボランティアを取り込み、空き家を活性し、そして豊島区を豊かにしていくこと。これが重要なのではないかと考えている。
- ・ 整理すると、防災時にどこに避難してよいかかわからない時、官民協力をして、拠点をつくり、広報では、マップ・アプリなどを活用すること。空き家をもっと利用すること。それによって地域コミュニティが活性化すること、私たちはこれらを提唱したいと思う。



◆ 討議内容の講評（第2テーマ情報提供者より）

【清掃環境部資源循環課長 増子 嘉英】

- ・ 非常に熱心な議論をしていただいた。また、発表も素晴らしいまとめで、良いものを見せていただいた。
- ・ いくつかのグループから「単身者の方・外国人の方のごみ出しのルールがなかなか出来ていない」とのご指摘があった。豊島区の特徴として単身者の方が、非常に多くのウエイトを占めている。2年程度の短い期間で住み替えをしていく単身者の方に、どうルールを守っていただけるかということを実際に考えていかなければならない。周知徹底をどうするかは、きれいなまちということを考えてときに重要な視点だと思っている。今後気をつけながら行っていきたい。また、外国人の方については、文化の違いということがどうしてもあるので、いきなり完璧にやっていただくのは無理だと考えている。分かっていたら周知を工夫していきたい。
- ・ Aグループから「区の職員に紙等の意識が足りないのではないか」というお話があったが、ご指摘として受け止めて改善していきたい。全職員そういった意識を持っていきたい。
- ・ ご提案も色々いただいた。「24時間ごみ箱を設置したら良いのでは」というCグループのご提案、またFグループの「服の再利用ボックスを設置したらどうか」というご提案もあった。豊島区は土地が狭く、場所の問題等多々あるものの、このような貴重なご意見を受け止めながら、私どもも進めてまいりたい。
- ・ 集団回収に関するお話で「町会で集めている新聞・雑誌等はどんなお金になっているのか」という疑問があった。こちらについては、新聞・雑誌等は1kgあたり6円ほどの報酬を町会の方に区からお支払いしている。それを町会の活動費等にお使いいただいている。今後とも有効にお使いいただければと思っている。
- ・ ごみ出しのルールを周知するために、区民ひろば等を活用するようというお話をいただいたので、様々な場所・機会を通じ皆さまにご理解いただけるような取組をしてみたい。
- ・ きれいなまち、気持ち良いまちであるためには、皆さんにごみ出しのルールをしっかり守っていただき、きれいなまちであり続けることが、治安の維持等にもつながり、それが最終的に地域のコミュニティの形成にもなってくると思う。今後とも皆さんと一緒にきれいなまちづくり、環境のまちづくりを進めていきたい。

【都市整備部都市計画課長 原島 克典】

- ・ グリーン大通りのお話があった。オープンカフェの話を提供させていただいたが、これについては10月22日から社会実験を行う。新庁舎がオープンする来年5月に向け、どのような課題があり、どのようなことをしていくか。グリーン大通りは新庁舎に向かう歩行者の主要な動線であり、ここのつくりかたが池袋を変えていくということで、様々なことを行っている。
- ・ 景観については、国の景観法がある。景観計画を行政がつくるということで、豊島区では策定作業に現在入っている。豊島区は平成27年度末までに景観計画をつくることになっている。その中でもグリーン大通りは一つのポイントになっており、議論になっている。
- ・ 「池袋ばかりが注目されている」というご指摘については、「駅力の向上」ということで、池袋のみならず、椎名町、東長崎、大塚駅なども一定の事業者とともに改修をさせていただいている。駅から広がるまちをどう考えていくかも課題となっているが、そのようなことで進めてきている。
- ・ 「みどり」に関して、「電車の見える公園が非常に良い」という声をいただいた。「電車の見える公園」は地元の方々とワークショップというかたちで議論をした上でできた公園である。造幣局跡地も公園になるが、こちらの公園づくりについても11月からワークショップを開催する。広報としまに公募でワークショップの募集を行う。ご興味のある方はお手をあげていただければと思う。各公園をつくる際には、「地元の公園」ということで、このようなワークショップを開催している。

- ・ 木密については、道路をつくることによって、延焼遮断帯ができて安全になる。それにより消防車が入る。またコミュニティバスの議論もあったが、やはり公共交通が入れないという、そういった道路づくりをあわせて、交通不便地域の解消にも寄与することで道路づくりはやっていかなければいけないという認識を持っている。
- ・ 空き屋対策も色々なグループで議論があった。リノベーションということで話題になっており、そういった中で組み入れていきたい。
- ・ 自転車についても多くの話題があった。池袋の放置自転車は全国1位になった経緯もあり、鋭意取り組んできた。放置自転車は区内に14,000台あったが1,000台を切ろうというところまでできている。今後は、楽しく自転車を使っていただくという新しい視点からも自転車問題を考えていく。また、豊島区は放置自転車を海外の発展途上国に譲与している。そういった取組を通じて発展途上の国に貢献している。
- ・ 「都市づくりビジョン」について10月1日からパブリックコメントということで皆様のご意見を伺っている。「都市計画マスタープラン」という法定計画であり、平成12年に豊島区は策定しており、今年度末を持って改定を予定している。ちょうど原案としてでたところである。皆様方のご協力をお願いしたい。

【政策経営部長 齊藤 忠晴】

- ・ 区政に対する意見・要望を積極的に発信していただいていると同時に、皆様方の地域の活動に直接関わりたいという思いが大変伝わってきた。
- ・ 実際、毎月池袋の東西で地域の方がパトロールを実施している。また、学校単位で子どもたちの見守り活動を地域の方と協力して行っている。しかし、住民がどうすればそこに参加できるかといった道筋が十分ではないと感じる。コーディネーター機能を行政でやるのか、Fグループからも指摘があったように、地域の方にボランティアとして協力していただくのか、やり方は色々あるかと思われるが、その点が印象に残っている。今後の施策に役立てていきたいと思った。

第3テーマ ともに創る

グループA 第3テーマ「ともに創る」

【豊島区の強み（良いところ）】

- (産業)
- ・ 新しい商業・人の集まる場 wacca
- (観光)
- ・ 鬼子母神の御会式について活気がある
- ・ ふくろう
- ・ イベントのアイデア多い
- ・ 学習院
- ・ 霊園
- (文化芸術)
- ・ 区民ひろばで東京音大の方の演奏がある
- ・ 池袋演劇祭
- ・ フェスティバル／トーキョー 11月
- ・ 自由学園明日館
- ・ 緑と文化
- (生涯学習)
- ・ 大学が多い
- ・ 大学キャンパス／小中学校／文化コミュニティの拠点
- ・ 立教大 セカンドステージ大学
- (スポーツ)
- ・ 三菱養和会
- (協働)
- ・ 町内会向け講演会がある

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- (産業)
- ・ 駅から文化発信を
- ・ 大手企業がない
- ・ 大きな展示場の設置
- ・ 外国製品を扱う店が必要（各国）→食品・衣料・装飾品等
- (観光)
- ・ 池袋北口→プラザまでの階段が汚い
- ・ 手頃で快適なホテル、ゲストハウス
- ・ 割安なホテルがない（ビジネスホテルより安く）→地方から上京者の声
- ・ 地域の魅力再発見ツアー
- ・ 観光コースの整備（ウォーキング、自転車）
- ・ 著名人・名所ストリートの命名
- ・ 観光PRが小さい
- ・ もっとフェスティバルを
- (文化芸術)
- ・ 有志による合唱団・ダンス団をつくる
- ・ 発表する場がもっとたくさんあればよい
- ・ コスプレ発表の広場があれば良い
- ・ 意外と知られていない博物館・美術館
- ・ 何があるかー情報発信
- (生涯学習)
- ・ 生涯学習をもっと前面に出してアピールした方が良い（私もまだまだやれるんだという意識がアンチエイジングになる）
- ・ 大学に入りにくい
- ・ 子ども用学習会が少ない
- (スポーツ)
- ・ スポーツイベントの開催
- ・ スポーツセンターがない／スポーツ選手を育てる
- (協働)
- ・ 町会の再編
- ・ 商店会の再編



【課題】

- ・ 散歩・周遊コースの設定
- ・ 自転車活用
- ・ 地域郷土体験施設があると良い→地元がわかる
- ・ 大規模展示場、コンベンションセンター（都心につくる）
- ・ 町会合併、消防団との一体化
- ・ グリーン大通りで一大イベント（よさこい）
- ・ イベント専門組織化（官民連携）
- ・ 早朝の校庭開放（ラジオ体操）
- ・ 階段の前面に明るい絵、アニメ等を貼る



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	としまツーリスト －温故知新・地元再発見－	2	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の魅力を巡る散歩・回遊コース ・ 自転車で巡る「としま」 ・ 自分の地元をもっと知ろう！
2	としまイベントエージェンシー －もっと人を集めるしかけ－	6	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官民連携のイベント専門組織の発足 ・ グリーン大通りイベントスペース化（いつも歩行者天国） ・ コンベンションセンターを造幣局跡地に！
3	町会大改造計画 －町会合併、働け町会－	4	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の安心安全創造町会（消防団との一体化など） ・ 学校中心の新しいコミュニティ（校庭での朝活） ・ 地域活動に積極的に参加、攻めの町会、働く町会！

作業シート (写真)

第3テーマ: **ともに創る**

グループ **A** メンバー名

【豊島区の強み (良いところ)】

- 産業**: 新しい商業の場、UACCA
- 観光**: 見物スポット、イベント、映画
- 文化芸術**: 市民参加型、池袋演劇祭、F/T
- 生涯学習**: 大学、専門学校、立教方
- スポーツ**: 三葉委員会
- 協働**: 町内会、講演会

【豊島区の弱み (悪いところ)】

- 馬場の文化発信力
- 大手企業の少なさ
- 池袋北口の歩道の階段が汚い
- 手頃で小規模なホテル
- 駅周辺の整備 (ワンマン車)
- 著名なアーティストの少なさ
- 地域の魅力
- 再発見
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加 (各国)
- 外国人観光客の増加 (各国)
- 外国人観光客の増加 (各国)

- 散歩用遊コース設定
- 自転車活用
- 地域郷土体験施設
- 大規模展示場
- グリーン大通り
- イベントの専門組織
- 校庭開放
- 町会合併

- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加
- 外国人観光客の増加

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① としまツーリスト - 温取知新、地元再発見 -	・ 地域の魅力を巡る散歩・回遊コース ・ 自転車で巡るとしま ・ 自分の地元をもっと知ろう!
② としまイベントエージェンシー - おっと人を集わすかけ -	・ 官民連携のイベント専門組織の発足 ・ グリーン大通りイベントスペース化 (11月実施予定) ・ コンベンションセンターを-seeking 局跡地に!
③ 町会大改造計画 - 町会合併、働き町会 -	・ 地域の安心安全創造町会 (協防団の一体化) ・ 学校中心の新しいコミュニティ (校庭の朝活) ・ 地域活動に積極的に参加、責務の町会 働き町会!

討議内容の発表

【強み】

- ・ 産業は、新しい商業施設、東口の wacca など。観光は、鬼子母神の御会式がある。よさこいのまつりなどの色々なイベントがたくさん豊島区にはある。雑司が谷もそうだが、駒込のほうに行くと霊園があるので、例えば霊園に行って「ここは有名な石ノ森章太郎さんのお墓です」といった霊園のツアーも良いという話も出た。あるいは、立教大学もそうだが、学習院や音大、川村学園といった色々な教育施設があること。文化芸術に関しては、池袋演劇祭やフェスティバル／トーキョー等がある。

【弱み】

- ・ 産業では、もっと各駅を利用して産業の発信をしたほうが良いのではないかと。豊島区の規模の割には、大手企業があまり見受けられないのではないかと。また、世界レベルで大きな展示場がこの日本にないといわれているが、大きな展示場を池袋に誘致して、その中で産業を活性化させたほうがよいのではないかと。
- ・ 観光に関しては池袋北口からプラザまでの階段がとても汚い。そこをもう少しきれいにしたほうがよいのではないかと。宿泊施設が割高なところが多い。
- ・ 南長崎のトキワ荘もあるが、「トキワ荘ストリート」など命名し、点を線で結んでいき、周遊コースをつくっていくのがおもしろい。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

- ・ 「としまツーリスト」。豊島区は、美術館や博物館、みどりがあるが、意外と知られていない。そういった所を外から来た方が巡るコースづくりも必要。自転車で動くと一緒に活動圏が広がる。「自分の地元をもっと知ろう」、そういったものも区から仕掛ける。
- ・ 「豊島イベントエージェンシー」。豊島区では、色々なところがイベントを行っている。もっと人を集める仕掛けということで、民間・公が色々なイベントを行っている。まとめて情報発信したりコントロールしたり宣伝したりする組織をつくったらどうか。
- ・ グリーン大通り。新しい区役所へのメインストリートだが、歩行者天国にしてはどうか。
- ・ 造幣局跡地にコンベンションセンター。地下でも良いし屋上緑化にして公園にするのも良い。
- ・ 「町会大改造計画」。いまの町会は単位も小さい。大きな町会があっても良い。もっと商店会と連携した町会があっても良いのでは。
- ・ 地域の安心安全創造町会をもっと意識して町会が働かなければいけないのではないかと。学校中心の新しいコミュニティ。例えば365日、校庭を早朝開けてくれませんか。それでみんな健康になろうよということがあってよいのではないかと。
- ・ 最後に、地域活動に積極的に参加する攻めの町会、働く町会。いまの小さい町会でやっているから、お年寄りになってやる人が少ないといわれるが、そういうものを自由自在に規模も変えたり、内容も変えたりするようなことを、区からの働きかけでぜひやってほしい。



【豊島区の強み（良いところ）】

- ・ 働く場所がたくさんある
- ・ 産業が活発である
- ・ 大きい家電屋がある
- ・ まつりにより人が集まる（よさこい 大塚）
- ・ 観光する場所が沢山ある
- ・ 東京芸術劇場がある、文化面で交流が生まれて良い
- ・ 美術館、劇場が多い
- ・ 地域毎のボランティアグループ活動
- ・ 廃校後の各種スクール（生涯学習）
- ・ 日本（東京）のシンボルがあって良い（サンシャイン、巣鴨）
- ・ 少年野球で国際親善交流があって良い
- ・ 立教大学や学習院大学が緑地・学習の面で良い
- ・ 東京音大を中心にした音楽活動
- ・ マンガ文化芸術があってよい
- ・ アニメの街としての歴史がある
- ・ 椎名町トキワ荘のアニメ文化をアピールして広く知らせているので良い
- ・ 立教大学公開講座
- ・ 大学が多い

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

- ・ スポーツする場所が少ない
- ・ 外国人のコミュニティの場づくりが少ない
- ・ 芸術都市の雰囲気づくりが弱い
- ・ 道路標示等も国際的にわかるようにしてあげたい
- ・ 限られた場所でしか芸術を楽しめない
- ・ 東口・西口の動線の魅力がない
- ・ 生涯学習のプログラムが少ない
- ・ 若者のコミュニティ不足
- ・ 観光広報が弱い（国内・国外）
- ・ 東京オリンピックのためにイベントづくりが弱い
- ・ 東京オリンピック時のボランティア活動の方法
- ・ サンシャインまで池袋駅からの案内がない
- ・ 学習する講座が少ない
- ・ 道路が整備されていない
- ・ 道路が狭いが多い→危ない
- ・ 図書館が足りない
- ・ 地下道が充実していない
- ・ サンシャイン周辺の老朽化
- ・ 外国人も多く異文化との交流が薄いので良くしていきたい
- ・ 初めて利用する場合の敷居が高い→美術館・劇場・区民ひろば
- ・ 平和小学校の跡地利用が進まない
- ・ まちなみが汚い、ごみが沢山ある
- ・ 危険ドラッグの問題があり、イメージが悪い
- ・ 区報を見やすくしてほしい
- ・ 区民ひろばの活動内容の周知
- ・ 町会の認知度不足



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	コミュニティを充実させる	7 →	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人と日本人の交流 ・東京オリンピックへのボランティアでの参加 ・スポーツの場の提供 ・使いやすい図書館がほしい ・外国人への日本文化体験受け入れ ・異文化交流（子どもから） ・区内の大学を活用した公開講座の充実
2	豊島区の観光場所を充実させる	2 →	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人を活用した観光づくり、情報発信 ・外国人向けショッピング ・観光イベントの情報がまとまっていない ・東京オリンピックを利用して日本伝統のイベントを開く ・区の観光場所を池袋駅に表示
3	遊歩道（地下道）の充実	3 →	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを回遊する動線の確保 ・地下道の充実 ・「芸術のまち」の雰囲気をつくる ・散歩道をつくる／観光スポットをつくる ・池袋駅 C5 出口から要町までつなぐ

第3テーマ: **ともに創る**

グループ **B**

【豊島区の強み (良いところ)】

- 働く場アゲが沢山ある
- 音楽が活発である
- 京電屋が安い
- まつりや人が集まる(お祭り)
- フューリング
- 観光する場所が沢山ある
- 来京実行「げき場」がある
- 芸術劇場等があり文化面が盛んな
- 東武東横線が通っている
- 少年野球で国際親善交流がある
- 立教大学や学習院大学が有名で緑地が豊富
- 東京音大を中心とした音楽活動
- マンハッタン的な存在感を生かして
- マンガ文化芸術がある
- アニメの街としての歴史がある
- 雑司が谷のアニメ文化をアピールしている
- 立教大学公開講座
- 大学が多い

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- スポーツ施設が少ない
- 外国人のコミュニティが少ない
- 芸術劇場の費用が高い
- 道路表示や国際的にあるようにしてあげたい
- 限定的な場所での芸術を楽しめない
- 東口西口乗り線の魅力がない
- 生活学習プログラムが少ない
- 若者のコミュニティ不足
- 観光花見報が弱い(国内・国外) 東京オリンピックの時にイベント作りが難しい
- 東京音大の時のボランティア活動方法
- マンハッタンな感じ(世界)駅から乗り換えが難しい
- 学習する講座が少ない
- 道路が整備されていない
- 道路がせまい(歩道)
- 文化芸術の親的普及?
- 図書館が足りない
- 外国人も多く異文化の交流が難しい
- 初めて利用する敷居が高い(美術館・博物館)
- 平野小学校の跡地利用が進まないのはなぜですか?
- 危険な歩道の問題がありイメージが悪い
- 区報を見易くしてほしい
- さまざまな活動の周知?
- 町会の認知不足

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① コミュニティを充実させる	外国人と日本人の交流(東京音大)の活用 スポーツの場の提供 使いにくい図書館が欲しい 外国人の異文化体験 異文化交流(子供会) 区内の大学E活用し公開講座の充実
② 豊島区の観光場所を充実させる	外国人E活用し観光が便利になる 外国人向け「おげき場」 観光バスへの対応がまだ少ない 東京音大のE活用し日本伝統のイベントを開く 区の観光場E池袋駅E池袋駅表示
③ 遊歩道(地下道)の充実	歩道E回遊型歩道(海浜)の確保 地下道の充実 芸術の街の雰囲気をつくる 散策歩道Eつくる(散歩E歩道) 池袋駅E5出口E歩道E拡充

【強み】

豊島区の強みとして、東京芸術劇場があり、文化のまち、マンガというところは大きな特徴とを感じる。区民ひろばの整備を区で進めるなど、良い取組があるのはよい。ただ、それが徹底されているかという点はまだではないかと感じている。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

主要課題としては、「コミュニティをもっと充実させないといけない」「観光をもっと強化していかねばいけない」「街並みや遊歩道、地下道を含めた充実をもっと必要ではないか」といった3つを挙げた。

- ・ 「コミュニティを充実させる」では、区民ひろばを仕掛けているが、まだまだ情報が入ってこない。どのように入っていけばよいのか、敷居が高い感じがする。子ども向け、高齢者向けというところでは、非常に力を入れているようだが、若者のコミュニティをどう築いていくかが不透明だと感じる。対応策としては、大学の公開講座、立教大学がやっているが、もっと講座を増やす。立教大学以外の大学でも力を入れて、そこに若い人や他の年齢層の人が集っていければ良い。また、スポーツをする場所がなかなかないという点では、公園を増やしていただいて、スポーツでの交流の場、コミュニティを築いていく必要がある。また、人口に対して図書館の数が少ない。大型図書館はいくつかあるが、もっとこじんまりしたものでも良いので、近場に図書館・交流スペースをつくっていく必要がある。
- ・ 2つ目の「観光を充実させる」については、東京オリンピックに向けてという意味も含め、せっかく外国人の方がたくさんいるので、外国人のボランティアを活用して、外国人の方の観光案内を仕組みとしてつくっていく必要がある。もっと東京らしさを感じるようなイベントを池袋で、オリンピックへ向け構築していく必要がある。
- ・ 3つ目の「街並み・遊歩道・地下道の充実」については、いま取り組まれているが、もっと地下道を充実させていくために、施策を打ち出してしていく必要がある。特に池袋の東口から西口へ行き来しづらい。人が沢山いて通りづらいところがある。地下道にしても色々な店をつくっていく等、何か楽しみがないと、東口から西口に行こうという気にならない。店をつくるなり、もしくは「芸術のまち」と謳っているが、芸術劇場に行くとか、サンシャインに行くとか、その施設に行かないと芸術のまちの雰囲気を感じづらいところがある。道や街並みから芸術を感じられるように、例えば、道の両脇の壁に芸術作品を飾っていくとか、まち全体として芸術の雰囲気を感じられるようにしていく必要がある。
- ・ 関連して、池袋駅から要町駅へは歩いて行ける距離だが、半分くらいまでは地下道があるが、もう半分は地上を歩くしかない。雨の日などは地下道でつながっていると便利である。
- ・ 区でやっていることの周知が足りていないことが一番問題だと思う。もう少し情報を開示して、敷居を低くしていただければと思う。



【豊島区の強み（良いところ）】

(サブカル)

- ・ アニメイトが人気
- ・ サブカルのイメージで人が集まる
- ・ 若い人が多く集まり活気がある
- ・ サブカルチャーの発信地

(イベント)

- ・ 池袋のイベントが楽しい
- ・ 町内のお祭りが盛り上がっている
- ・ 池袋 JAZZ フェスがある
- ・ よさこい祭り
- ・ 池袋演劇祭
- ・ 大塚の阿波踊り

(地域ブランド)

- ・ 知名度が高い場所が多い→池袋、巣鴨
- ・ 駒込：ソメイヨシノの発祥地／巣鴨：とげぬき地蔵／大塚：交通の利便性、レトロな街／目白：ハイブランドのイメージ
- ・ 「巣鴨」など特徴のあるまちがある。「お年寄り」の原宿 オンリーワンブランド
- ・ 巣鴨には温泉
- ・ 巣鴨のゆるキャラ「すがもん」若い人への観光化
- ・ 古い文化と新しい文化もある（共存）

(その他)

- ・ 池袋のイメージアップ→住みたい街にランクイン
- ・ セミナーが多い。
- ・ 住民の多国籍化

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(誘致)

- ・ 有名企業の本社が少ない
- ・ ロケの誘致が少ない

(広報（区外）)

- ・ サクラ ソメイヨシノの発祥地の PR が不足
- ・ PR しきれていない場所→鬼子母神など
- ・ 副都心池袋のゆるキャラがない。「ふくちゃん」があればよい

(区民への情報)

- ・ 学習の情報が分かりにくい
- ・ 生涯学習のメニュー不足

(コミュニティ)

- ・ コミュニティカの不足

(スポーツ)

- ・ スポーツ施設の不足（サッカー、野球）
- ・ ジョギングコースがない

(その他)

- ・ 人が集まるので、ポイ捨てが多くなる
- ・ 池袋駅構内のわかりづらさ
- ・ 人が集まることで治安悪化の不安
- ・ 外国人との国際交流イベントがない
- ・ ボランティア参加の多様性不足
- ・ 協働 定年後のシニアの仕事が少ない。シニアの活性化



【課題】

- ・ 全ての世代が楽しめる工夫
- ・ ごみポイ捨て問題
- ・ せっかくの有名地を活かせない
- ・ 池袋以外の認知度の低さ
- ・ 区民・区外者への広報 PR
- ・ 多様なイベント力に豊島（池袋）のブランドカアアップ
- ・ 知名度を活かして売り込む
- ・ ソメイヨシノ発祥の地 PR
- ・ 「巣鴨」を押し！
- ・ 有名企業、ロケなどの誘致が少ない
- ・ 誘致問題について、行政からの働きかけ・後押し
- ・ メディアの後押し
- ・ スポーツ施設の充実→ジョギングコースとか
- ・ 協働の充実
- ・ 生涯学習の情報発信のわかりにくさ
- ・ 池袋駅構内の案内板を見やすくする



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	出沒! トシマック天国!!	9	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ NHK 連ドラのロケ地に！（区民がエキストラとして参加） ・ テレビや新聞・雑誌に取材してもらう
2	屋外スポーツ施設の不足	4	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジョギングコース、サイクリングコースの新設 ・ ドッグランをつくる
3	区民ひろばの活用	3	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画・運営への区民参加 ・ PR の工夫（web, SNS 活用）

作業シート (写真)

第2テーマ: **とぎに食**

グループ: **C** メンバー名: _____

【豊島区の強み (良いところ)】

- アエクト**の人気のイメ-ジが強い人が集まる
- サカサガのイメ-ジが強い人が集まる
- アエクトの発信力
- サカサガの発信力
- 池袋のイメ-ジが強い人が集まる
- 池袋JAZZフェスがある
- よこしな祭り
- 池袋酒造
- イベント
- 全世代が楽しめる
- 一年中何かある
- ゴミ、不回収の問題
- 多様なイベントに豊島(池袋)のアピール

【豊島区の弱み (改善すべきと)】

- 有名企業の本社が少ない
- ロケの誘地が少ない
- 誘地
- 女性報(国)
- 人の集まりがゴミ、不回収が多くなる
- スポーツ施設の充実(池袋駅周辺)
- 認知の充実
- 生涯学習の充実
- 池袋駅周辺の集客力

【課題】

- 池袋のイメ-ジUP (池袋駅周辺)
- 地域のブランド
- 池袋のイメ-ジUP (池袋駅周辺)
- 有名企業の本社が少ない
- ロケの誘地が少ない
- 誘地
- 女性報(国)
- 人の集まりがゴミ、不回収が多くなる
- スポーツ施設の充実(池袋駅周辺)
- 認知の充実
- 生涯学習の充実
- 池袋駅周辺の集客力

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 出沒! トシマック天国!!	① NHK連ドラのロケ地に! (区民がエキストラとして参加) ② テレビや新聞雑誌に取材してもらう
② 屋外スポーツ施設の不足	① ジョギングコース・サイクリングコースの新設 ② ドッグランをつくる
③ 区民ひろばの活用	① 企画・運営への区民参加 ② PRの工夫(Web, SNS活用)

討議内容の発表

【強み】

- ・ サブカルチャーが強い。アニメの人気。
- ・ 池袋を中心にイベントが多く、祭りや JAZZ フェスティバルやよさこい、演劇祭があってよい。
- ・ 「地域ブランド」の強みということで、池袋はもちろん、巣鴨や大塚の阿波踊りや、巣鴨のゆるキャラの「すがもん」、これから有名になってくる要素もあり、豊島区の強みとして、ブランドがさらに強くなるとよい。

【弱み】

- ・ 有名な地区があるにもかかわらず、それを十分に活かしてきていない。有名企業を誘致したり、映画やテレビのロケを誘致して、さらに PR が進むと良い。広報の考え方として、豊島区に住んでいない区外向け、区民向けの情報の充実が同時に増えると、弱みが改善できるのではないかと。
- ・ コミュニティ、スポーツ分野でも情報が不足している。参加したくても情報が得られず、参加機会を逃している。

【豊島区が抱える 3 つの主要課題・解決策】

課題と提案として以下 3 項目をまとめた。

- ・ 1 つ目「出役！としまっく天国！！」。テレビを誘致しやすいように、宣伝活動をして、大きな野望としては NHK の連ドラのロケ地になりたい。1 年間通してずっと豊島区がロケ地になるとすごく良い。出演したい区民をエキストラで大募集してみんなが参加する NHK 連ドラのようになるとよい。もうひとつは、テレビや新聞雑誌等に取材してもらうようにして、常に情報発信できるとよい。
- ・ 2 つ目「野外スポーツ施設の充実を図ろう」。プールや体育館はだいぶ増えてきたが、外でのスポーツ部分がまだ少ない。自転車やジョギングも流行っているので、サイクリングコースやジョギングコースの整備とペットを飼われている方も多いため、ドッグランができてくるとますます住みやすくなる。
- ・ 3 つ目「区民ひろばの活用」。区民ひろばには、今もプログラムがあり活用されているが、そのプログラムになかなか興味を持たない部分もある。協働コミュニティの一環として、区民がボランティアで企画・運営に携わり、その中で色々な企画を自らからつくり、自分が興味のあるプログラムを区民ひろばの中で発展していければよい。その PR 活動も届かない部分があるので、web や SNS を活用して、紙の媒体でなくとも、入れるようにしていってほしいという案が出た。



【豊島区の強み (良いところ)】

<p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物がしやすい→デパート・エソラ・エチカ・家電 ・ 池袋駅周辺に面白飲食店が多い <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等建物保存 ・ よさこいや様々なイベントがあり全国から人が集まる ・ 巣鴨地蔵通り商店街、全国から人が来る ・ サクラカフェ近辺に風変わりな外国人が多い ・ とげぬき地蔵 (緑日) / 墓女 / 鬼子母神 <p>(文化芸術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術を保存し、掘り起こそうとしている ・ 芸術劇場 / 自由学園建物ライトの明日館 / 千早町モンパルナス / 芸術のまち ・ サンシャイン噴水広場でイベント多い ・ 西口広場で賑やかなイベントが多い ・ 文化芸術劇場 <p>(生涯学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学が多く社会人に開放した授業カリキュラムがある <p>(スポーツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の公園で自主的な集まりの中で朝の体操が行われている ・ サッカー、野球が盛ん (子ども中心) ・ 落合南、サンシャイン他スポーツ施設 ・ スイミングセンター 北島康介他 ・ スポーツジム等が多い <p>(協働 (コミュニティ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自助・共助・公助」から「自助・近助・公助」へ

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

<p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 客引き 呼び込み ・ シャッター商店 (空き店舗活用) ・ 商店街のマンション化 <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他カ本願なイメージ→オトメロード、よさこい <p>(文化芸術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発展させる視点に欠けている ・ あまり興味が持てない ・ 郷土資料館がない→古く狭い ・ 歴史認識が弱い <p>(生涯学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信 区民側の情報収集 <p>(スポーツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツというイメージがない ・ スポーツイベントがない <p>(協働 (コミュニティ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合住宅の町会未加入が多い ・ 個人情報保護との兼ね合い ・ 祭りぐらいしか町会の活動が身近にない ・ 区民ひろば、周知されていない ・ 区・町内会の「きっかけづくり」
--



【課題】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い方への支援体制 (アニメなど) ・ 掘り起こし資源 ・ 文化・歴史勉強会→高齢者集まる ・ まち歩き霊園めぐり (墓女) 冊子 ・ 人材 / 財源の問題 ・ イベントを通じてコミュニケーションを図る
--



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	スポーツを通じたまちづくり	14	→	<ul style="list-style-type: none">・区民マラソン大会等→史跡活用・バリアフリー・スポーツイベント/マラソン大会 区民/ボランティア 町内会・バリアフリーなスポーツイベント/ 健全者と一緒に共に住む
2	生涯学習の推進	3	→	<ul style="list-style-type: none">・歴史資源の掘り起こし、周知・心のバリアフリー・障害者、バリアフリー
3	まちづくりへの参加きっかけ	2	→	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティリーダーの発掘・地域ごとのWSの実施・開かれた町内会活動

作業シート (写真)

第 テーマ: **ともに創る ~新しい官民連携~**

グループ **D** メンバー名 _____

	強み				弱み				
	【豊島区のこと】				【弱み (改善すべきところ)】				
産業	買物ハブ ポットショップ シティ家電	池袋区民センター お茶会・教習 が盛ん	3階裏の部屋?		客引き キャンペーン	ショップ-商店 (有名店活用)	かかっている 問題に関する 企業の話選	高級街の マンション化	
観光	大学や建物の 保存	こここい田 原のイベント から全国から 人が来る	豊島区民センター の活用	サリウカ 島民センター の活用	観光資源 あるのか?	他力本願 イメージ のイメージ がない	外国人は 一体何を 観に来るのか		
文化芸術	文化芸術を 保存し活用 おこもりしている 21区民センター	芸術劇場 自由学芸団 池袋区民センター ・千手町モーター ・土呂町	21区民センター の活用	西口サリウ カ島民センター の活用	保存・活用 の両方 は難しいのか?	あまり 興味がない	郷土資料館の 活用 (区民センター)	「史跡活用」 がない	
生涯学習	21区民センター の活用				情報発信 区民への 情報発信			区・町民の 「さかけ つくり」	
スポーツ	地域の公園に 自主的な集まり 中心の開催が 行われている	落合用 ・サンイン他 スポーツ施設	スミンクセン 化島康介 他	7-11 ・コンビニ 等	スポーツの イメージが悪い	スポーツ イベントが 少ない			
協働 (コミニティ)	「自治会」の 活用				自治会の 活用が 少ない	個人情熱 保護との 兼ね合い	祭りの 開催の 活動が 少ない	区民は 同じ いない	
課題	若い人の 支援体制 (アイン)	掘り出し 資源	文化・歴史 勉強会 高齢者あり	まち歩き (愛国) (聖女)	人材 財源 の問題	イベントを通じて コミュニケーション を図る			
豊島区が抱える主要課題					主要課題への対応方針・解決策				
① スポーツを通じたまちづくり					区民マラソン大会等 ↳ 史跡活用 ↳ バリアフリー				
② 生涯学習の推進					歴史資源の掘り起こし・周知 心のバリアフリー				
③ まちづくりへの参加きっかけ					コミュニティーリーダーの発掘 地域ごとのWSの実施				

討議内容の発表

このテーマで話し合うとき、今後、少子高齢化で税収が減っていく中で、色々やっていこうということは正直やめてほしいという思いが強かった。生涯学習やスポーツはやりたい人が勝手に行えばよく、特に区でやる必要はないと思っていた。観光分野でも、よさこいは他県の文化であり、そのようなところがおかしいと感じていた。話し合っていくうちに、班の人が強みのほうが多いくらいこの区に熱い思いを持っていらっしゃる人がいて、話していくと、自分が意外と知らないものか多かったという印象を受けた。

【強み】

- ・ 観光ということで、区の中の人たちがどうつくっていくかというテーマが主要だったと思う。イベントは充実しているという話があった。
- ・ 生涯学習については大学があり、スポーツに関しても施設が色々なところに点在しているのではないかという意見があった。

【弱み】

- ・ 文化的なことへの興味や関心があまりないという点、スポーツについては、スポーツ的なイベントがまったくないという話があった。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

「協働」のところでいわれているが、町会や地域住民が関わる場がお祭りくらいしかない。もっとイベントを増やしていく必要があるという意見が挙げられたので、課題としては、地域の歴史や文化の掘り起こしと周知がひとつ。イベントを通じて、もっとコミュニケーションをとれるような、区民が自分たちのまちをもっと知る方法があるのではないかと方向で話し合われ、最終的には以下3つの課題に落ち着いた。1つ目は「スポーツを通じたまちづくり」、2つ目は「生涯学習の推進」、3つ目は「まちづくりへの参加のきっかけづくり」である。

- ・ 「スポーツを通じたまちづくり」については、区民マラソン大会のようなものを開催することにより、区の色々な史跡をまわるような大会を行うと、参加者が「こんなところにこんな施設があった」と、あるいは、町会のところで休憩ポイントをとったときに、そこで地域の人とコミュニケーションがとれるというメリットもあるだろう。そこにバリアフリーの観点で障害者の方と一緒にやるということで、心の距離ができないような環境づくりが可能ではないかということである。
- ・ 「生涯学習の推進」は、心のバリアフリーということ、お互いに知り合うという機会をつくる必要があるということと、歴史資源の掘り起こし、周知ということから、もっと自分たちの区を知る機会をつくりましょうということである。
- ・ 「まちづくりへの参加のきっかけづくり」については、非常に難しいことだが、コミュニティリーダーの発掘が一番良いことかと思う。地域ごとのワークショップの実施は、今回のこの活動を通して、区のことをより深く知るきっかけにもなった。なかなかこうやっても「すぐ動きましょう」とはならないかと思ったときに、地域単位で、本日議論したようなことを行えば、意外と動き出すのではないか。このような方法でもっと地域単位で行っていったら、意外とやっつけていけることも多いのではないか。まさに「ともに創る」ということで、新しい官民の連携というタイトルで議論が行われたということである。



【豊島区の強み (良いところ)】

- ・ 東京芸術劇場がある
- ・ 音楽大学
- ・ 熊谷守一美術館
- ・ 地域の文化、歴史、景観を知る人がいる (高齢者・ガイド・通訳)
- ・ ソメイヨシノ (駒込) / 木戸孝允別邸
- ・ 立教大学 (ナガシマ)、学習院→有名大学
- ・ 観光資源がある→ふくろう、寺社
- ・ 観光旅行者には交通のアクセスが良い。宿泊施設がたくさんある
- ・ 地域にもてなし・もうけの拠点、商店街がある
- ・ 外国人が多い (1 割近く)、韓国 (友好都市)、中国、ミャンマー
- ・ 子どもたちの書いた絵が駅やまちかどに貼ってありいやされる
- ・ 町会 129、区民ひろば、学校、コミュニティ基盤がある
- ・ 町会内 民生委員、育成委員が活躍している
- ・ 町会、防災訓練、高齢者見守り等、安全パトロールをやっている
- ・ 学校等で防災訓練などが行われている

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

- ・ モニュメント (立体像) が少ない
 - ・ 豊島区のガイドブックがあったらいいと思う。多言語で、区外から来た人に使いやすい
 - ・ 欧米系も含めて外国人が訪れたい工夫が必要
 - ・ まち、商品の案内、表示に工夫がいる
 - ・ メニュー 目玉が必要
 - ・ 駅構内を案内する人がいない
 - ・ たくさんの文化芸術があるのに地元の子も達 (小中高生) が知らない。もっと知って自分たちの自慢にしてほしい
 - ・ ガイド・通訳が少ない
 - ・ 広報不足 (全体)
 - ・ 気軽に意見アイデアを言えるシステム
 - ・ 現役有名選手少ない
 - ・ 地域の人材が観光ガイド→活かされていない
 - ・ アニメ? カフェ? 方向性が明確でない
 - ・ アニメ・乙女ロードは、あまり良いイメージではない
 - ・ アニメ、トキワ荘など以外の文化の PR ができていない
 - ・ ふくろう、アトム、トキワのみでなく、地域の寺社等メニューを活かす
- (区民ひろば)
- ・ 区民ひろば = 学校単位 = 運営の改善が必要
 - ・ 区民ひろば、学区のため高齢者の区分けに対応できていない
 - ・ 区民ひろばが知られていない
- (町会)
- ・ 町会が公器としての活動不足→運営改善/活動の拡大
 - ・ 町会が社会の「公器」としてのパワーが落ちている→後継者
 - ・ 地域住民を広範に把握できている町会の復活が必要
 - ・ 転入者が入りにくい町会→改善が必要



【課題】

- ・ 押しコンテンツのミスマッチ
- ・ 観光資源の再発見
- ・ 国際化への対応
- ・ 広報の国際化・充実→ガイド、通訳、コンシェルジュ
- ・ 地域で意見を形成できる場
- ・ 地域で出た意見を行政に伝えられるシステム
- ・ 地域ひろばのPR、利用促進〔自主運動〕
- ・ ひろば運営協議会の改革
- ・ 区民ひろば 情報発信力、利用促進、運営・活動参加（町会・住民）
- ・ 地域活動を進める、人材の育成→講座など
- ・ 町会運営の手引作成
- ・ 区・公共事業とリンクした活動（セーフティコミュニティ）
- ・ 子どもと高齢者の間の年代への参加の呼びかけ実施
- ・ 町会の組成強化→後継者育成、人材育成、活動
- ・ NPO 参加者の偏りあり→公募制導入
- ・ 情報の有効な伝達手段（コンビニなど）
- ・ エリア毎 LINE



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	押しコンテンツのミスマッチ	8	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域観光資源の発掘、創出 ・ PR（マスコミ・旅行会社との連携） ・ 口コミ誘致
2	国際化の遅れと お・も・て・な・し感のなさ	9	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイド・通訳の育成と配置 ・ 地下街コンシェルジュ、案内表示
3	区民ひろばの不活性	3	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政主導から地域住民主導へ ・ コンビニ、SNS 等インフラの利用による多年齢層の確保（町会）

副題を「各ジェネレーション、各エリアからのボトムアップ」とした。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

豊島区の主要課題として以下の3点を挙げた。

- ・ 「押しコンテンツのミスマッチ」は主に観光資源についてのことである。区の職員の方から「マンガ」「アニメ」「コスプレ」といった言葉が多く出てくる。「マンガ」「アニメ」というと、その筋の方には非常に人気のあるもので、人集めにもなると思われる。しかし、これらがあるから、これらを避けるために豊島区にこないという層の人もいると思う。区の考えているものと、区民の考えているものに違いがある、またはズレがあるのではないかと、という話があった。その対応策としては、豊島区には、観光資源がたくさんあると思う。地域観光資源の発掘と、既存のものだけではなく、ロケ地の誘致などを行い、新しく観光資源を創出してはどうか。また発掘・創出だけにとどまらず、マスコミ・旅行会社と連携してPRしていくべきといった話も出た。
- ・ 「国際化の遅れと、お・も・て・な・し感のなさ」について、主に池袋駅を例にすると、池袋駅の中で迷っている外国人の方を見かけた方もいると思う。案内表示がなく、鉄道会社の職員の人は改札付近にはたくさんいるものの、地下街の中には誰もいない。これでは「お・も・て・な・し感」は一切ない。その対応方針としては、ガイド・通訳を育成して配置する。また、いつでも相談できる人である「地下街コンシェルジュ」に地下街に立ってもらおう。もちろん案内表示は英語だけではなく多言語で行う、という解決策を考えた。
- ・ 「区民ひろばの不活性」について、私も含め、「区民ひろば」が何なのか、それすら知らなかった。それはなぜかを考えた時に、行政の方から考えられて与えられたものだと思身もわからない。現状では、地域の連携を支えているのは、高齢者の方に限られると考えられる。若い世代の人たちが参加するためには、区民ひろば等の場所に出かけていくことは若年層には難しいと思うことから、SNS・コンビニを利用して、各ジェネレーションに合ったインフラを使っていくことが良いのではないかと考えた。その中で、ガイド・通訳の育成に関しても、地域の外国人の方や通訳業務等を行えるスキルを持った方、この中でマッチングしていくことができたり、地域観光資源でも話し合っていける。各ジェネレーション、各エリアで話し合ったものをボトムアップで区に伝えていくことが重要なのではないかと考えた。

【豊島区の強み (良いところ)】

(地域拠点)

- ・ 新庁舎を核として発展していける
- ・ 区民ひろばがある
- ・ 転入してきた若い人、働きざかりの人、リタイア組にはやる気のある有能な人がいる

(観光)

- ・ おばあちゃん原宿 シルバーカルチャー
- ・ 巣鴨が慰安の地として有名なのはよい
- ・ 巣鴨プリズン
- ・ 鬼子母神
- ・ 雑司ヶ谷墓地
- ・ トキワ荘
- ・ 染井の桜
- ・ 乙女ロード
- ・ ふくろう
- ・ 電器屋やドラッグストアに観光客がいっぱい
- ・ 都電
- ・ 国際的
- ・ チャイナタウン
- ・ ウエストゲートパーク (イベント)
- ・ 水族館
- ・ 目白文化教会、学習院など/徳川

(芸術)

- ・ 文化芸術政策
- ・ 芸術劇場

【豊島区の弱み (改善すべきところ)】

(地域拠点)

- ・ 出張所が全廃されて地域の拠点がなくなった
- ・ 急な変化で名が変わった区民ひろば 等
- ・ 区民ひろばが小規模である
- ・ 区民ひろばの場所をよく聞かれる
- ・ 子ども用のおもちゃに電池が入っていない
- ・ 町会役員が固定化高齢化している

(観光文化)

- ・ 文化芸術に関する補助が少ない (場所・金・人)
- ・ これといって誇れる文化があまりない
- ・ トキワ荘っていても先細り
- ・ アニメもサブカル的位置
- ・ 観光名所もインパクトに欠ける
- ・ 観光地としてはあるが、大々的に好評を受けていない
- ・ 英語表記なし/適切な案内表示の設置
- ・ 迷路のようになっている地下道
- ・ 池袋からサンシャインまでのわかりやすい一本道や地下道がない
- ・ 文化事業の参画がはっきり見えてこない
- ・ 各文化の世代・国籍で結ぶ方策
- ・ 芸術劇場の存在が薄い。大物がこない

(産業)

- ・ 優良企業が少ない
- ・ 企業が参加する姿勢が見られない (協力・協働)

(スポーツ)

- ・ 公共的なスポーツの場が少ない
- ・ ランニングルート/自転車ルート
- ・ サイクリングロード→歩行者と自転車を分けてほしい
- ・ 屋外で楽しめるグラウンドがない



【課題】

- ・ 店内する観光地をどう周知
- ・ 外国人にわかりにくい街
- ・ 地域の核をどうつくる、どう周知、どう活用
- ・ スポーツ施設の不足
- ・ 優良企業がない



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	小粒な観光地を大粒に!!	3	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを企画してマスコミを呼ぶ ・ 観光地をモチーフにした美味しいものをつくる（フクロウ丼） ・ 外国人に優しい外国語表記→わかりやすいルート整備、道路カラー化による誘導
2	地域の核になる地域センターづくり	7	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校の統廃合の跡地利用で複合的な施設をつくる。→スポーツ・文化→防災、子ども高齢者拠点に
3	優良企業を誘致する！	8	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ アニメ・ネット関係の企業を集中的に誘致→アニメ特区

第 テーマ: ともに創る ~ クロウの街

グループ: F

メンバー名: _____

地域拠点

新庁舎を核として発展させていく

【課題】

観光

漆井ヶ原
鬼子母神
雑子ヶ谷
トチノ村

国際的
4017
ウエストゲート
自由文化
観光

観光文化

観光地としての
観光地としての
観光地としての

文化事業

参画が
各文化の
世代
国籍
芸術劇場
存在の
大規模な

産業

産業
参画が
優良企業
企業の
参画が
見出し
見出し

スポーツ

スポーツ
ランニング
自転車
ボート
マラソン
サッカー
ラグビー

地域拠点

点がある
観光地と
どう関係?

外国人
にわかり
にくい街

地域の核
をどう作る?
どう活用?

スポーツ
施設の
不足

優良
企業が
ない!

豊島区が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 小粒な観光地を大粒	イベントを企画してスゴミを呼ぶ 観光地をテーマに1区美味しいものを作る(クロウ街) 外国人に優しい外国語表記 道路カラー化による誘導
② 地域の核	小・中学校の統廃合の跡地利用 で複合的な施設を →スポーツ・文化 → 防災 避難経路
③ 優良企業を誘致する!	アニメ・ネット関係の企業を 集中的に誘致 → アニメ特区

テーマのあとに「フクロウの街」と付記させていただき、フクロウのイラストも付けた。

【強み】

強みについては、他の皆さんと一緒にある。

【弱み】

弱みについても、皆さんとほぼ一緒である。

- ・ 観光文化が小粒ではないか。東京の観光ランキングに豊島区の何かが挙げられるかという
と、豊島区のもので挙がってくるものはない。あまり知られていないものを無理やり区で推
しているけれども、まだまだ力が弱く、インパクトに欠ける点があると思う。それを育てて
いくことが必要ではないか。例えば、アニメにしても所詮サブカルであり、トキワ荘にして
も一部にしか理解されていない。ただ、鬼子母神等、開拓すれば有用な観光資源になるもの
はたくさんあるが、誰も知らない、あるいは一部の人が知らないの、それを育てよう
ということがポイントになってくる。
- ・ その他、スポーツ施設がない、あるいは優良企業がない。メセナ等を行って文化を育ててい
けるような優良企業がないということであり、税収的にも厳しいと思われるので、優良な企
業を育て、誘致することができないかということもポイントになった。
- ・ 「地域拠点」の話では、「区民ひろば」については、グループのメンバーほとんどが使った
ことはなかった。やはり、知られていない・使われていないということがあるので、それを
活性化していくべきではないか。

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

今のような長所と短所をまとめ、3つ挙げた。

- ・ 1番目が「小粒な観光地を大粒に伸ば
していこう」。そのためには、大小のイ
ベントを企画し、マスコミを呼んで発
信してもらおう。観光地をモチーフにし
た美味しいものをつくり上げる。B級
グルメで結構だと思うが、「何がある
の」といったらば「ふくろう井では？」
という話があった。そういう考えを持
ち込むことは必要だと思っている。
- ・ 関連して、外国人にやさしい外国語表
記。また、一部で実施されているが、
道路をカラー化して、遊歩道のように
して観光地を巡ることができるといっ
た努力も必要である。
- ・ 2番目が「地域の核になる地域センターづくり」。小学校の統廃合は進んでいる。その跡地
はかなり大きいので、これを利用し、地域の住民の方々が望む複合施設をつくっていけば良
い。地域ごとに要求は違うので、例えば防災施設であるとか、拠点になるような施設をつく
ってほしいという要求があるが、とにかく地域の人が望み考え、自分たちが望む複合施設が
必要だと思う。
- ・ 3番目が「優良企業を誘致する」。池袋の特色でもあるが、アニメやネット関係の企業を集
中の誘致して、「アニメ特区」というようなかたちの地域興し・産業興しが必要ではない
か。



【豊島区の強み（良いところ）】

(観光・文化芸術・生涯学習)

- ・ 法明寺、真性寺、金剛院
- ・ 豊島の川、千川上水
- ・ 都営墓地が雑司ヶ谷、染井の2つ
- ・ 都電の走る街
- ・ 立教大学や学習院大学がある
- ・ 文化・観光で魅力あるスポットが多くある
- ・ 外国人観光客に人気がある
- ・ 若者、老人の各々に人気 にぎわうまちがある
- ・ おばあちゃんの原宿
- ・ アニメイト
- ・ 芸術劇場

(協働)

- ・ 町内会の加入率が高い（50%以上）

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(産業)

- ・ 豊島区の産業 誘致、発展 ポリシー不明
- ・ 中小企業が多く、大きなパワーになりにくい

(観光・文化芸術・生涯学習)

- ・ なぜ駅前案内所を廃止したのか
- ・ ソメイヨシノの里 PR、もっと強く
- ・ (区民ほか都道府県への) 観光 PR、宣伝が少ない
- ・ WiFi インフラ不十分 (特に外国人用)
- ・ 地域、歴史場所の特色を活かした町名、通り名が少ない
- ・ 池袋駅周辺の客引き、キャッチが多い
- ・ サクラの保持が悪い→枯れてしまっている木が多い
- ・ 複数語による駅、町名、通り名表示がない
- ・ バリアフリーがまだ足りない→エレベーター不足など
- ・ 掲示板が見にくい
- ・ 大型バスを止めるところがない
- ・ 子ども（0～3歳）と一緒に遊ぶイベントが文京区等より少ない
- ・ 子どもを預けたりして学べる講座がすくない
→育休中のブラッシュアップ
- ・ 図書館が意外ときたない

(協働)

- ・ 行政と区民との協働が十分行われていない
- ・ シニアの力！
- ・ 町会のしくみや財務状況がわかりにくい

(その他)

- ・ 豊島区らしさが共有されていない
- ・ 社会福祉協議会活動が不活発
- ・ 各種事業の対象に入れない人たちがいる
- ・ 子どもの安全
- ・ 外国人の人とマナーでぶつかりやすい
- ・ 公園が少ない→ボール遊び等できない



【課題】

(観光・文化芸術)

- ・ 区民の生活を充実させるための「産業」「観光」にならないのか→「観光」は具体的にアピールしよう！ 例：「寺」と「桜」、「霊園と有名人」、「都電」のあるまち

(生涯学習・スポーツ)

- ・ 退職後の人に対する講座しかない
- ・ 「ちょっとした時間」の子育てのサポートを行う←高齢者の経験・知識の活用
- ・ 地域に長年住んでいるシニアによるワークショップ

(協働)

- ・ 地域に誰が住んでいるか判らない→対応可能な職員配置・通訳派遣



豊島区が抱える主要課題		投票		主要課題への対応方針・解決策
1	豊島区の「ウリ」が不明確	10	→	・ 区民の「声」収集のため、さらなるワークショップの開催
2	国際化対応の未整備（多言語情報少ない）	3	→	・ 外国語表記の充実 ・ 通訳・多言語対応可能な職員配置
3	あと一歩！ 情報提供の量＋作業＋消化時間 →具体化困難	10	→	・ 区も区民も当事者意識を持とう！

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

課題は以下の3つになった。

- ・ 1点目は「豊島区の“ウリ”が不明確」。アニメといっても幅が広い。色々なものはあるけれど、全部揃っていることは、全部揃っていないことに同じ。平均点は取れるが、ずば抜けたものはない。
- ・ 2点目は「国際化対応の未整備」。駅で遭難している外国人の方に誰も助けができない。どうしてかということ、私たち自身もよくわからないから。バス停についてもそうである。多言語の情報は少なく、外国人の方も不案内な日本語のみの環境で、サバイバル生活状態である。その点で外国語表記の充実が挙げられる。
- ・ 3点目は「あと一步!」。このワークショップや私たち自身にとっても考えられることで、みんなが全員「あと一步!」だと思う。情報の量はたくさんあるし、区政の方も色々やっていたに違いないことはわかる。しかし、広報がわかりにくい。私たちも声はあるけれども、どのように発信すればよいのかわからない。一つひとつのあと一步が繋がらなくて、結局最後は「あと一步!」のままつながらなくなっている。そのようなことから、このような強みと弱みが出てきてしまうのではないか。

【豊島区の見どころ】

皆さんと同じように見どころを挙げてみた。

- ・ 浅草寺に次いで古いといわれる法明寺がある。そこには鬼子母神があり、江戸時代から続く古い建物がある。ただ、それを皆さんがどのくらい活用されているかということ、お子さんが生まれる前にお参りするときに鬼子母神がちらっとでてくる程度ではないか。真性寺も巣鴨では非常に有名なお寺であるが、高岩寺のほうが有名である。地蔵菩薩のある真性寺の方が歴史はある。歴史のあるお寺を私たちは無視していないか。
- ・ 豊島区には川があった。いま遊歩道として残っている。川の跡を歩くといい、そのようなものを活用しては良いのではないか。また、千川上水もある。これも道は残っている。そういうものを訪ねることができる。
- ・ 都営墓地が2つある。サンシャインのところで死刑を執行された東條英機の墓もある。色々な有名な方が眠っておられる。そういう方の経歴を訪ねながら歩くこともできる。
- ・ 個別具体的には皆さんの頭にあるかと思うが、こういう大きな問題をこの機会に私たちは提案したいと思う。



このワークショップで色々な世代、色々な地域の方とお話しできて嬉しく思う。この「あと一步!」のために皆が当事者意識を持つことが大切だと考える。それぞれの当事者意識が皆の当事者意識になれば、広がっていくのではないか。そのためにも、ワークショップのさらなる開催をお願いしたい。

【豊島区の強み（良いところ）】

(多様性・人)

- ・ 知名度→日本人のみならず外国人も
- ・ 外国人からの注目、人気が高い
- ・ 外国人など異文化交流
- ・ 若者が多い

(多様性・モノ)

- ・ ラーメンなど有名な飲食店が充実
- ・ 観光資源が豊富
- ・ 江戸川乱歩の邸宅がある
- ・ 遊び場が多い

(芸術)

- ・ まち全体 流行、最先端
- ・ アート・芸術
- ・ アニメ・コスプレの充実
- ・ アニメの聖地やイベントが多い

(その他)

- ・ 2020年オリンピック開催
- ・ 施設の充実

【豊島区の弱み（改善すべきところ）】

(理解)

- ・ コスプレイベントは一般の方の理解を得づらいため、アニメを持ち出しづらい

(イメージ)

- ・ 歴史ある街並みを知らない
- ・ “としまらしさ”いまいち弱い
- ・ 区の良さはあまり内外に伝わっていない例) ソメイヨシノ
- ・ 池袋しか思い浮かばない
- ・ 今話題のゆるキャラは（ふくろう推し?）

(世代の壁)

- ・ 高齢者は行きにくい
- ・ 高齢者向けではない
- ・ サンシャイン、楽しめる世代が若者に偏っている

(治安)

- ・ 悪質なスカウトが多くまちを歩きづらい
- ・ キレイなイメージではない

(まわりにくい)

- ・ 駅の出口が多いため、道に迷いやすい
- ・ 地下が迷路
- ・ 地下鉄・電車・バスが複雑

(その他)

- ・ スポーツする場あまりなさそう



【課題】

(地下街アクセス)

- ・ アニメの名前つけても道はわからない
- ・ 名称じゃなくて目で見えるように。音、触、五感
- ・ 案内所

(交流)

- ・ 体験型
- ・ 春夏秋冬でイベントあるといいのでは
- ・ アニメキャラクターになりきる、体験空間、撮影
- ・ アニメの街コン
- ・ ハロウィンパーティ
- ・ 女子会で外国料理店

(PR)

- ・ 語る とげぬき地蔵
- ・ 豊島区の協働

(施設)

- ・ 新庁舎屋上庭園が立派過ぎると公務員たたきが再燃するのでは

(その他)

- ・ 遊好都市
- ・ ボランティア活用のコーディネート機能



豊島区が抱える主要課題		投票	主要課題への対応方針・解決策
1	地下街わかる化プロジェクト	0 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光 ・ 案内所の設置 ・ 「五感でわかる」池袋地下街
2	イベンとしま区プロジェクト	0 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春夏秋冬イベント ・ アニメのコスプレ体験（ハロウィンパーティー） ・ 新庁舎屋上活用
3	PR がんばるプロジェクト	0 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区マスコットが豊島区を PR（ホームページや動画）

【豊島区が抱える3つの主要課題・解決策】

ともに創るというテーマでの「3大プロジェクト」を提案する。

- ・ 1つ目は「地下街わかる化プロジェクト」。池袋の駅などとても複雑で迷子になってしまうという意見が多くある。そこで、観光案内所のようなものを設置していただきたい。そして、おもてなし精神を持ったスタッフの育成も重要になってくると思う。そして「五感でわかる池袋地下街」として、視覚・聴覚・触覚を使った工夫も必要ではないか。
- ・ 2つ目は「イベントとしま区プロジェクト」。豊島区にはたくさんの観光資源がある。それをもっと有効に活用していただきたい。例えば、春夏秋冬に合わせたイベントの開催、また、豊島区はアニメが有名であり、コスプレイヤーが海外からも多く訪れる。10月にはハロウィンパーティの開催等も面白いかもしれない。また、区の新庁舎の5月7日オープンの際には、屋上をぜひ柔軟に活用していただきたい。屋上の活用の仕方としては、区民の皆様の意見を公募で集める等、様々な方法があると思う。
- ・ 3つ目は「PRがんばるプロジェクト」。豊島区というどうしても池袋の商業施設、サンシャイン60が有名であったりする。しかし、豊島区には目白、巣鴨、駒込など自然や歴史的建造物が多くある。区のマスコットふくろうに区のホームページでPRを頑張ってもらいたい。また、巣鴨には「すがもん」というキャラクターがあることを知った。ゆるキャラブームに乗るわけではないが、どんどんそのようなキャラクターを活用してもっと盛り上げていけばよいのではないか。



◆ 討議内容の講評（第3テーマ情報提供者より）

【区民部区民活動推進課長 柴 俊之】

- ・ 区民活動センターについてはどのグループも取り上げていなかったのだから感じた。区民活動センターは平成18年4月に、地域の活動団体の拠点として開設された。事務所を持たないNPO団体がそこで活動ができるよう、メールボックスやロッカーも無料で貸し出しを行い、相互の交流が図れるようにしている。
- ・ 情報提供については、例えば、本日のような会議ではこのような施設が知られていないことは、情報提供が悪いのではないかと多々言われている。情報提供については、区民ひろばも同様だが、ことあるごとに広報の1面などにアイデアを出しながら掲載していることもあるが、年がら年中、区民ひろばをPRするかたちでの広報は行っていない。今のところは、ホームページや広報に頼った情報提供しかできていないのが現状である。
- ・ 区民活動センターについても、登録団体のNPOが、さらに登録団体や利用者を増やそうということで、毎月ミニセミナーを行っている。その募集もホームページや広報に必ず掲載して、参加を呼び掛けている。
- ・ 区民と行政はパートナーだと思う。お互いのことを理解しないといけないと思っているし、我々も皆さんのことを理解しなければいけないということでこういったワークショップを行っている。行政の事業については押し付けみたいなものはまずなく、ほとんど区民の皆さんのご意見を伺いながら、それぞれ事業を考えて進めている。今回はじめて区民ひろばや区民活動センターを知った方もぜひ一度訪れてご利用いただきたい。
- ・ 今後も一緒になって、まちづくりを進めていきたいと思う。

【文化商工部文化観光課長 齋藤 明】

- ・ 良いお話、納得いくお話、ちょっと耳が痛いお話、色々なお話をいただいた。
- ・ それぞれのグループからグリーン大通りの歩行者天国化、外国人ボランティア、また広報での連続ドラマロケ誘致のお話など非常におもしろく聞かせていただいた。
- ・ 法明寺さんのお話があった。実は法明寺さんとはタッグを組んでいる。これから世界に向けて売り出していこうとしているが、改めて法明寺さんの価値を気づかせていただいた。ありがたいお話だった。
- ・ 今後も観光に関するご意見をアイデアも含めてお寄せいただきたい。
- ・ アニメ等のお話も出たので、国際アート・カルチャー都市について、お話しさせていただく。キーワードは、国際であり、アートであり、カルチャーである。豊島区は今後、そういった都市づくりを目指していく。アニメ等のサブカルものも、保守本流のカルチャーものも含めて、都市づくりを進めていく。加えて、ハード、ソフトの両面で、表現する方を応援するまちにしていこうとしている。我々のように住んでいる人や働いている人がそれをバックアップしていこうと、そのようなことがベースにあるものを豊島区の取り組みとして、尖がったものとして位置づけていこうと思っている。

8. 副区長あいさつ

豊島区副区長 水島 正彦（みずしま まさひこ）

最後に私から皆様へ感謝のごあいさつを申し上げたいと思います。

2日間、熱心にご討議していただきありがとうございました。もともと豊島区、豊島区政に非常に関心をお持ちの皆さま方とお見受けしました。2日間通しての議論は本当にお疲れになったと思います。ありがとうございました。

（ワークショップを振り返って）

今回は、昨日の第1日目に、立教大学で行政学を専攻していらっしゃる原田先生の講演を「総合計画とワークショップ」という内容で頂戴いたしました。これからの計画立案にあたりまして、大いに参考になると思っております。

そして昨日の午後と今日、「ともに暮らす」「ともに築く」「ともに創る」という3つのテーマで討議をお願いしました。議論する時間が大変少なく、「もう少し時間があつたらよかった」と思われている方も大勢いらっしゃるかと思います。区側でも「各テーマについてもっともっと話をすればよかった」と、事務局あるいは担当たちはそう思っているに違いありません。

このようなときはむしろ、バイアスがかかるとあまり良い結果は出ませんので、知らない方同士のほうが結構です。たいへん夢のある、また「こんな施設もほしい」といったご意見もたくさん頂戴いたしました。

私どもはこれをまとめまして、2つのことに活用させていただきたいと思います。

当然、基本構想審議会の基本計画を策定するにあたっての一過程として、今回のような討議をお願いしたわけですから、審議会へも上げて、「こういうような中身で、こんなご意見がありました」と参考にさせていただくような報告をさせていただきたいと思います。

それから、昨日から討議をお聞きした中で、私ども職員が「これは改めたほうがいいな」と受け止めねばならないようなお話がたくさんございました。例えば、今日この会場にいらっしゃるあたり、「道案内や事前の予備知識が全然なかったので随分苦労しました」というお話がございました。私どもは色々な会場で催しものを行います。その時は、ベビーカーの方、あるいは車椅子の方へも「こういう経路でいらっしゃるといいですよ」とお知らせするといったような細かい配慮も、これからはやっていかなければいけないと思われました。他にもたくさんございます。

皆様方にも、とりまとめたものは、きちんと郵送してご報告させていただきたいと思っております。

（財政とセットで考える）

2日間発表のメモをとっております。あえて一つだけ申し上げます。

色々な夢のある話、施設がほしいといったお話を承りましたが、それらは財政の裏付けがない

と実現できません。しかも、そこでお金を使うということで、区民の皆様には理解をしていただかなければなりません。私どもは1千億円規模の予算を使っています。どうしてもしなければいけない生活保護費の支払い、一般事務経費、投資的経費など様々にございます。「このお金はこの目的で、あるいはこういう効果があるため使う」ということを説明する責任がございます。

そういう点では、例をあげると、起業家、インキュベーター、新しく事業を行う人に対して、多くの自治体で財政的に色々な支援をしています。これに対して「お手伝いしたい気はあるけれども、税金をつぎ込むことについてはどうなのですか」という疑問が出たときには、「事業が成功して大きな会社になって税金として跳ね返ってくる、あるいは新しい雇用を生み出し、その地域の人たちの雇用のチャンスが増える。したがって、先行投資をするお金なのですよ」という説明をするしかありません。一つひとつ、なぜ税金を使うのかを明らかにして、大事に使わなければなりません。そのようなお金の使い方とセットで、いただきました皆様のアイデアを活かせるようなかたちで、頑張っていきたいと思っております。

(むすびに)

私たち公務員は、国であれば国家公務員が、地方自治体においては地方公務員がおり、その地域のルールを作ったり、色々な施策を展開していますが、社会の意見を聞かなければ絶対に良い地域づくりはできません。どんどん皆様方もご意見をお寄せいただければと思っております。

皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

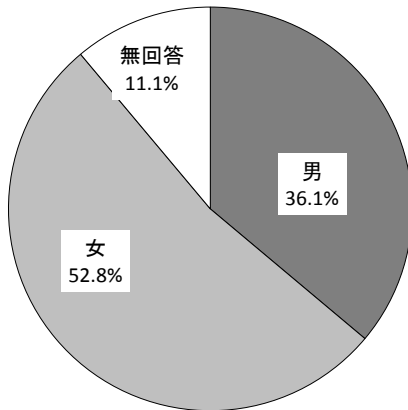


9. 参加者アンケート結果

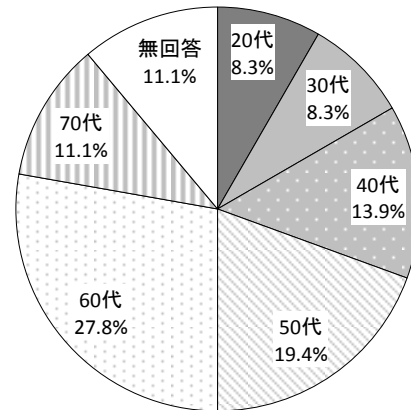
豊島区民ワークショップに参加していただいた方にアンケートをお願いし、36人から回答をいただきました。主な回答結果は以下のとおりです。

(1) 属性

i. 性別



ii. 年代

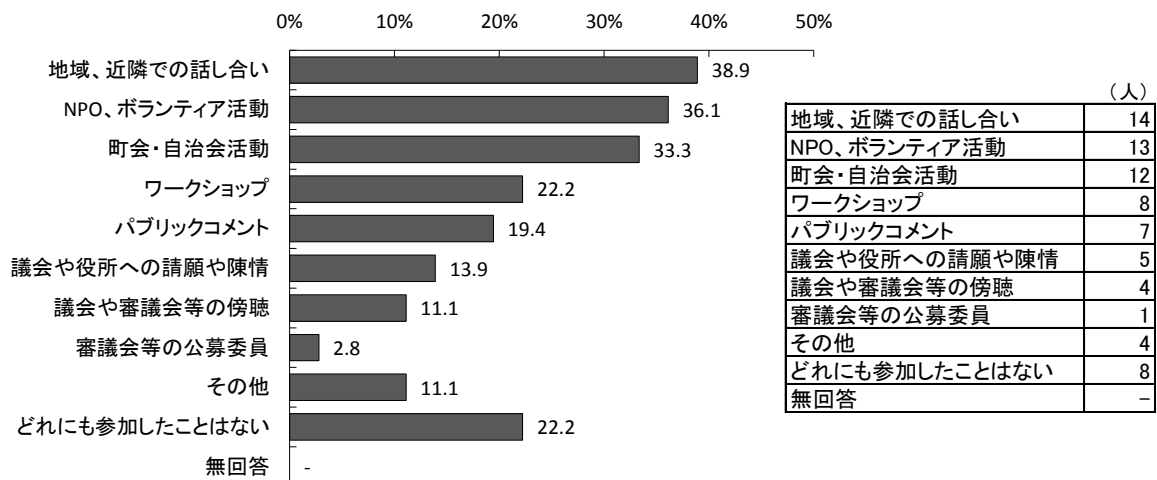


(人)

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答
全体	36	3	3	5	7	10	4	4
男性	13	2	0	3	2	5	1	-
女性	19	1	3	2	5	5	3	-
無回答	4	-	-	-	-	-	-	4

(2) これまでに参加したことがある活動

Q1. これまでに次のような活動に参加したことがありますか。(複数回答)



【その他の主な回答】

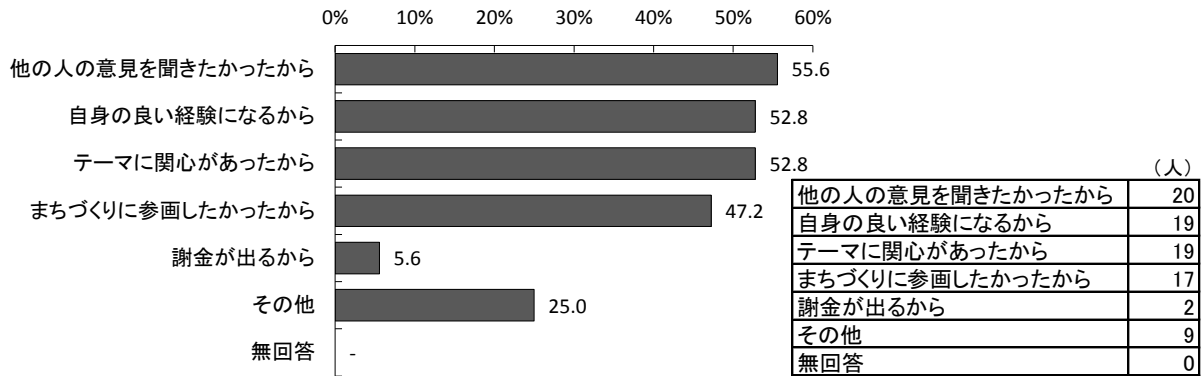
マンション管理組合、消防団、食育ボランティア

(3) 区民ワークショップについて

Q2. 豊島区民ワークショップについてお伺いします。

①参加理由

Q2-1. このワークショップに参加しようと思った理由は何ですか。(複数回答)

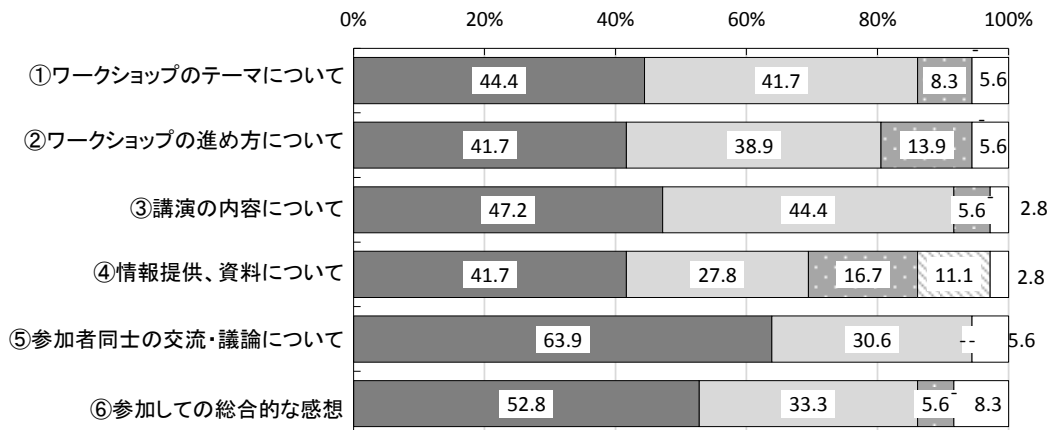


【主なその他の回答】

- ・ 保育園に入園できず、入園申し込み等、不満があります。
- ・ 情報収集。
- ・ 生まれた時から住むまち、ますます住み良いまちに！！
- ・ 区に対する要望を述べるチャンスとして。
- ・ 無作為に選ばれて、1度参加してみたかった。
- ・ どういうロジ組がされているのか興味があったから。
- ・ まちづくりに興味があった。
- ・ どのようにまちづくりをしているのか知りたかった。

②ワークショップの感想

Q2-2. ワークショップに参加してみて、どのような感想をお持ちになりましたか。(単数回答)



	満足	少し満足	少し不満	不満	無回答
①ワークショップのテーマについて	16	15	3	0	2
②ワークショップの進め方について	15	14	5	0	2
③講演の内容について	17	16	2	0	1
④情報提供、資料について	15	10	6	4	1
⑤参加者同士の交流・議論について	23	11	0	0	2
⑥参加しての総合的な感想	19	12	2	0	3

【主な自由回答】

テーマが良かったです（生活に活かすことができるから）。全部順調に進行できた。資料はよかった。いろいろな話ができてよかった。

- 資料、情報提供ともにポイントを絞ったほうがわかりやすい。3つのテーマごとに明確に分けられない、重なる議題も多かったため、もう少しテーマ横断的な話し合いができると良かった。いろいろと考え、知るきっかけとしては非常に満足。
- 自由に意見が言いやすい雰囲気が出ていたようです。豊島区の政策に参加させていただくような気持ちになり区政がより身近に感じられるようになり、ますます住み慣れた地域の充実が図られれば良いと感じました。
- 大変有意義な意見が交換されました。豊島区をより良い住みよいまちにするための協力者が多いという事が実感できました。また、小さな事の積み重ねが必要ですが、総花的ではなく確実に実施されるものであってほしいと思います。
- 区民の意見を吸い上げるための機会を設けていただけてありがとうございました。郵送で誘っていただいたことで、広報やまち会経由では出てくる気にならなかった人が、出席してみようかという気持ちになったと思います。豊島区の現状について、知らなかったことがたくさんありました。勉強になりました。
- ワークショップの進め方は方法の1つとして良いとは感じたが、この方法では不必要なものをなくすという議論はされにくいように感じた。こうした会が区を知ることにつながって良いように思う。
- KJ法は、企業研修等では有用だと思うが、年配の方、主婦の方にいきなりやらせるのは難しいと思った。KJ法を採るなら、デモンストレーションをしないと理解が得られないのではないかと思う。
- 行政できちんと資料・情報を事前に配布していただいたことと、各課の当日レクは、目を通していたのでわかりやすかった。基調講演（立教大学教授）は良かった。資料を読み込んだ上での話し合

いではなかった。当日、区課長からの講義のみでは不十分。※参加に事前に強く要望しておくべきだった。参加者側の問題。

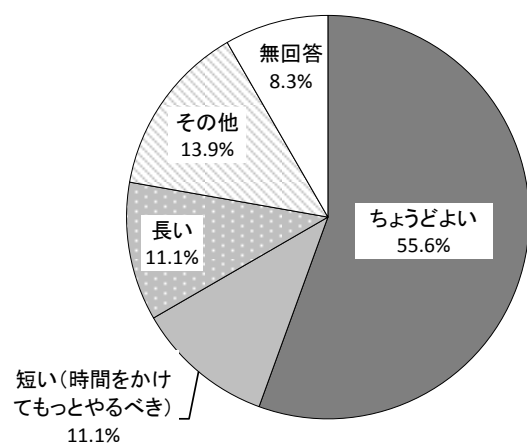
- ・いろいろな世代と地域の方々とお話しできたことがとても勉強になりました。資料が配布いただけましたが、当日会場で配布→事後回収方式でも良かったのではないかと思います。
- ・情報提供、資料のカラーコピー、紙の多さに閉口です。参加者の方々と情報交換ができ良かったです。是非、行政に反映されればと思います。
- ・幅広く、区政の現状・将来が分かり、多くの人の意見が聞かれたこと。意外と区民でありながら現状が知られていなく、自分だけではないと思った。
- ・「結果」を求めすぎる。ワークショップ形式に慣れている人ばかりではないので、説明を十分することなしに、討議していくことは容易でないと思う。

(4) ワークショップの日程

Q3. 今回のワークショップの日程について、どのように感じていますか。

① 1つのテーマの討議時間

Q3-1. 1つのテーマの討議時間について (単数回答)



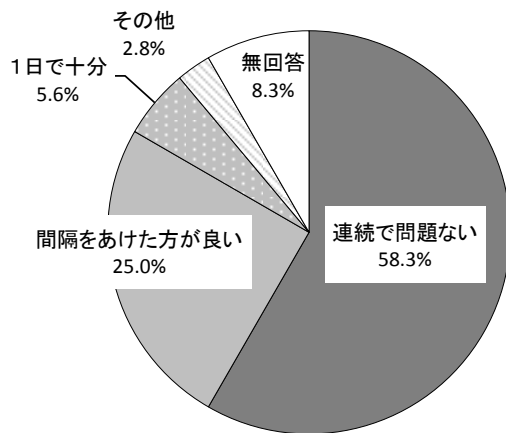
	(人)
ちょうどよい	20
短い(時間をかけてもっとやるべき)	4
長い	4
その他	5
無回答	3

【主なその他の回答】

- ・連日というのはちょっときつい。
- ・長いと思うが仕方ないとも思う。
- ・長いけれど、内容も自分達もやった感があり、ちょうど良い。
- ・もう少し煮詰めたかったので、もう少し長く必要かと思った。

② 2日間の連続開催

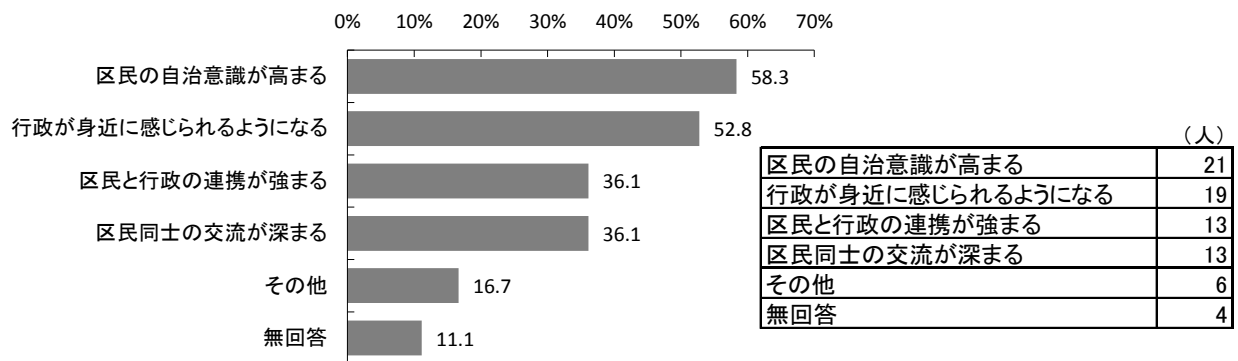
Q3-2. 2日間の連続開催について（単数回答）



(人)	
連続で問題ない	21
間隔をあげた方がよい	9
1日で十分	2
その他	1
無回答	3

(5) ワークショップ開催の効果

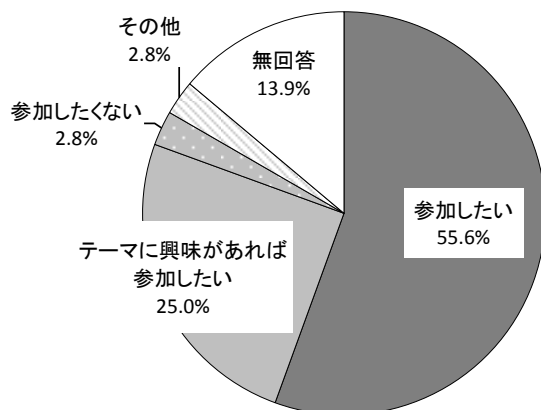
Q4. 区民ワークショップが行われることで、どのような効果があると思いますか。



(人)	
区民の自治意識が高まる	21
行政が身近に感じられるようになる	19
区民と行政の連携が強まる	13
区民同士の交流が深まる	13
その他	6
無回答	4

(6) 今後のワークショップへの参加意向

Q5. 今後、このようなワークショップが企画されたら、参加したいと思いますか。



(人)	
参加したい	20
テーマに興味があれば参加したい	9
参加したくない	1
その他	1
無回答	5

(7) 自由意見

Q6. その他、ワークショップについてご感想やご意見等がありましたら、お聞かせください。

(自由回答)

【主な自由回答】

- ・区をもっと知るようになりました。いろいろな地域の方と年齢の方と話し合えて良かったです。このようなワークショップを開催して区民の方の声を受け入れてほしい。
- ・ワークショップで話し合った内容を今後どうしていくか教えてもらえたら良いと思う。
- ・とても楽しく有意義な意見交換をしました。これらの出された提案等が実現に向かえば最高の成功と思います。これらの意見によって住民の意識が高まり、豊島区にいることを誇りに思えるまちにしたいと願います。原田先生の講演がとても良かったです。リラックスして、そしてよりよい考えが出るような気合を受けました。
- ・言いたい放題、言いつばなしの意見で、現実問題として「どうすれば実現するの?」「予算は?」「規制は?」と、難しいことはたくさんあると思います。言い訳になると思わず、無理だという説明もされる時間があっても良いのではないですか。
- ・地域別にこのようなワークショップを企画してはどうか。その中で“まちづくり”が前進するのではないだろうか! 方法論としてはKJ法だけでなく、他の手法も導入してみてもどうだろうか。
- ・ディベートもあった方が良い。
- ・20代から70代と世代の違う方のいろいろな意見が聞けました。とても良いワークショップでした。情報があるが受ける側の区への意識が低いと思いました。このようなワークショップが多く開かれ、区民参加が進むといいです。
- ・投票の数が3個では足りない。(自分達のグループで長い時間話し合ったので、3個位は自分のグループで使いたい。他のグループの良い所も選びたい。)
- ・対象者が区全体から集めているため、各論特に地域毎の課題問題点をクリアすることが出来ない。今回のようなワークショップも必要と思われるが、出来ればそれぞれの地域で開催してほしい。(町会等を中心としたまちづくり協議会的なものでなく、今回のようなワークショップが良いと思います。)
- ・議論のテーマが抽象的すぎたように感じる。もう少し方向性を明確にしても良かったのでは?
- ・モデレーターがもっと関与した方がよいと思う。
- ・区の事業内容の勉強になった。参加者が熱心であったと思います。今後ともこのようなことを実施して欲しい。また、木密は行政が強力に実施して欲しい。一定の面積の持ち主に権利の乱用をさせない取組が欲しい
- ・朝の時間が早く始まる場合は、午後は早めに切り上げて頂くことを希望します。(仕事をもっている人にはやや厳しいと感じます)。ワークショップ、区民参加型の数(場)を増やしてください。
- ・他の人の意見を聞くということは大事ななと思いました。自分の頭の中で凝り固まってはならないし、自分の主張もできる場であって良いと思いました。
- ・知らない情報を得る機会にもなり参加して良かったです。区民が願うまちになるように区役所一丸となって取り組み、共に発展させていきましょう

**豊島区基本計画策定のための
豊島区民ワークショップ 報告書**

平成 27 年（2015 年）3 月

〒170-8842 豊島区東池袋 1-18-1

豊島区 政策経営部 企画課

電話：03-3981-1111（代表）

Eメール：A0010108@city.toshima.lg.jp



豊島区
TOSHIMA CITY

